

## 『俱舍論』における svabhāva について

木村 誠 司

## I

本稿の目的は、ヴァスバンドゥ (Vasubandhu、世親) 作『俱舍論』*Abhidharma-kośabhāṣya*<sup>1)</sup>における svabhāva の用例を採取し、整理することである。始めに、筆者の取った方法を説明しよう。まず、『俱舍論』のサンスクリット原典における svabhāva の用例を調査し、チベット語訳および漢訳と照合した。次に、インド撰述の『俱舍論』注釈書<sup>2)</sup>の引用状況を調べ、サンガバドドラ (Saṃghabhadra、衆賢) 作『順正理論』<sup>3)</sup>の言及箇所を付した。それらを整理して、通し番号を付けたものが資料 I である。資料 I に基づいて、品詞・文法、訳語、テーマ別に、さらに整理を加えたものが、資料 II である。今回使用した文献は、略号表 I に記した。

次に資料の使い方を説明しよう。資料 I は、略号表 I で示される文献中の svabhāva の用例を書き抜いたものであり、その箇所を( )内に示した。その際、svabhāva とその訳語を太字で表わした。\* は、『俱舍論』本文の引用ではなく、注釈者が注釈文の中で言及した箇所であることを示している。具体例を示しておこう。資料 I 12 において、『俱舍論』のサンスクリット原典は 'jātisāmānyam; ubhayoś cakṣuṣsvabhāvatvāt' チベット語訳は 'rigs dra ba ni gnyi ga mig gi rang bzhin yin pa'i phyir' である。これをスティラマティ (Sthiramati) の『真実義』*Tattvārthā*、プールナヴァルダナ (Pūrṇavardhana) の『隨相論』*Lakṣaṇānusāriṇī* では、『俱舍論』本文を引用せず、'rigs dra ba ni so sor gnyis ka yang rna ba dang sna'i rang bzhin' と注釈している。このような場合に \* を付したのである。

続いて、資料 II について説明しよう。複後等とあるのは、品詞・文法からの整理である。例えば、㉔において、複後とあれば、『俱舍論』のサンスクリット原典において、svabhāva が複合語の後分として使用されていることを表わし、名詞・疑

## (2) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

とあれば、svabhāva が名詞として疑問文で使われていることを示す。R・GN・RG は、svabhāva に対するチベット語訳の略号である。1 を例に取ると、㉔の R は、svabhāva を rang bzhin と訳していることを示し、㉕-㉗の GN は、同じ svabhāva を ngo bo nyid と訳していることを示している。空白部分は、訳・引用等がないことを表わしている。すべての略号は、略号表 I・II を参照して頂きたい。

さて、本稿では、チベット語訳を考察の中心に置いた。svabhāva に対するチベット語訳は、rang bzhin、rang gi ngo bo、ngo bo nyid の三種である。後の考察を通じて明らかになるが、これらの訳語には、それぞれ顕著な特徴が見られる。どうやら、svabhāva には、三種の異った用法があり、その用法を明確に意識した上で、チベット語の訳語が使い分けられているようなのである。一方、漢訳には、そのような使い分けがあったのか否か、明白ではない。遺憾ながら、本稿では漢訳についての考察は全く出来なかった。また、今回、北京版のみを使用し、他の版を参照する暇はなかった。さらに、チベット語訳の使い分けについても、完璧な理解が出来たわけではない。ある場合には、何故、その訳語を選んだのか説明不可能なこともあった。『俱舍論』に説かれる教理に精通していれば、説明出来るのかもしれないが、現在の筆者の力量では無理である。元来、筆者は、注意力散漫な質で、このような作業には不向きな人間である。それ故、遺漏なしとはいかないはずであるが、様々な欠陥は、今後補正することとしたい。ともあれ、筆者の管見の範囲では、チベット語訳に基づくこの種の研究は、これまで行なわれていないようなので<sup>4)</sup>、非力を省みず、筆を執ることにした。

## II

まず、資料 I・II を分析してみよう。以下では、必要に応じて略号表 I・II の略号によって論述を進める。筆者の調査では、㉔において、svabhāva は 196 箇所に見られる。資料 I の通し番号は、194 で終わりであるが、31 a、178 a を後に加えたので、実際は 196 箇所である。56、99、120、124、170 では、svabhāva は二度使用されるけれど、文脈上、別出の要を認めなかった。196 箇所のうち、㉔の訳が欠如しているのは、67、78、121、175、178 a の 5 箇所である。78 は相当する訳文全体が欠如している。67、121、175、178 a は svabhāva に対する訳語だけが欠如している。残り、191 箇所のうち、rang bzhin と訳されるのは 135 箇所、rang gi ngo bo と訳されるのは 34 箇所、ngo bo nyid と訳されるのは 22 箇所である。

次にインド撰出の注釈書における引用状況を整理しておこう。㉞は 103 回㉠の svabhāva を引用している。このうち、75、121、178 a では、㉞にある svabhāva が ㉞-㉠において欠如している。したがって、チベット語訳を利用出来るのは 100 個所である。㉞-㉠において、㉠と異なる訳語を使用したのは、13 個所 (1、21、39、69、91、92、123、129、132、143、156、169、187) である。132 は ㉠の rang gi ngo bo の rang gi を落としたもので、おそらく単純ミスであろう。残りの個所は、123 を除いてすべて ㉠の R を GN としている。9 個所 (21、69、123、129、139、143、156、169、187) は \* で注釈文である。3 個所 (1、91、92) は、㉠本文からの引用にもかかわらず訳語が異なる。㉡は 90 回引用・言及している。このうち、3 個所 (2、23、82) の訳語が異なる。82 は \* であり、引用において訳語が異なるのは、2、23 である。㉢は 89 回引用・言及している。訳語が異なるのは、82 のみで \* である。以上によって、ごくごく少数を除いて、インド撰述の注釈書は、svabhāva に対する ㉠の訳語を踏襲していることがはっきりした。筆者は、先に、svabhāva には三種の用法がある、と述べた。後に明らかになるが、この三種の用法は三種の訳語に対応する。訳語の厳密性が維持されているということは、また、用法の厳密性が守られているということなのである。ちなみに、訳者と年代は、次の通りである<sup>5)</sup>。

㉠ Jinamitra, dPal brtsegs (800 A. D.)

㉞-㉠ Viśuddhisinha, dPal brtsegs

㉡ Dharmapālabhadra (1441-1528)

㉢ Kanakavarman, Pa Tsab Nyi ma grags (1100 A. D.)

様々な訳者達が、700 年以上の時間の経過の中で、svabhāva の三種の用法を意識し続け、厳密に訳し分けたのである。驚嘆に値しよう。

さて、では、三種の用法を明らかにしてみよう。R・RG・GN を品詞・文法によって整理すると、以下のようになる。

GN 22 個所

副詞 10 (偈<sup>補注1)</sup>、27、28、29、73、76、77、84、85、86、98 (偈)、99、101、170 → 14 個所

複前 [27]、[28]、[29]、[98]、[99] → [5] 個所

複後 2、9、11、23、24、31 a (疑)、36、94、[170] → 8 個所

RG 34 個所

名詞 38、40、52、53、56、80、110、120 (疑)、130、148、149 (疑)、165  
→ 12 個所

副詞 123、125、132、135、136、137、138 → 7 個所

複前 32、33、47、48、55、57、83、102、126、164 → 10 個所

複後 49、50、51、82、[132]、172 → 5 個所

R 135 個所

名詞 5 (疑)、6、8、13、30 (疑)、41、62 (疑)、72 (疑)、74 (疑)、87、89 (疑)、93 (疑)、109 (疑)、111 (疑)、112 (疑)、113 (偈)、114、116 (疑)、122 (疑)、124 (偈)、139、140 (疑)、145 (疑)、150 (疑)、154 (疑)、167、171、194  
→ 28 個所

副詞 134、162 → 2 個所

複前 54、151、152、161 (偈)、163 → 5 個所

複後 1、3、4、7、12、14、15、16、17、18、19、20、21、22、25、26、31、34、35、37、39、42、43、44、45、46、58、59、60、61、63、64、65、66、68、69、70、71、75、79、81 (偈)、88、90、91、92、95、96、97、100、103、104、105、106、107、108、115、117、118、119、127、128、129、131、133、141、142、143、144、146、147、153、155、156、157、158、159、160、166、168、169、173、174、176、177、178、179、180、181、182、183、184、185、186、187、188、189、190、191、192、193 → 100 個所

上表において、(疑) は疑問文で使用されていることを表わし、(偈) は偈文中で使われていることを示す。[27] 等の場合、svabhāva は複前で使われているが、その機能が副詞なので、副詞に含めた。重複を避けるためである。

svabhāva が GN と訳される場合、副詞として使われているケースが最も多い。その典型的な例を示してみよう。84 を取り上げ、以下に訳してみよう。

実に、等起 (samutthāna) の力からのみ、諸法に善と不善の状態 (kuśalākuśalatva) があると、知るべきなのだろうか？ そうではない、と答える。では、どうなのか？ 四種によってである。勝義 (paramārtha) から、svabhāva (ngo bo nyid) から、相応 (samprayoga) から、等起からなのである。(㉠ 597-2~3、㉠ 199 b<sup>6-8</sup>)<sup>6)</sup> ここでは、善・不善が、様々な観点から分類されている。73、76、77、85、86、98、

99、101、170 も同様な形式で分類を行う。あるものを svabhāva という観点から分類する時、svabhāva は GN と訳される。これを svabhāva の「分類の用法」と呼ぼう。27、28、29 の svabhāva は複前である。㊦は、これを「svabhāva によるのみ、分別である」(㊦ 89-17、㊦-㊦ 68 b<sup>5</sup>) と注釈する。故に、副詞とした。では、GN が複後として使用される場合も、分類の用法なのだろうか。11、23、24 は、分類の用法であるが、2、9、36、94 ははっきりしない。31 a については、後に取り上げよう。

RG と訳される場合の用法は何だろうか。これを考察するには、テーマ別の整理が有効である。以下に示してみよう。

32 (刹那心)、33 (二十二根)、38 (得)、40 (有為相)、47 (能作因)、48 (能作因)、49 (無為)、50 (無為)、51 (無為)、52 (無為)、53 (無為)、55 (増上縁)、56 (増上縁)、57 (増上縁)、80 (形色)、82 (無表)、83 (無表)、102 (善業)、110 (増上果)、120 (五見)、123 (三世実有)、125 (三世実有)、126 (三世実有)、130 (四諦)、132 (三受)、135 (三受)、136 (三受)、137 (三受)、138 (三受)、148 (四念処)、149 (四念処)、164 (他心知)、165 (世俗知)、172 (弁才)

このうち、32、47、48、55、56、57、110、164、165 の 9 個所は、同じ用法である。いくつか例を示そう。32 を取り上げてみよう。

例えば、すべての聖者達には、必ず以下の心が生ずる、「一切法は無我である」と。そ〔心の〕対象 (ālambana) は、svabhāva (rang gi ngo bo) [=現刹那の心自身] とそれに伴うものとを除くすべてのダルマである。しかも、その刹那の心は、次の刹那の対象なので、実に、二刹那によって、すべてのダルマが対象とされるのである。(㊦ 106-5~8、㊦ 49 b<sup>4-6</sup>)

もうひとつ 57 も見てみよう。

増上縁とは、svabhāva (rang gi ngo bo) を除くすべてのダルマである。(㊦ 351-5、㊦ 117 a<sup>5-6</sup>)

ここで、svabhāva は、時間的にも空間的にも完全に他と区別された自分自身のことである。これを svabhāva の「単独性の用法」と名付けよう。また、RG 34 個所のうち、この 9 個所と 38、40、49、50、51、52、53、80、82、83、123、125、126、132、135、136、137、138 の 18 個所都合 27 個所は、経量部 (Sautrāntika) によって否定されるものである。テーマを見れば、そのことは容易にわかるはずである<sup>7)</sup>。これも RG の大きな特徴であろう。この 27 個所すべてにわたって、svabhāva が単

独性を意味するのかわからないのか、不明である。その可能性は高いと思われるが、さらに、細かい分析を要する。これら 27 個所に関しては、訳語上、注意すべき点がある。123、124、125、126 は、三世実有を巡る説一切有部 (Sarvāstivādin) と経量部との論争個所である。この中で、124 だけは、svabhāva を R と訳している。この個所が偈であるため、ここだけ R と訳したと考えられないことはない。しかし、R を採用した理由は解明出来ない。次に、131、132、133、134、135、136、137、138 は三受 (vedanā) に関する一連の議論から採出したものである。このうち、131、133、134 の svabhāva は R と訳されている。さらに、134 と 138 は全く同じ文章であるにもかかわらず、134 では R、138 では RG と訳されている。この理由もわからない。

さて、RG の特徴を、さら見ていこう。従来、svabhāva は svalakṣaṇa や dravya と同義語であるとみなされてきた。だが、筆者の調査によれば、svabhāva = svalakṣaṇa とははっきり理解できるのは、80 と 148 の 2 個所だけであり、その時、svabhāva は RG と訳されている。以下に私訳を示しておこう。

148 それらの svalakṣaṇa とは、svabhāva (rang gi ngo bo) に他ならない。(㊦ 902-8~9、㊦ 14 a<sup>1</sup>)

80 実に、svalakṣaṇa が実証されているものについては、それらが集合するという事は、理に適うが、形〔色〕の部分については、顕色等のように、svabhāva (rang gi ngo bo) が実証されていないので、どこにそれら〔形色〕の集合があるだろうか。(㊦ 576-2~4、㊦ 192 b<sup>8</sup>-193 a<sup>1</sup>)

次に、前後の文脈から、svabhāva = dravya と確実にわかるのは、38、40、49、50、51、52、53、82、123、190 の 10 個所である。190 で svabhāva は R と訳されるが、それ以外はすべて RG と訳されている。以下に、その個所のひとつを取り上げて、私訳を示そう。

38 これ〔得〕の svabhāva (rang gi ngo bo) は、全く、知ることが、出来ない。色・声等のように、あるいは貪・瞋等のようには〔svabhāva を知ることは出来ないのである〕。また、〔得の〕作用も〔知ることが出来〕ない。眼・耳等のようには〔作用を知ることが出来ないのである〕。それ故、〔得が〕 dravyadharma であるということは、あり得ないので…(㊦ 213-8~10、㊦ 80 a<sup>3-4</sup>)

㊦は 38 を次のように注釈している。

dravyasat たる物 (vastu) は、何であれ知覚 (pratyakṣa) によって把握されるは

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (7)

ずであり、あるいは、推理(anumāna)によって把握されるはずである。そのうち、知覚によって把握されるのは、色・声等である。…意識によって把握されるものも、一部知覚されるものであり、貪・瞋等のことである。…一方、眼・耳等は推理によって把握されるものである。…さて、得は、知覚によって把握されるものでもなく、推理によって把握されるものでもない。…それ故、〔得が〕dravyadharmāであることはあり得ないので… (㉞ 213-14~214-2、㉞-㉟ 151 a<sup>8</sup>-151 b<sup>4</sup>)

㉞は、以下のように注釈する。

dravyadharmāとは、rang gi ngo bo (svabhāva) によって知覚というプラマナの対象となるものであり、あるいは、結果を通じて推理の対象となるものなのである。…得は、rang gi ngo boが認識されないの、知覚されるものでなく、結果が認識されないの、推理によって把握されるものでもないのである。それ故、〔得が〕dravyadharmāであることはあり得ないので… (㉞ 239 a<sup>2</sup>-239 b<sup>1</sup>)

㉟も㉞と同様の注釈を行っている<sup>8)</sup>。38 では、svabhāva=dravyaとされ、それは、知覚と推理によって把握されるものなのである。そして、svabhāvaはRGと訳されている。さて、唯一Rと訳される 190 を見てみよう。

もし、まず、〔ブドガラが〕dravyaとして〔あるの〕ならば、〔ブドガラは、諸蘊とは〕、異ったsvabhāva (rang bzhin) を持つのだから、諸蘊と別なものである、と言わなければならない。(㉞ 1192-3~4、㉟ 94 a<sup>7-8</sup>)

ここで、svabhāvaはdravyaと同一視されている。しかるに、38 とは異なり、svabhāvaはRと訳されている。dravyaが知覚と推理によって把握されることは、190の少し前で述べられている。

〔非仏教徒達は〕他のdravyaだけをアートマンであると構想している。…では、以下のことはどのようにして理解するのか？—このアートマンという表現は、蘊の相続に対してだけ用いられるが、他の〔dravyaとしてのアートマンと〕表現されるものには〔用いられ〕ないのである。〔dravyaとしてのアートマンに対しては〕知覚も推理もないからである。(㉞ 1189-3~1190-1、㉟ 93 a<sup>8</sup>-93 b<sup>1</sup>)

38 と 190 において、svabhāva=dravyaとすること、そして、それが知覚と推理によって把握されること、その二点に違いはない。ただ、svabhāvaの訳語が異なるのである。この理由も明らかではない。また、33、102、130、172 については、何故RGと訳されたのか不明である。

さて、次に、svabhāvaがRと訳される場合を分析しよう。Rは、複後として使

(8) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

用されるケースが最も多い。この時、svabhāvaは「~から構成される」という意味で使われている。例を示そう。

3 所触は、11 のdravyaから構成される。(svabhāva、rang bzhin) (㉞ 35-7~8、㉟ 32 b<sup>3</sup>)

21 空界は、明と暗から構成される。(svabhāva、rang bzhin) (㉞ 77-8~9、㉟ 42 a<sup>5</sup>)

ところで、この2箇所を見て、奇妙に思わないだろうか。ひとつのダルマはひとつのsvabhāvaを持つというのが、説一切有部の定説であると言われている<sup>9)</sup>。とすれば、3、21のsvabhāvaはこの定説上のそれとは異なるものである。所触、あるいは空界というダルマの持つたったひとつのsvabhāvaではないのである。「~から構成される」と訳すべきであろう。そのようなsvabhāvaの用法を明確に示しているのが、114 である。

この布施から構成される(dānamaya) 複業事は、大富樂を果とする。またこの「構成される」(maya) は、svabhāva (rang bzhin) であると知るべきである。例えば、草から構成される家、葉から構成される器と言われるように。(㉞ 741-10~11、㉟ 259 a<sup>1-2</sup>)

svabhāvaが複後に置かれ、複前のものから構成されることを示す時、svabhāvaはRと訳される。これをsvabhāvaの「構成の用法」と名付けよう。さて、Rにおいて、その数の多さで目を引くのは、名詞として疑問文で使用されるケースである。一方、GNは一度、RGは二度、同じように使用されているにすぎない。質疑応答形式で、比較してみよう。はたして、個々の用法は守られているだろうか。まず、Rから見てみよう。

74 劫のsvabhāva (rang bzhin) は何か？ (㉞ 543-23、㉟ 180 b<sup>5-6</sup>)

75 五蘊から構成される。(svabhāva、rang bzhin) (㉞ 543-23、㉟ 180 b<sup>6</sup>)  
典型的な構成の用法である。

次に、GNの場合を見てみよう。

どれだけの界が〔大〕種をsvabhāva (ngo bo nyid) とし、どれだけが〔大〕種所造なのか？ 触〔界〕は二種である。〔大〕種と〔大種〕所造はなめらかさ等の七種である。(㉞ 92-1~4、㉟ 46 a<sup>8</sup>-46 b<sup>1</sup>)

大種と大種所造とに分けている点で、分類が問われていると思われる。

RGの場合はどうだろうか。まず、120 を見てみよう。

それ〔五見〕のsvabhāva (rang gi ngo bo) は何か？ 我(ātman)・我所(ātmīya)・常断(dhruvoccheda)・揆無(nāsti)・劣勝(hināgra)という見、無因無道(ahetvamārga)〔に關する〕その見、それらが五見である。(A 772-3~5、B 268 a<sup>7-8</sup>)

ここで質疑応答されているのは、五見を構成するもののもう一つあり、五見の分類のもう一つである。ここに、単独性の用法を認めるのは困難である。次に、49 を見てみよう。

身(kāya)のsvabhāva (rang gi ngo bo) は何か？ 大種および大種所造である。(A 902-11、B 14 a<sup>2</sup>)

一見したところ、問われているのは身を構成するものである。とすれば、RGではなくRが訳語として採用されるべきであろう。何故、ここでRGが採用されたのだろうか。その答えはSにある。Sは次のように述べている。

身という言葉は、根等にも使用されるので、「身のrang gi ngo boは何か？」と述べたのである。また、身は多くのdravyaから成立しているの、ひとつのdravyaから構成される(rang bzhin)ことはあり得ないから、質問は〔それらのdravyaに〕共通するrang bzhinは何かということなのである。(S 356 a<sup>4-5</sup>)

ここで、RとRGの相違が浮彫りにされている。身は多様な意味を持つので、そのうちのひとつに限定するために、RGを採用したとSは述べている。ここに、単独性の用法への意識がある。しかし、その限定された身も多くのdravyaから構成されたものである。その点を考慮すれば、問われたのは、身を構成するものとなる。結局は、Rが問われているのであるとSは結論を下す。このような複雑な手続きを必要とした理由は、RとRGの区別、すなわちsvabhāvaの用法の区別が、はっきりと意識されていたからであろう。

ところで、この149の直前、148ではsvabhāva=svalakṣaṇaと示されていることは、先に触れた。148・149はひと続きの記述である。149で問われていたのはsvabhāvaであるが、148を受けて「svalakṣaṇaは何か」と問うてもよいだろうか。どうやら、これは無理なようである。理由は明確ではないが、Aにおいて「svalakṣaṇaは何か」という問いは、一回も発せられていない。問われるのは、常にsvabhāvaなのである。svabhāvaではなく、「svalakṣaṇaは何か」という問いがなされてもよいと思われる個所がもうひとつある。次にその個所を見てみたい。

これら四〔大種〕にとって、svalakṣaṇaと所造色を保持するので、界である。…では、これら〔四つの〕界にとって、〔それぞれ〕、svabhāva (rang bzhin) は何か？

…svabhāva (rang bzhin) は、それぞれ、堅さ、湿りけ・温かさ・動きである。(A 42-3~43-2、B 33 b<sup>4-8</sup>)

櫻部建博士は、この記述について、svabhāva=svalakṣaṇaという理解を提示しておられる<sup>10)</sup>。博士の理解からしても、ここで「svalakṣaṇaは何か」と問うてもよいはずである。しかるに、問われているのはsvabhāvaである。しかも149と異なり、問われているsvabhāvaはRと訳されている。各四大種のsvabhāvaがそれぞれ問われていることを考慮すれば、単独性の用法すなわちRGという訳語を採用してもよいように思われる。おそらく、訳者は、四大種の記述中において、svabhāva=svalakṣaṇaという理解を避けるために、Rを採用したのであろう。それ以外の理由は想い浮かばない。では、何故、svabhāva=svalakṣaṇaを避けねばならなかったのか。その理由を探ってみよう。Aには次のような記述がある。

その場合、心は、最も少ない時でも、五十八のダルマの俱有因である。十大地(法)と、その〔有為〕相四十と、〔四つの〕svalakṣaṇaと〔四つの〕隨相の八である。(A 285-1~2、B 100 a<sup>1-2</sup>)

ここでsvalakṣaṇaと呼ばれているのは、生・住・異・滅の四相である。心と四相とは、全く別のダルマであるのに、四相は心のsvalakṣaṇaとされている。この場面で、svabhāva=svalakṣaṇaと言うことは断じて出来まい。svalakṣaṇaは心の必要条件という意味合いで使用されているのである。四大種を説く記述においても、svalakṣaṇaは必要条件を意味するのではないか？ 四大種の記述中の「svalakṣaṇaと所造色を保持するので、界である」とよく似た表現は、Aにおいて他に2箇所ある。ひとつは、「svalakṣaṇaを保持するのでダルマである」(A 12-4、B 28 b<sup>5</sup>)という有名な句である。この句は、アビダルマとは何かを明らかにする記述中に登場するものである。ヴァスバンドゥは、アビダルマを勝義のアビダルマと世俗のアビダルマとに分類し、「これは勝義法、涅槃、法相に向うダルマなのでアビダルマなのである」(A 12-5、B 28 b<sup>6-7</sup>)と締括る。おそらく、ここでのsvalakṣaṇaは、世俗と勝義のアビダルマにとっての必要条件、すなわち「勝義法等へ向うこと」を表わしていて、svabhāvaと同一視されるべきものではない<sup>11)</sup>。次の個所を見てみよう。

また何故、これらは、欲・色・無色界と言われるのか？ svalakṣaṇaを保持するので界である。欲を具えた界が欲界であり、色を具えた界が色界である。中間の語を省略したからである。金剛〔を具えた〕環のように、こしょう〔を具えた〕飲料の

ように。(㉔ 385-3~5、㉕ 127 a<sup>1-3</sup>)

少なくとも、ここに色界等のsvabhāvaが説かれているようには思われない。一見、色は色界のsvabhāvaであるようにも見えるが、それは提示された例によって否定されている。金剛と環、こしょうと飲料は、一体化しているけれど、どう見ても別なものである。色と色界も同様であろう。故に、ここでのsvalakṣaṇaは、色にとって色界が必要条件であることを示しているのであり、svabhāvaと同一視すべきではない。さて、四大種の記述に戻ろう。これまでの考察を踏まえれば、そこに登場するsvalakṣaṇaも必要条件と捉えることは可能であろう。四大種は色にとって必要条件であることをsvalakṣaṇaは示しているのであり、やはり、svabhāvaと同一視すべきではないと思われるのである<sup>12)</sup>。この問題に関する考察は、これで、止めよう。

さて、チベット語訳を通じて、㉔におけるsvabhāvaの用例を見てきたが、細部にわたる考察は不十分である。本稿は、大雑把な一種の俯瞰図でしかない。ただ、㉔を読む時、svabhāvaの三種の用法を意識することは必要だと思うのである。また、他のテキストを見る場合も同じ意識を持つのも悪くないであろう。㉕の訳者であるニマタク (Nyi ma grags) は、同時に、チャンドラキールティ Candrakīrti の『明らかな言葉』 *Prasannaṣadā* の訳者でもある。チャンドラキールティは、説一切有部のsvabhāva論を激しく批判したナーガールジュナ (Nāgārjuna、龍樹) の学流に属する。ニマタクはsvabhāvaを巡って対立する二つの学派の著作を訳したことになる。彼の頭には、当然、svabhāvaの三種の用法が刻印されていたであろう。その用法を意識して、『明らかな言葉』を訳した時、当のニマタクは、チャンドラキールティが説一切有部を理論的にも屈服せしめたと、確信出来ただろうか。このように考えるに至ったのは、実は、袴谷憲昭氏の衝撃的な御指摘を知ったからである。同氏は、次のように述べておられる。

インドにおいて、大乘仏教がすっかり定着してしまった後代の義浄やチベットの仏教導入期以降の仏教史からみると、かかる時代には大乘仏教のみが隆盛で、「空」を説く「中論学派」と「唯識」を説く「実修行派」とが活発に論争を展開してしたように見られがちであり、確かにそれが事実でもあったのであるが、しかしそれは、果して「大乘仏説論」が論理的にも伝統的仏教の正統説に対して勝利を取めたことを意味するのだろうか、ということが最近私には気になって仕方がない。今の私にはむしろ否定的な答えしかないからである<sup>13)</sup>。

筆者は、今、説一切有部教学の海の中で溺れているような状態ではあるが、出来得れば、そこを抜け、袴谷氏の御指摘を生かすように研究を進めたいものである、と考えている。

## 註

- 1) 説一切有部 (Sarvāstivādin) 教学における『俱舍論』の位置付けについては、櫻部建『俱舍論の研究』昭和44年pp.58-60参照。また、同書における経量部 (Sautrāntika) 的立場については、加藤純章『経量部の研究』1989 pp.17-31参照。さらに、同書に見られる唯識 (vijñaptimātra) の見解については、袴谷憲昭『唯識思想論考』2001所収の「Pūrvācārya考」pp.506-520、山部能宜「Pūrvārāyaの一用例」『九州龍谷短期大学紀要』第45号 平成11年pp.203-217参照。
- 2) これらの注釈書については、櫻部建「アビダルマ論書雑記一、二」(一)(二)『三蔵』104、105、同「破我品の研究」『大谷大学研究年報』12、pp.27-34、江島恵教「スティラマティの『俱舍論』注とその周辺—三世実実有説をめぐる—」『仏教学』19、1986、pp.5-8およびその注、Marek Mejer; *Vasubandhu's Abhidharmakośa and the Commentaries preserved in the Tanjur*, 1991参照。
- 3) 注1)の加藤本pp.5-68参照
- 4) svabhāva, dravya, svalakṣaṇaを『俱舍論』全体にわたって概観した研究に櫻部建「玄奘譯俱舍論における「體」の語について」『印度学仏教学研究』2-2、昭和29年pp.264-266がある。また、『俱舍論』1~2章のsvabhāva等を詳しく分析した研究として槻木裕「「自性」と説一切有部の存在論」『仏教研究論集』昭和50年pp.273-287がある。
- 5) 注2)のMajor本pp.113-115参照
- 6) 本文中の㉔引用に際しては、Śāstri ed.のみの個所を示した。
- 7) 御牧克己『経量部』『岩波講座・東洋思想』第8巻「インド仏教I」所収pp.233-236、pp.240-243、注1)の加藤本pp.183-194、pp.284-313 梶山雄一『仏教における存在と知識』1983 pp.33-50参照。
- 8) 187 b<sup>1-8</sup>
- 9) 注7)の梶山本pp.19-20参照
- 10) 注1)の櫻部本p.78および注4)の櫻部論文の注6
- 11) 拙稿「『俱舍論』における'svalakṣaṇa dhāraṇād dharmah」という句について」

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (13)

『駒沢短期大学仏教論集』第7号 2001 pp.270-242 参照。ここでは、句中の svalakṣaṇa を必要条件とみなす解釈は示していない。

12) 筆者の見解は、おそらく、㉞・㉟・㊱では支持されていない。なぜなら、㉞は「堅さ等の svalakṣaṇa」(㉞ 42-6 ~ 7、㉞-㊱ 34 b 2)とし、㉟は「svalakṣaṇa とは堅さと湿りけ等である」(㉟ 64 a 2)と述べ、㊱も「svalakṣaṇa とは堅さと湿りけ等である」(㊱ 38 b 8)と解するからである。

13) 注1) の袴谷本p.17

補注1) 10 は rang gi ngo bo nyid であり、訳語からすれば、RGに入れるべきものように見える。しかし、11 は 12 とともに、法の包摂の記述に登場するので、文脈上からして、GNに入れるべきものであろう。

(2002年7月4日 脱稿)

#### 略号表 I

㉠ *Abhidharmakośabhāṣya* by Vasubandhu ed. by S. D. Śāstri, Bauddha Bharati Series 5, 6, 7, 9, 1987, & ed. by P. Pradhan, Tibetan Sanskrit Works Series, VIII, 1975

㉡ *Abhidharmakośabhāṣya* (チベット語訳) Peking ed. No. 5591

㉢ 『阿毘達磨俱舍論』大正新脩大藏經、No. 1558

㉣ 『阿毘達磨俱舍論』大正新脩大藏經、No. 1559

㉤ *Sphuṭārthā* by Yaśomitra

ed. by S. D. Śāstri, Bauddha Bharati Series 5, 6, 7, 9, 1987, & ed. by U. Wogihara, 1989

㉥-㉦ *Sphuṭārthā* (チベット語訳) Peking ed. No. 5593

㉧ *Tattvārthā* by Sthiramati, Peking ed. No. 5875

㉨ *Lakṣanānusāriṇī* by Pārṇavardhana, Peking ed. No. 5594

㉩ 『阿毘達磨順正理論』大正新脩大藏經、No. 1562

\* ㉠からの直接の引用ではないことを示す

㉠においては、始めに Śāstei ed. の個所、次に Pradhan ed. の個所を示した。㉡においては、始めに Śāstri ed. の個所、次に Wogihara ed. の個所を示した。

(14) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

資料 I

Chap. I

1 ㉠ anāsravasvabhāvam ākāśam (19-8, 3-23)

㉡ nam mkha' ni sgrib pa med pa'i rang bzhin (39b<sup>4-5</sup>)

㉢ 虚空但以無礙爲性 (1c<sup>14</sup>)

㉣ 空以無障無礙爲性 (162b<sup>12</sup>)

㉤ anāsravasvabhāvam ākāśam (19-18, 15-11)

㉥-㉦ nam mkha' sgrib pa med pa'i ngo bo nyid (14b<sup>6</sup>)

㉧ sgrib pa med pa'i rang bzhin (34b<sup>1</sup>)

㉨ sgrib pa med pa'i rang bzhin (22b<sup>4-5</sup>)

㉩ 虚空但以無礙爲性 (332b<sup>10-11</sup>)

2 ㉠ dīrghādīnām pradeśaḥ kāyavijñaptisvabhāvaḥ (33-1, 6-19)

㉡ ring po la sogs pa'i phyogs lus kyi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid (32a<sup>2</sup>)

㉢ 長等一部身表業性 (2c<sup>5-6</sup>)

㉣ 有教身業爲相 (163a<sup>25</sup>)

㉤ kāyavijñaptisvabhāvaḥ (33-4, 25-28)

㉥-㉦ lus kyi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid (19b<sup>6</sup>)

㉧ lus kyi rnam par rig byed kyi rang bzhin (53b<sup>4</sup>)

㉨ lus kyi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid (32b<sup>2</sup>)

㉩ 身表業性 (334a<sup>13</sup>)

3 ㉠ sprṣyam ekādaśātmakam/spaṣṭavyam ekādaśadravyasvabhāvam (35-7~8, 7-8~9)

㉡ reg bya bcu gcig bdag nyid reg bya'i rdzas kyi rang bzhin ni bcu gcig (32b<sup>3</sup>)

㉢ 觸有十一 (2c<sup>23</sup>)

㉣ 觸有十一種 (163b<sup>13</sup>)

㉤ 十一實以爲體 (334c<sup>2</sup>)

- 4 ㊤ rūpakriyāsvabhāvāpi satī vijñaptivat paraṃ na vijñāpayatīty avijñaptiḥ (39-2~3、8-8~9)
- ㊦ gzug dang byed pa'i rang bzhin yin yang rnam par rig byed bzhin du gzhan dag la rnam par rig byed pa ma yin pas rnam par rig byed ma yin pa (33b<sup>2-3</sup>)
- ㊧ 無表雖以色業爲性 (3a<sup>23</sup>)
- ㊨ 此法雖以有色業爲性 (163c<sup>13</sup>)
- ㊩ rūpakriyāsvabhāvāpi satī (39-8、29-32)
- ㊪-㊫ gzug dang byed pa'i rang bzhin (30b<sup>3</sup>)
- ㊬ gzug dang byed pa'i rang bzhin (61b<sup>8</sup>)
- ㊭ gzug dang byed pa'i rang bzhin (38a<sup>6</sup>)
- 5 ㊮ kiṃ svabhāvaś ca (42-6、8-16)
- ㊯ rang bzhin ci zhe na (33b<sup>6</sup>)
- ㊺ 自性云何 (3b<sup>7</sup>)
- ㊻ 何爲自性 (163c<sup>22</sup>)
- 6 ㊼ svabhāvas tu yathākramaṃ/kharasnehoṣṇaterañāḥ (43-1~2、8-19~20)
- ㊽ rang bzhin ni go rims bzhin du/sra gsher dro nyid g-yo pa rnam te/ (33b<sup>8</sup>)
- ㊾ 如其次第即用堅濕煖動爲性 (3b<sup>7-8</sup>)
- ㊿ 四丈業自性者次第偈日堅濕熱動性 (163c<sup>25</sup>)
- 7 ㊿ ya irṇasvabhāvo dharmāḥ sa vāyur iti (43-7~8、8-24)
- ㊿ g-yo pa'i rang bzhin gyi chos gang yin pa de ni rlung gi khams (34a<sup>2-3</sup>)
- ㊿ 風界動爲自性 (3b<sup>12-13</sup>)
- ㊿ 此法以動爲定性故說動爲風界 (164a<sup>1</sup>)
- 8 ㊿ karmaṇāsyā svabhāvo 'bhivyaaktaḥ (43-8、8-25)
- ㊿ 'di'i rang bzhin las kyi (sic.) gsal ba yin no (34a<sup>3</sup>)
- ㊿ 舉業顯體 (3b<sup>13</sup>)

- ㊿ 以業顯風自性 (164a<sup>1-2</sup>)
- ㊿ karmaṇāsyā svabhāvo 'bhivyaakta iti (43-5、33-23)
- ㊿-㊿ rang bzhin las kyi bsa ba (sic.) (35b<sup>6-7</sup>)
- ㊿ 'di'i rang bzhin las kyi gsal ba (66b<sup>3</sup>)
- ㊿ 'di'i rang bzhin las kyi gsal ba (40b<sup>5</sup>)
- 9 ㊿ ya eva rūpaskandhasvabhāvā uktāḥ (47-3、10-7)
- ㊿ gzug kyi phung po'i ngo bo nyid bstan pa gang dag yin pa (35a<sup>5</sup>)
- ㊿ 前所說色蘊性中 (3c<sup>28</sup>)
- ㊿ 是法前已說色陰爲性 (164b<sup>8</sup>)
- ㊿ \* vedādiskandhalakṣaṇam anuktvaiva lāghavena rūpaskandhasvabhāvān dharmāyatanadhātuṣu darśayati (47-11~12、36-19~20)
- ㊿-㊿ \* tshor ba'i phung po la sogs pa'i mtshan nyid ma bshad pa nyid du/zor yang bar gzug kyi phung po'i ngo bo nyid kyi chos rnam skeye mched dang khams dag gi nang du ston par byed de (38a<sup>7-8</sup>)
- ㊿ \* 已說實物根境無表色蘊性 (337b<sup>11</sup>)
- 10 ㊿ sa khalv eṣa saṃgraho yatra kvacid ucyamāno veditavyaḥ/svabhāvena, na parabhāvena (54-5~7、12-8~11)
- ㊿ bsdus ba de ni gang dang gang nas 'byung yang rung rang gi ngo bo nyid kyi te/gzhan gi dngos pos ni ma yin par rig par bya (36b<sup>7-8</sup>)
- ㊿ 攝自性非除以離他性故 (4b<sup>18</sup>)
- ㊿ 此攝由同性類相應故不異性故 (165a<sup>2-3</sup>)
- ㊿ rang gi ngo bo nyid kyi/gzhan gyi dngos pos bsdus pa ni ma yin no// (79b<sup>5</sup>)
- ㊿ rang gi ngo bo nyid kyi te/gzhan gyi dngos pos ni ma yin no// (48b<sup>4-5</sup>)
- ㊿ 攝自性非除以離他性故 (342c5)
- 11 ㊿ cakṣurindriyaṃ rūpaskandhena cakṣurāyatanadhātubhyāṃ duḥkhas-



『俱舍論』における svabhāva について (木村) (17)

amudayasatyābhyāṃ ca saṃgrhītam; tatsvabhāvatvāt/ (54-10~11、12-14~15)

㊦ mig gi dbang po ni gzugs kyi phung po dang/mig gi skye mched dang/khams dang/sdug bsngal dang/kun 'byung ba'i bden pa dag gis bsdus te/de dag gi ngo bo nyid yin pa'i phyir (37a<sup>1-2</sup>)

㊧ 且如眼根唯攝色蘊眼處眼界苦集諦等是彼性故 (4b<sup>22-23</sup>)

㊨ 眼根由色陰由眼入眼界苦集二諦等攝以同性故 (165a<sup>5-6</sup>)

㊩ cakṣurindriyaṃ rūpaskandhena cakṣurāyatanadhātubhyāṃ duḥkhasamudayasatyābhyāṃ ca saṃgrhītam; tatsvabhāvatvāt (54-8~9、41-12~13)

㊪-㊫ mig gi dbang po ni gzugs kyi phung po dang mig gi skye mched dang khams dag dang sdug bsngal dang kun 'byung pa'i bden pa dag gis bsdus te de dag gi ngo bo nyid yin pa'i phyir (43a<sup>7-8</sup>)

㊬ 是眼根唯攝色蘊眼處眼界苦集諦等是彼性故 (343a<sup>10-11</sup>)

12A jātisāmānyam; ubhayaś cakṣuḥsvabhāvatvāt/ (55-7、12-21)

㊦ rigs dra ba ni gnyi ga mig gi rang bzhin yin pa'i phyir (37a<sup>5</sup>)

㊧ 二處同是眼自性故 (4b<sup>29</sup>)

㊨ 同類者此二同眼性類故 (165a<sup>11</sup>)

㊩ \* rigs dra ba ni so sor gnyis ka yang rna ba dang sna'i rang bzhin yin pa'i phyir (81a<sup>8</sup>)

㊪ \* rigs dra ba ni so sor gnyis ka yang rna ba dang sna'i rang bzhin yin pa'i phyir (49b<sup>4</sup>)

㊫ 類同者同眼性故 (343b<sup>4</sup>)

13A aṣṭādaśadharmāṇaṃ jātayaḥ svabhāvā aṣṭādaśa dhātava iti (60-1、13-24)

㊦ chos bco brgyad pa dag gi rigs gyi rang bzhin ni khams bco brgyad ces bya bas (38a<sup>4</sup>)

㊧ 十八法種類自性各別不同名十八界 (5a<sup>10</sup>)

(18) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

㊦ 諸法種類有十八謂自性故說名界 (165b<sup>17</sup>)

14A sarveṣu ca dharmasvabhāveṣv ekaṃ dharmāyatanam? (69-5、16-15)

㊦ thams cad kyang chos kyi rang bzhin yin na gcig chos kyi skye mched (40b<sup>3</sup>)

㊧ 十二處體皆是法唯於一種立法處名 (6a<sup>9-10</sup>)

㊨ 一切入皆法為自性於中唯一入名法入 (166b<sup>10-11</sup>)

㊩ \* skye mched thams cad chos kyi rang bzhin du bshad pa (96a<sup>5</sup>)

㊪ \* skye mched thams cad chos kyi rang bzhin du bshad pa (61a<sup>4</sup>)

㊫ 十二處體皆是法唯於一種立法處名 (346b<sup>13-14</sup>)

15A vāksvabhāvaṃ buddhavacanam (71-1、17-8)

㊦ sangs rgyas kyi gsung tshig gi rang bzhin (41a<sup>4</sup>)

㊧ 佛教語為體 (6b<sup>2</sup>)

㊨ 佛正教言音為性 (166b<sup>28</sup>)

㊩ vāksvabhāvaṃ buddhavacanam (71-1、52-10)

㊪-㊫ sangs rgyas kyi gsung tshig gis (sic.) rang bzhin (55a<sup>5</sup>)

㊬ \* sgra'i rang bzhin yin pa'i phyir gzugs kyi phung pos bsdus (97b<sup>6</sup>)

㊭ sangs rgyas kyi gsung tshig gi rang bzhin (63a<sup>2-3</sup>)

㊮ 佛教語為自體 (346c<sup>11</sup>)

16A nāmasvabhāvam (71-2、17-9)

㊦ ming gi rang bzhin (41a<sup>4</sup>)

㊧ 佛教名為體 (6b<sup>3</sup>)

㊨ 文句為性 (166b<sup>24</sup>)

㊩ nāmasvabhāvam (71-3、52-12)

㊪-㊫ ming gi rang bzhin (55a<sup>6</sup>)

㊬ \* ming ni mi ldan pa'i 'du byed kyi rang bzhin yin pa'i phyir 'du byed kyi phung pos bsdus (97b<sup>6-7</sup>)

㊭ ming gi rang bzhin (63a<sup>3</sup>)

㊮ 佛教名為自體 (346c<sup>11</sup>)

- 17A alobhasvabhāvatvād dharmāyatanena (73-1, 18-2)
- ㊦ ma chags pa'i rang bzhin yin pa'i phyir chos kyi skye mched kyi (sic.) bsdus (41b<sup>5-6</sup>)
  - ㊧ 無貪性故此法處所攝 (6b<sup>23-24</sup>)
  - ㊨ 無貪爲自性故法入攝 (166<sup>17-18</sup>)
  - ㊩ alobhasvabhāvatvād dharmāyataneneti (73-3, 53-20)
  - ㊪-㊫ ma chags pa'i rang bzhin yin pa'i phyir chos kyi skye mched kyi bsdus (56b<sup>3-4</sup>)
  - ㊬ ma chags pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (98b<sup>2-3</sup>)
  - ㊭ ma chags pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (64a<sup>3-4</sup>)
  - ㊮ 無貪性故此法處攝 (347a<sup>12</sup>)
- 18A pañcaskandhasvabhāvatvāt (sic.) manodharmāyatābhyām (73-1, 18-3)
- ㊦ phung po lnga'i rang bzhin yin pa'i phyir yid dang chos kyi skye mched dag gis bsdus (41b<sup>6</sup>)
  - ㊧ 五蘊性故此意處法處所攝 (6b<sup>24-25</sup>)
  - ㊨ 五陰爲性故意法二入所攝 (166c<sup>18-19</sup>)
  - ㊩ pañcaskandhasvabhāvatvān manodharmāyatābhyām (73-6, 53-24)
  - ㊪-㊫ phung po lnga'i rang bzhin yin pa'i phyir yid dang chos kyi skye mched dag gis bsdus (56b<sup>6-7</sup>)
  - ㊬ \* phung po lnga'i rang bzhin dang yid dang chos kyi skye mched dag gi nang du 'dus pa (98b<sup>6</sup>)
  - ㊭ \* phung po lnga'i rang bzhin dang yid dang chos kyi skye mched dag gi nang du 'dus pa (64a<sup>6-7</sup>)
  - ㊮ 五蘊性故此意處法處所攝 (347<sup>12-13</sup>)
- 19A catuḥskandhasvabhāvatvāt (sic.) manodharmāyatābhyām (73-3, 18-5)
- ㊦ phung po bzhi'i rang bzhin yin pa'i phyir yid dang chos kyi skye mched

- dag gis bsdus (41b<sup>7</sup>)
- ㊧ 四蘊性故此意處法處所攝 (6b<sup>26-27</sup>)
  - ㊨ 四陰爲性故意法二入所攝 (166c<sup>19</sup>)
  - ㊩ catuḥskandhasvabhāvatvān manodharmābhyām (73-14, 53-33)
  - ㊪-㊫ phung po bzhi'i rang bzhin yin pa'i phyir yid dang chos kyi skye mched dag gis bsdus (57a<sup>3</sup>)
  - ㊬ \* gzugs med pa'i phyir phung po bzhi'i rang bzhin (98b<sup>8</sup>)
  - ㊭ \* gzugs med pa'i phyir phung po bzhi'i rang bzhin (69b<sup>8</sup>)
  - ㊮ 四蘊性故此意處法處所攝 (347a<sup>14</sup>)
- 20A prajñāsvabhāvatvād dharmāyatanena (74-1, 18-6)
- ㊦ shes rab kyi rang bzhin yin pa'i phyir chos kyi skye mched kyi bsdus (41b<sup>8</sup>)
  - ㊧ 慧爲性故此法處攝 (6b<sup>27</sup>)
  - ㊨ 智慧爲性故法入所攝 (166c<sup>20</sup>)
  - ㊮ 慧爲性故此法處攝 (347a<sup>15</sup>)
- 21A ākāśadhātur ālokatamaḥsvabhāvo… (77-8~9, 18-17)
- ㊦ nam mkha'i khams ni snang ba dang mun pa'i rang bzhin te (42a<sup>5</sup>)
  - ㊧ 空界明暗爲體 (6c<sup>11</sup>)
  - ㊨ 空界唯光闇爲體 (167a<sup>2-3</sup>)
  - ㊩ \* ākāśadhāto rūpadhātau; ālokatamaḥsvabhāvatvāt (76-16~17, 58-14)
  - ㊪-㊫ \* nam mkha'i khams ni snang ba dang mun pa'i ngo bo nyid yin pa'i phyir gzugs kyi khams du 'dus (59b<sup>8</sup>-60a<sup>1</sup>)
- 22A rātrindivasvabhāvo veditavyaḥ (77-9, 18-17)
- ㊦ mtshan mo dang nyin mo'i rang bzhin rig par bya (42a<sup>5</sup>)
  - ㊧ 應知此體不離晝夜 (6c<sup>12</sup>)
  - ㊨ 晝夜位爲 (167a<sup>3</sup>)
  - ㊩ rātrindivasvabhāva iti (77-12, 57-14)
  - ㊪-㊫ mtshan mo dang nyin mo'i rang bzhin (60b<sup>2</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (21)

㊦ mtshan mo dang nyin mo'i **rang bzhin** (66b<sup>7</sup>)

23㊦ dharmadhātur alobhādis**svabhāva**samprayuktasamutthaḥ pratisam-  
khyanirodhaś ca kuśalaḥ (82-10、20-12)

㊦ chos kyi khams ni ma chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** dang mtshung  
par ldan pa dang/kun nas bslang ba dang/so sor brtags pas 'gogs pa ni  
dge ba (43b<sup>5</sup>)

㊦ 法界若是無貪等性相應等起擇減名善 (7b<sup>21-22</sup>)

㊦ 法界與無貪等善相應及發起擇減皆是善性 (167b<sup>23-24</sup>)

㊦ \* ālobhādis**svabhāvo** yo 'yam uktaḥ (82-14、60-21)

㊦-㊦ \* ma chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** gang 'di bshad zin pa yin (64  
a<sup>2</sup>)

㊦ ma chags pa la sogs pa'i **rang bzhin** (106b<sup>6</sup>)

㊦ 無貪等性相應等起擇減名善 (348c<sup>9-10</sup>)

24㊦ lobhādis**svabhāva**samprayuktasamuttho 'kuśalaḥ (82-11、20-13)

㊦ chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** dang/mtshung par ldan pa dang/kun  
nas bslang ba ni mi dge ba (43b<sup>6</sup>)

㊦ 若貪等性相應等起名爲不善 (7b<sup>22</sup>)

㊦ 與貪等惡相應發起是惡性 (167b<sup>24</sup>)

㊦ lobhādis**svabhāva**samprayuktasamuttho 'kuśalaḥ (82-13、60-19~20)

㊦-㊦ chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** dang mtshungs par ldan pa dang/  
kun nas bslang ba ni mi dge ba (64a<sup>4</sup>)

㊦ chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** dang zhas bya ba (107a<sup>2</sup>)

㊦ chags pa la sogs pa'i **ngo bo nyid** dang zhes bya ba (71a<sup>7-8</sup>)

㊦ 若貪等性相應等起名爲不善 (348c<sup>10-11</sup>)

25㊦ yo nāhāras**svabhāvaḥ** sa tatrāsti (83-12~13、20-25)

㊦ zas kyi **rang bzhin** ma yin pa'i (sic) gang yin pa de ni yod (44a<sup>3</sup>)

㊦ 彼所有觸非段食性 (7c<sup>3-4</sup>)

㊦ 觸非段食類 (167c<sup>6</sup>)

(22) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

㊦ \* yau nāhāras**svabhāvau** tau tatra syātām (83-10~11、61-1~2)

㊦-㊦ \* gang dag zas kyi **rang bzhin** yin pa de dag de na yod par 'gyur (64  
b<sup>3</sup>)

㊦ zas kyi **rang bzhin** ma yin pa gang yin pa de yod (107b<sup>6</sup>)

㊦ zas kyi **rang bzhin** ma yin pa de ni de na yod (72a<sup>5</sup>)

26㊦ daśa rūpas**svabhāvā** dhātavas… (87-4、21-21)

㊦ gzugs kyi **rang bzhin** gyi khams bcu… (44b<sup>8</sup>)

㊦ 十色界 (8a<sup>2</sup>)

㊦ 十界色爲性 (168a<sup>6</sup>)

㊦ daśa rūpas**svabhāvā** dhātavaḥ (87-9、63-15)

㊦-㊦ gzugs can gyi **rang bzhin** gyi khams bcu po (67a<sup>5</sup>)

㊦ gzugs kyi **rang bzhin** gyi zhes bya ba (74b<sup>7-8</sup>)

27㊦ **svabhāva**-abhinirūpaṇa-anusmaraṇavikalpaḥ (89-9、22-20)

㊦ **ngo bo nyid** dang/nges par rtog pa dang/rjes su dran pa'i rnam pas rtog  
pa (45b<sup>5</sup>)

㊦ 一自性分別二計度分別三隨念分別 (8b<sup>2-3</sup>)

㊦ 一自性分別二顯示分別三憶念分別 (168b<sup>1-2</sup>)

㊦ 一自性分別二計度分別三隨念分別 (350b<sup>7-8</sup>)

28㊦ **svabhāvavikalpo** 'sti (89-10、22-20)

㊦ **ngo bo nyid** kyi rtog pa yod (45b<sup>5</sup>)

㊦ 有自性 (8b<sup>3-4</sup>)

㊦ 有自性分別 (168b<sup>2</sup>)

㊦ **svabhāvavikalpo** 'sti (89-16、64-29)

㊦-㊦ **ngo bo nyid** kyi rtog pa yod (68b<sup>5</sup>)

㊦ **ngo bo nyid** kyi rnam par rtog pa yod (76b<sup>8</sup>)

㊦ 有自性 (350b<sup>8</sup>)

29㊦ **svabhāvavikalpo** vitarkaḥ (90-1、22-22)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (23)

- ㊦ ngo bo nyid kyi rnam par rtog pa ni rtog pa yin (45b<sup>6</sup>)
- ㊧ 自性分別體唯是尋 (8b<sup>5</sup>)
- ㊨ 自性分別即是覺觀 (168b<sup>4</sup>)
- ㊩ svabhāvavikalpo vitarkaḥ (89-16、64-30)
- ㊪-㊫ ngo bo nyid kyi rnam par rtog pa ni rtog pa yin (68b<sup>5-6</sup>)
- ㊬ ngo bo nyid kyi rnam par rtog pas (sic.) rnam par rtog (sic.) (113b<sup>1</sup>)
- ㊭ ngo bo nyid kyi rnam par rtog pa ni rtog pa yin (77a<sup>5</sup>)
- ㊮ 自性分別體唯是尋 (350b<sup>11</sup>)

31A itarau punaḥ kiṃ svabhāvau? (90-3、22-23)

- ㊦ gzhan dag gi rang bzhin ci zhe na (45b<sup>7</sup>)
- ㊧ 爲體 (8b<sup>6</sup>)
- ㊨ 二分別其相云何 (168b<sup>5</sup>)
- ㊩ gzhan dag gi rang bzhin ci zhes bya ba (113b<sup>5-6</sup>)
- ㊪ gzhan dag gi rang bzhin ni zhes bya ba (77a<sup>8</sup>)
- ㊭ 爲體 (350b<sup>12</sup>)

31A sālambanam yac caitasikasvabhāvam (90-13、23-5)

- ㊦ dmigs pa dang bcas pa yin te/sems las byung ba'i rang bzhin gang yin pa (46a<sup>2</sup>)
- ㊧ 諸心所法名有所緣 (8b<sup>13-14</sup>)
- ㊨ 此亦有緣緣以心法爲體故 (168b<sup>12</sup>)
- ㊩ 諸心所法名有所緣 (350c<sup>2-3</sup>)

31a A kati dhātavo bhūtasvabhāvaḥ? kati bhautikāḥ? (92-1、23-18)

- ㊦ khams du dag cig ni 'byung ba'i ngo bo nyid yin du dag cig ni 'byung ba las gyur pa yin zhe na (46a<sup>8-46b<sup>1</sup></sup>)
- ㊧ 幾大種性幾所造性 (8b<sup>28</sup>)
- ㊨ 幾界四大爲性幾界四大所造爲性 (168b<sup>23-24</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (24)

32A tasya ca svabhāvasahabhūnirmuktāḥ sarvadharmā ālambanam (106-7、27-24)

- ㊦ de'i dmigs pa yang rang gi ngo bo dang lhan cig 'byung ba ma gtogs pa chos thams cad yin (49b<sup>4-5</sup>)
- ㊧ 彼除自體及俱有法餘一切法皆爲所緣 (10a<sup>9</sup>)
- ㊨ 此心離自性及共有法餘一切法悉爲境界 (170a<sup>5-6</sup>)
- ㊩ tasya ca svabhāvasahabhūnirmuktā iti (106-5、75-20)
- ㊪-㊫ de'i dmigs pa yang rang gi ngo bo dang lhan cig 'byung ba ma gtogs pa (79b<sup>2-3</sup>)
- ㊬ \* rang gi ngo bo dang lhan cig 'byung ba la dmigs pa ma yin (132b8-133a<sup>1</sup>)
- ㊭ de'i dmigs pa yang rang gi ngo bo dang lhan cig 'byung ba ma gtogs pa (91a<sup>7</sup>)

Chap. II

33A svabhāvanirdeśaṃ kṛtvā prakārabhedo vaktavyaḥ (148-9、42-15)

- ㊦ rang gi ngo bo bstan nas... (62a<sup>2</sup>)
- ㊧ 已釋根體不同當辯諸門義類差別 (15a<sup>12-13</sup>)
- ㊨ 釋體性已根類義別今當說 (174b<sup>21</sup>)
- ㊩ rang gi ngo bo bstan nas zhes bya ba (181b<sup>4</sup>)
- ㊪ rang gi ngo bo bstan nas zhes bya ba (129a<sup>7</sup>)
- ㊭ 已釋根體不同當辯諸門義類差別 (380b<sup>11</sup>)

34A na ca saṅkalpavyāyāmau prajñāsvabhāvau (189-9、55-16)

- ㊦ rtog pa dang rtsol ba dag shes rab kyi rang bzhin ma yin (73a<sup>3</sup>)
- ㊧ 思惟及勤雖非慧性 (19b<sup>14</sup>)
- ㊨ na ca saṅkalpavyāyāmau prajñāsvabhāvav iti (189-21、129-17~18)
- ㊩-㊫ rtogs (sic.) pa dang rtsol ba dag shes rab kyi rang bzhin ma yin (133a<sup>8</sup>)
- ㊬ rtog pa dang rtsol ba dag ni shes rab kyi rang bzhin ma yin (220a<sup>5</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (25)

㊦ rtog pa dang rtsol ba gnyis ni shes rab kyi **rang bzhin** ma yin (160a<sup>2</sup>)

35㊦ tathaiṅmohah kuśalamahābhūmiko nāvadhāryate, prajñā-  
**svabhāvatvāt** (192-5~6, 56-16)

㊦ dper na gti mug med pa shes rab kyi **rang bzhin** yin pa'i phyir de dge  
ba'i sa mang po por nges par ma gzung ba ltar (74a<sup>3-4</sup>)

㊦ 如無癡善根慧爲體故非大善地法 (19c<sup>24</sup>)

㊦ 如無癡於善大地 (179a<sup>6</sup>)

㊦ \* yathaiṅmohah kuśalamūlam prajñā**svabhāvatvān** makābhūmika iti  
(192-6~7, 130-30~31)

㊦-㊦ \* dper na gti mug med pa'i dge ba'i rtsa ba shes rab kyi **rang bzhin**  
yin pa'i phyir sa mang po pa (135a<sup>1</sup>)

36㊦ yathā payaścātapaśca sarpiṣaḥ śyanatvavilīnatvayor na tu punas tat-  
**svabhāvau** (204-14~15, 61-2~3)

㊦ ji ltar nyi ma dang chu mar sar 'khyag pa nyid dang 'ju ba nyid dag gi  
rgyu mtshan gyi de dag gi **ngo bo nyid** ni ma yin pa ltar (78a<sup>6</sup>)

㊦ 如水日光是凝釋日體非凝釋 (21b<sup>24</sup>)

㊦ 譬如水及日光是酥凝釋因非凝釋 (180b<sup>12-13</sup>)

㊦ yathodakātapau sarpiṣaḥ śyanatvavilīnatvayor nimittabhūmau, na tu  
punas tats**svabhāvau** (204-10~11, 138-20~21)

㊦-㊦ ji ltar chu dang nyi ma dag mar sar 'khyags pa dang 'ju ba dag gi  
rgyu mtshan du gyur ba yin gyi de dag gi **ngo bo nyid** de 'khyags pa nyid  
dang 'ju ba nyid kyi **ngo bo nyid** dag ni ma yin te bzhin du (143b<sup>2-3</sup>)

㊦ de dag gi **ngo bo nyid** ma yin pa ltar zhes bya ba (231b<sup>2</sup>)

㊦ de dag gi **ngo bo nyid** ma yin pa ltar zhes bya ba (170b<sup>7</sup>)

37㊦ na ca rūpas**svabhāvā** iti cittaviprayuktā ucyate (210-2~3, 62-14)

㊦ gzugs kyi **rang bzhin** yang ma yin pas sems dang ldan pa (79a<sup>8</sup>)

㊦ 非色等性 (22a<sup>8</sup>)

㊦ 非是色性 (180c<sup>17-18</sup>)

(26) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

㊦ na ca rūpas**svabhāvā** iti (210-10, 143-6~7)

㊦-㊦ gzugs kyi **rang bzhin** yang ma yin pas (148b<sup>3</sup>)

㊦ gzugs kyi **rang bzhin** yang ma yin pas (235b<sup>3</sup>)

㊦ gzugs kyi **rang bzhin** yang ma yin pas (175a<sup>6-7</sup>)

38㊦ yad asya naiva **svabhāvaḥ** prajñāyate rūpaśabdādivad, rāgadveṣādivad  
vā; na cāpi cakṣuḥśrotrādivat (213-8~9, 63-10~11)

㊦ gang gi phyir gzugs dang sgra la sogs pa ltar ram/'dod chags dang zhe  
sdang la sogs pa ltar 'di'i **rang gi ngo bo** yang mi snang la/mig dang rna  
ba la sogs pa ltar bya ba yang mi snang ba (80a<sup>3-4</sup>)

㊦ 得無體可知如色聲等或貪瞋等無用可知如眼耳等 (22b<sup>5-6</sup>)

㊦ 此至非至自性不可知譬如色聲等又如欲瞋等其事亦不可知譬如眼耳等 (181  
a<sup>11-13</sup>)

㊦ \* thob pa ni **rang gi ngo bos** snang ba yang ma yin (239a<sup>3</sup>)

㊦ \* thob pa ni **rang gi ngo bos** snang ba yang ma yin (178b<sup>2</sup>)

㊦ 得無體可知如色聲等或貪瞋等無用可知如眼耳等 (397b<sup>2-3</sup>)

39㊦ ete cittacaittanīrodhas**svabhāve** (245-1, 72-18)

㊦ 'di dag sems dang sems las byung ba 'gog pa'i **rang bzhin** yin na (88a<sup>8</sup>)

㊦ 以心心所滅爲其自性 (25c<sup>17-18</sup>)

㊦ 心及心法爲自性 (184a<sup>22</sup>)

㊦ \* sarvacittacaitta nīrodhas**svabhāvatvāt** (245-7, 166-29)

㊦-㊦ \* sems dang sems las byung ba ni thams cad 'gog pa'i **ngo bo nyid**  
yin pa'i phyir (174a<sup>6</sup>)

㊦ sems dang sems las byung ba 'gog pa'i **rang bzhin** (265a<sup>3-4</sup>)

40㊦ na ca saṃskṛtānām rūpādīnām tāvat saṃskṛtatvaṃ lakṣyate, gr̥hṇāpi  
**svabhāvam**, yāvat prāgbhāvo na jñāyate paścāc ca santateś ca viśeṣaḥ  
(263-1~2, 78-9~11)

㊦ 'dus byas gzugs la sogs pa **rang gi ngo bo** bzung yang ji srid du snga na  
med pa dang phyis med pa dang rgyun gyi bye brag mi shes pa de srid

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (27)

du 'dus byas nyid du mi shes (94a<sup>4-5</sup>)

- ㊦ 雖了有爲色等**自性**乃至未了先無後無相續差別仍未知彼體是有爲 (28a<sup>18-20</sup>)  
㊧ 若人已了別**自性**乃至未解先無後有相續差別是故由此相不可相有爲性 (186b<sup>22-23</sup>)  
㊨ na ca saṃskṛtānām rūpādīnām tāvat saṃskṛtatvaṃ lakṣyate, gr̥hṇāpi **svabhāvam** (263-1, 177-26~27)  
㊩-㊪ 'dus byas gzugs la sogs pa ji srid du **rang gi ngo bo** bzugs yang (184b<sup>6</sup>)  
㊫ \* ji srid du snga na med pa dang/phyis med pa mi shes pa na ste/ci zhe na/**rang gi ngo bo** zhes skabs dang sbyor (221b<sup>1</sup>)

- 41㊬ eṣā ca ṣaṣṭhī katham kalpyate-rūpasya **svabhāva** iti (268-2, 79-27)  
㊭ gzugs kyi **rang bzhin** zhes bya ba drug pa 'di yang ji ltar brtags (95b<sup>8</sup>)  
㊮ 又如說色之**自性**此第六轉言何得成 (28c<sup>19-20</sup>)  
㊯ 云何成是色**自性** (187a<sup>19-20</sup>)  
㊰ rūpasya **svabhāva** iti (268-5, 180-19)  
㊱-㊲ gzugs kyi **rang bzhin** (187b<sup>1</sup>)  
㊳ gzugs kyi **rang bzhin** zhes bya ba (289a<sup>1</sup>)  
㊴ gzugs kyi **rang bzhin** zhes (226a<sup>7</sup>)

- 42㊵ vāksvabhāvatvāc chabdātmakā iti (271-12, 80-24)  
㊶ ngag gi **rang bzhin** yin pa'i phyir sgra'i bdag nyid yin pas (96b<sup>6</sup>)  
㊷ 語爲**性**故用聲爲體 (29a<sup>22-23</sup>)  
㊸ 言說爲體即是音聲性 (187b<sup>20</sup>)  
㊹ ngag gi **rang bzhin** yin pa'i phyir sgra'i bdag nyid yin pas (292a<sup>2</sup>)  
㊺ ngag gi **rang bzhin** yin pa'i phyir sgra'i bdag nyid yin pas (229a<sup>7-8</sup>)  
㊻ 語爲**性**故用聲爲體 (413c<sup>12</sup>)

- 43㊼ rūpasvabhāvā bhavanti (271-13, 80-24)  
㊽ gzugs kyi **rang bzhin** dag ma yin nam (96b<sup>6</sup>)  
㊾ 色**自性**攝 (29a<sup>23</sup>)

(28) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

- ㊿ 色**自性** (187b<sup>20</sup>)  
㊽ gzugs kyi **rang bzhin** (292a<sup>2-3</sup>)  
㊾ gzugs kyi **rang bzhin** (229a<sup>8</sup>)  
㊿ 色**自性**攝 (413c<sup>12</sup>)

- 44㊽ naite vāksvabhāvāḥ (271-14, 80-25)  
㊾ de dag ni ngag gi **rang bzhin** ma yin (96b<sup>7</sup>)  
㊿ 非以語爲**自性** (29a<sup>24</sup>)  
㊽ 不以言攝爲**性** (187b<sup>22</sup>)  
㊾ naite vāksvabhāvā iti (271-19, 183-10)  
㊿-㊽ de dag ni ngag gi **rang bzhin** ma yin te zhes bya ba (189b<sup>7</sup>)  
㊽ de dag ni ngag gi **rang bzhin** ma yin te zhes bya ba (292a<sup>4</sup>)  
㊾ de dag ni ngag gi **rang bzhin** ma yin te zhes bya ba (229b<sup>1</sup>)

- 45㊽ ghoṣasvabhāvatvād vācaḥ (272-11, 81-7~8)  
㊾ ngag ni sgra'i **rang bzhin** yin pa'i phyir (97a<sup>4</sup>)  
㊿ 語聲**性**故 (29b<sup>8</sup>)  
㊽ 言語以音聲爲**自性**故 (187c<sup>5-6</sup>)  
㊾ 語聲**性**故 (414a<sup>25-26</sup>)

- 46㊽ ghoṣasvabhāvatvād vācaḥ (272-13, 81-9)  
㊾ ngag ni sgra'i **rang bzhin** yin pa'i phyir (97a<sup>6</sup>)  
㊿ 語聲**性**故 (29b<sup>10</sup>)  
㊽ 言語以音聲爲**自性**故 (187c<sup>8</sup>)  
㊾ 語聲**性**故 (414a<sup>27-28</sup>)

- 47㊽ saṃskṛtasya hi dharmasya **svabhāvavarjyāḥ** sarvadharmāḥ kāraṇa-  
ahetuḥ (280-4, 82-26)  
㊾ **rang gi ngo bo** ma gtogs pa chos thams cad ni chos 'dus byas kyi byed  
rgyu'i rgyu yin (98b<sup>6</sup>)  
㊿ 一切有爲唯**自體**以一切法爲能作因 (30a<sup>15-16</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (29)

- ㊦ 所生有爲法離自體以一切法爲隨造因 (188a<sup>28-29</sup>)
- ㊧ \* rang gi ngo bo rang gi ngo bo'i byed rgyur gyur na (300a<sup>8</sup>)
- ㊨ \* 諸法生時唯除自體以一切法爲能作因 (417a<sup>13-14</sup>)

48㊦ katham svabhāvavarjyāḥ sarvadharmāḥ saṃskṛtasya kāraṇahetur bhavanti? (280-7~8, 83-1)

- ㊦ ji ltar na rang gi ngo bo ma gtogs pa chos thams cad chos 'dus byas kyi byed rgyu yin zhe na (98b<sup>7</sup>)
- ㊧ 如何有爲唯除自體以一切法爲能作因 (30a<sup>20-21</sup>)
- ㊨ 云何一切法離自體於有爲法立爲隨造因 (188b<sup>3-4</sup>)
- ㊩ katham svabhāvavarjyāḥ sarvadharmāḥ saṃskṛtasya kāraṇahetur bhavanti (281-14, 189-20~21)
- ㊪-㊦ ji ltar rang gi ngo bo ma gtogs pa chos thams cad 'dus byas kyi byed pa'i rgyu yin (195b<sup>8</sup>-196a<sup>1</sup>)

49㊦ tad idam itaretarāśrayaṃ vyākhyānam asamarthaṃ tatsvabhāvyotane (321-2, 90-2)

- ㊦ phan tshun rten pa'i bshad pa 'di ni de'i rang gi ngo bo gsal bar bya ba la nub pa ma yin (108a<sup>3</sup>)
- ㊧ 更互相依於此自性竟不能顯 (34a<sup>9</sup>)
- ㊨ 此釋更互相依終不能顯自性 (191c<sup>13-14</sup>)

50㊦ tasmād anyathā tatsvabhāvo vaktavyaḥ (321-2, 90-2)

- ㊦ de lta bas na de'i rang gi ngo bo gzhan du brjod par bya (108a<sup>3-4</sup>)
- ㊧ 故應別門開顯自性 (34a<sup>9-10</sup>)
- ㊨ 是故應引別義顯其體性 (191c<sup>14</sup>)

51㊦ āryair eva tatsvabhāvaḥ pratyātmavedyaḥ (321-3, 90-2)

- ㊦ de'i rang gi ngo bo ni 'phags pa rnams kho nas so so rang gis rig par bya ba yin (108a<sup>4</sup>)
- ㊧ 此法自性實有離言唯諸聖者各別內證 (34a<sup>10-11</sup>)

(30) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

- ㊦ 諸聖人能自證此法體性 (191c<sup>14-15</sup>)
- ㊧ de'i rang gi ngo bo 'phags pa rnams kho bos (sic.) zhes bya ba (263a<sup>6-7</sup>)

52㊦ na hi tasya rūpavedanādivat svabhāva upalabhyate, na cāpi cakṣurādivat karmam (325-14~15, 93-19~20)

- ㊦ gzugs dang tshor ba la sogs pa bzhin du de'i rang gi ngo bo yang ma dmigs la mig la sogs pa bzhin du las kyang mi dmigs (109b<sup>8</sup>-110a<sup>1</sup>)
- ㊧ 此非有體可得如色受等亦非有用可得如眼耳等 (34c<sup>10-11</sup>)
- ㊨ 此無爲不如色受等自性可證不如眼根等可以事證 (192b<sup>16-17</sup>)
- ㊩ \* de ni gzugs dang tshor ba la sogs pa bzhin du rang gi ngo bos mngon sum gyis dmigs pa yin (338b<sup>7</sup>)
- ㊪ \* de ni gzugs dang tshor ba la sogs pa bzhin du rang gi ngo bos mngos sum gyis dmigs pa yin (267a<sup>6-7</sup>)

53㊦ avasukāḥ=aśarirāḥ, asvabhāvā ity uktam bhavati (327-6, 94-11)

- ㊦ dngos po med pa ni lus med pa dang/rang gi ngo bo med pa ni zhes bshad pa yin (110b<sup>3</sup>)
- ㊧ 言無事者謂無體性 (35a<sup>4</sup>)
- ㊨ 無類謂無體此言顯無自性 (192c<sup>16</sup>)
- ㊩ dngos po med pa ni lus med pa dang/rang gi ngo bo med pa (342a<sup>5-6</sup>)
- ㊪ dngos po med pa ni lus med pa dang/rang gi ngo bo med pa (268b<sup>8</sup>-269a<sup>1</sup>)

54㊦ svabhāvavastu, (327-7, 94-11)

- ㊦ rang bzhin gyi dngos po (110b<sup>4</sup>)
- ㊧ 自性事 (35a<sup>6</sup>)
- ㊨ 自性類 (192c<sup>4</sup>)
- ㊩ rang bzhin gyi dngos po (342a<sup>7</sup>)
- ㊪ rang bzhin gyi dngos po (269a<sup>1-2</sup>)
- ㊫ 自性事 (435b<sup>20</sup>)

- 55A sarvaḥ sarvasya saṃskṛtasya **svabhāva**varjyasya (349-11、100-16)
- ㊦ chos thams cad **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i 'dus byas thams cad kyi yin (116b<sup>3</sup>)
  - ㊧ 以一切法各除**自性**與一切有爲爲增上緣 (37b<sup>17-18</sup>)
  - ㊨ 此一於一切有爲法離**自性**皆是增上緣 (194c<sup>22-23</sup>)
  - ㊩ \* sarvaḥ saṃskṛtāsaṃskṛtataḥ sarvasya saṃskṛtasya **svabhāva**varjyaś ca (349-10~11、236-14)
  - ㊪-㊫ \* 'dus byas dang 'dus ma byas thams cad **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i 'dus byas (253a<sup>8-b</sup><sup>1</sup>)
  - ㊬ \* **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i chos thams cad bdag po'i rkyen yin pa (363a<sup>8</sup>)
  - ㊭ thams cad **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i zhes bya ba (283b<sup>4</sup>)
- 56A syāt **svabhāva svabhāvasya** parabhāvo 'pi (349-12、100-17)
- ㊦ yod de **rang gi ngo bos** (sic.) **rang gi ngo bo** lta bu'o//gzhan gyi ngo bo yang yod (116b<sup>5</sup>)
  - ㊧ 有謂**自性**於**自性**於他性亦有 (37b<sup>19-20</sup>)
  - ㊨ 不有謂**自性**於**自性**他性於他性 (194c<sup>24</sup>)
  - ㊩ **rang gi ngo bo**'i **rang gi ngo bo** lta bu'o zhes bya ba (364a<sup>2</sup>)
  - ㊪ **rang gi ngo bo**'i **rang gi ngo bo** lta bu'o zhes bya ba (283b<sup>6</sup>)
- 57A adhipatipratyayaḥ-**svabhāva**varjyāḥ sarvadharmāḥ(351-5、101-10~11)
- ㊦ bdag po'i rkyen pa ni **rang gi ngo bo** ma gtogs pa chos thams cad (117a<sup>5-6</sup>)
  - ㊧ 增上緣者謂隨所應各除**自性**餘一切法 (37c<sup>13-14</sup>)
  - ㊨ 增上緣者離**自性**一切餘法 (195a<sup>13-14</sup>)
  - ㊩ **svabhāva**varjyāḥ sarvadharmāḥ (351-6、237-6~7)
  - ㊪-㊫ **rang gi ngo bo** ma gtogs chos thams cad (254a<sup>5</sup>)
  - ㊬ \* bdag po'i rkyen ni byed rgyu'i rgyu kho na yin pas **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i thams cad (sic.) (366a<sup>1</sup>)

- ㊰ \* bdag po'i rkyen ni byed rgyu'i rgyu yin pas **rang gi ngo bo** ma gtogs pa'i chos thams cad (284b<sup>7-8</sup>)

### Chap. III

- 58A santi kuśalakliṣṭabhājanāntarabhāvas**svabhāvā** api dhātavaḥ (389-19、114-10)
- ㊦ khams rnam ni dge ba dang/nyon mongs can dang/snod dang srid pa bar ma pa'i **rang bzhin** dag kyang yin (128b<sup>2</sup>)
  - ㊧ 有謂善染外器中有雖是界**性** (42a<sup>21</sup>)
  - ㊨ 攝有善染汚器世界中陰爲**性**是界 (199b<sup>11-12</sup>)
  - ㊩ \* 善染無記有情無情及中有等是界**性** (459b<sup>22-23</sup>)
- 59A sattvākhyā eva ca, na cāntarābhāvas**svabhāvāḥ** (390-1、114-14)
- ㊦ sems can zhes bya ba kho na yin yang/srid pa bar ma'i **rang bzhin** dag ni ma yin (128b<sup>3-4</sup>)
  - ㊧ 五趣唯是有情數攝體非中有 (42a<sup>23-24</sup>)
  - ㊨ 但衆生名是道亦非中陰爲**性** (199b<sup>12</sup>)
  - ㊩ na cāntarābhāvas**svabhāvā** iti (390-4、259-27)
  - ㊪-㊫ srid pa bar ma'i **rang bzhin** dag ni ma yin no zhes bya ba (282b<sup>8</sup>)
  - ㊬ \* srid pa bar ma'i **rang bzhin** yang yin no zhes bya ba (9b<sup>2</sup>)
  - ㊭ \* srid pa bar ma 'gro ba'i **rang bzhin** ma yin (309b<sup>1</sup>)
- 60A tāc vipākas**svabhāvā** evety eke (329-9~10、115-16)
- ㊦ de dag kyang kha cig na re rnam par smin pa'i **rang bzhin** dag kho na yin (129b<sup>5</sup>)
  - ㊧ 有說一向是異熟生 (42b<sup>27-28</sup>)
  - ㊨ 果報爲**性** (199c<sup>14</sup>)
  - ㊩ vipākas**svabhāvā** evety ācāryasaṃghabhadraḥ (392-15、261-1)
  - ㊪-㊫ slob dpon 'dus bzang ni rnam par smin pa'i **rang bzhin** dag kho na yin no/zhes bya (284b<sup>6</sup>)
  - ㊬ de dag kyang kha cig na re rnam par smin pa'i **rang bzhin** dag kho na



『俱舍論』における svabhāva について (木村) (33)

yin no zhes (11b<sup>7</sup>)

㊦ slob dpon 'dul bzang na re ni rnam par smin pa'i **rang bzhin** kho na yin no zhes (311a<sup>8</sup>)

㊧ 唯異熟生是趣體 (459c<sup>27-28</sup>)

61A aupacayikasvabhāvā apīty apare (392-10, 117-23)

㊦ gzhan dag na re rgyas pa las byung ba'i **rang bzhin** dag kyang yin (129 b<sup>5-6</sup>)

㊧ 有餘師言亦通長養 (42b<sup>28</sup>)

㊨ 有餘師說增長爲自性 (199c<sup>14-15</sup>)

㊩ aupacaikasvabhāvā apīti (392-13, 260-32)

㊦-㊧ rgyas pa las byung ba'i **rang bzhin** dag kyang yin no/zhes bya ba (284b<sup>4-5</sup>)

㊨ gzhan dag na re rgyas pa las byung ba'i **rang bzhin** dag kyang yin (12 a<sup>1</sup>)

㊩ gzhan dag na re rgyas pa las byung ba'i **rang bzhin** dag kyang yin (311 a<sup>7</sup>)

62A tesāṃ kaḥ svabhāvāḥ (398-5, 117-23)

㊦ de dag gi **rang bzhin** ci zhe na (132a<sup>7</sup>)

㊧ 如是四種其體云何 (43b<sup>22-23</sup>)

㊨ 此四體相云何 (200b<sup>4-5</sup>)

㊩ 如是四種其體云何 (463a<sup>22</sup>)

63A sapta ca vijñānasthitayaḥ pañcaskandhasvabhāvāḥ (399-7, 118-6)

㊦ rnam par shes pa (sic.) bdun phung po lnga'i **rang bzhin** dag yin (132b<sup>4</sup>)

㊧ 七識住五蘊爲體 (43c<sup>3</sup>)

㊨ 七識住五陰爲性 (200c<sup>6</sup>)

㊩ sapta ca vijñānasthitayaḥ pañcaskandhasvabhāvāḥ (399-13, 264-11)

㊦-㊧ rnam par shes pa gnas pa bdun phung po lnga'i **rang bzhin** dag yin (289a<sup>4</sup>)

(34) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

㊨ rnam par shes pa gnas pa bdun phung po lnga'i **rang bzhin** dag yin no zhes bya ba (15b<sup>1-2</sup>)

㊩ rnam par shes pa gnas pa bdun phung po lnga'i **rang bzhin** yin pa'i phyir (315b<sup>5-6</sup>)

64A sa punar eṣo dvādaśāṅgaḥ pratītyasamutpādas trisvabhāvo veditavyaḥ kleśakarmavastūni (442-3, 134-4)

㊦ yang rten cing 'brel bar 'byung ba yan lag bcu gnyis pa de ni nyon mongs pa dang/las dang/gzhi dang/gsum gyi **rang bzhin** du rig par bya (146 b<sup>5-6</sup>)

㊧ 十二支而三二爲性三謂惑業事 (49a<sup>19</sup>)

㊨ 此十二緣生應知三種自性一惑二業三類 (206a<sup>8-9</sup>)

㊩ \* lam dang nyon mongs pa'i **rang bzhin** nyid kyis (45a<sup>1</sup>)

㊦ \* lam dang nyon mongs pa'i **rang bzhin** nyid kyis (342b<sup>5</sup>)

㊧ 雖有十二支而三二爲性三謂惑業事 (499c<sup>8-9</sup>)

65A trīṇy aṅgāni kleśasvabhāvāni-avidyātrṣṇopādānāni (442-6, 134-7)

㊦ yan lag gsum ni nyon mongs pa'i **rang bzhin** dag ste/ma rig pa dang/sred pa dang/len pa rnams (164b<sup>6</sup>)

㊧ 無明愛取煩惱爲性 (49a<sup>23</sup>)

㊨ 三分以惑爲性謂無明愛取 (206a<sup>10-11</sup>)

㊩ avidyātrṣṇopādānāni kleśasvabhāvāni (442-10, 287-23~24)

㊦-㊧ ma rig pa dang sred pa dang len pa rnams ni nyon mongs pa'i **rang bzhin** yin (318a<sup>4</sup>)

㊨ \* 如是三種煩惱爲性 (496c<sup>13-14</sup>)

66A āṅgadvayaṃ karmasvabhāvam-saṃskārāḥ bhavaś ca (442-8, 134-9)

㊦ yan lag gnyis ni las kyi **rang bzhin** yin te/'dus byed dang/srid pa (146 b<sup>6-7</sup>)

㊧ 行及有支以業爲性 (49a<sup>23-24</sup>)

㊨ 二分以業爲性謂行及有 (206a<sup>11-12</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (35)

- ㊦ saṃskārāḥ bhavās ca karmas**svabhāvāḥ** (442-10、287-24)  
㊦-㊧ du byed dang srid pa ni las kyi **rang bzhin** yin (318a<sup>4</sup>)  
㊦ \* 如是二種以業爲**性** (496c<sup>14-15</sup>)

67㊦ saptāṅgāni vastus**svabhāvāni**-vijñānanāmarūpaṣaḍāyatanaśarṣavedanā-jātijarāmarāṇāni (442-10~11、134-11)

- ㊦ yan lag bdun po ni rnam par shes pa dang/ming dang/gzugs dang/skye mched drug dang/red pa dang/tshor ba dang/skye ba dang/rga shi rnams ni las dang nyon mongs pa'i rten yin pa'i phyir gzhi'i yan lag yin (sic.) (146b<sup>7-8</sup>)  
㊦ 餘識等七以事爲**性** (49a<sup>24</sup>)  
㊦ 七部以類爲**性**謂識名色六入觸受生老死 (206a<sup>12-13</sup>)

68㊦ śeṣāṇi pañca hetubhūtāni; karmakleśas**svabhāvāt**vāt (442-13、134-14)

- ㊦ lhag ma lnga ni las dang nyon mongs pa'i **rang bzhin** yin pa'i phyir rgyur gyur pa dag yin (146b<sup>8</sup>-147a<sup>1</sup>)  
㊦ 餘五即亦名因以煩惱業爲**自性**故 (49a<sup>25-26</sup>)  
㊦ 所餘諸分說名因惑業爲**性**故 (206a<sup>14-15</sup>)  
㊦ pañcahetubhūtāni/avidyāsaṃskaratṛṣṇopādānabhavāḥ/karmakleśa-**svabhāvāt**vād iti (442-9、287-22~23)  
㊦-㊧ lnga ni rgyur pa dag yin no//zhes bya ba ni ma rig pa dang/'du byed dang/sred pa dang/len pa dang/srid pa rnams so//las dang nyon mongs pa'i **rang bzhin** yin pa'i phyir zhes bya ba (318a<sup>3-4</sup>)  
㊦ 餘五即亦名因以煩惱業爲**自性** (496c<sup>16-17</sup>)

69㊦ avidyāpi kleśas**svabhāvā** vastunaḥ kleśād veti jñāpitaṃ bhavati (443-15~16、135-3~4)

- ㊦ ma rig pa nyon mongs pa med pa'i (sic.) **rang bzhin** yang gzhi 'am nyon mongs pa las skye bar 'gyur (147a<sup>8</sup>)  
㊦ 無明老死事惑**性**故 (49b<sup>13-14</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (36)

- ㊦ 由無明是煩惱**性**惑從類生惑從惑生 (206b<sup>3-4</sup>)  
㊦ \* avidyā kleśas**svabhāvā** satī vastunaḥ kleśād veti jñāpitaṃ bhavati (444-1、288-10~11)  
㊦-㊧ \* ma rig pa'i nyon mongs pa'i **ngo bo nyid** gzhi 'am nyon mongs pa las skye (318b<sup>5-6</sup>)

70㊦ sā ca dṛṣṭis**svabhāvā** iti nāvidyā yujyate (463-14、141-11)

- ㊦ de yang lta ba'i **rang bzhin** yin pas ma rig pa yin par mi rung (153a<sup>1</sup>)  
㊦ 於中有見故非無明 (51c<sup>23-24</sup>)  
㊦ 此即以見爲**性**故不應成無明 (208c<sup>10-11</sup>)  
㊦ sā ca dṛṣṭis**svabhāveti** (sic.) nāvidyā yujyate iti (463-16、301-17)  
㊦-㊧ de yang lta ba'i **rang bzhin** yin pas ma rig pa yin par mi rung ngo//zhes bya ba (336a<sup>2</sup>)  
㊦ de yang lta ba'i **rang bzhin** yin pas zhes bya ba (65a<sup>6</sup>)

71㊦ sarvakleśas**svabhāvā** hi satī saṃyojanādiṣu pṛthag nocyate (465-4、141-25~142-1)

- ㊦ nyon mongs pa thams cad kyi **rang bzhin** yin na kun tu sbyor ba la sogs pa'i nang du yang shig tu bshad par mi 'gyur (153b<sup>1</sup>)  
㊦ 若諸煩惱皆是無明於結等中不應別說 (52a<sup>9-10</sup>)  
㊦ 若無明是一切惑**性**類不應於結等義中立爲別惑 (208c<sup>25-26</sup>)  
㊦ sarvakleśas**svabhāvā** hi satī saṃyojanādiṣu pṛthag nocyate (465-11、302-8~9)  
㊦-㊧ nyon mongs pa thams cad kyi **rang bzhin** yin na kun tu sbyor ba la sogs pa'i nang du yang logs shig tu bshad par mi 'gyur (337a<sup>4</sup>)  
㊦ \* gal te nyon mongs pa thams cad kyi **rang bzhin** ma rig pa yin na (66b<sup>4</sup>)  
㊦ \* gal te nyon mongs pa thams cad kyi **rang bzhin** ma rig pa yin na (359a<sup>1</sup>)

72A bhavaty avidyā dharmāntaram, kas tu tasyāḥ **svabhāvaḥ**? (465-8、142-4)

- ㊦ ma rig pa chos zhig yin la ni rag na (sic.) de'i **rang bzhin** ci yin (153b<sup>3</sup>)
- ㊧ 既許無明別法爲體應說此體其相云何 (52a<sup>12-13</sup>)
- ㊨ 我許無明是別惑此無明以何爲性 (209a<sup>1</sup>)
- ㊩ 若有別法說名無明應說爲別法性 (501a<sup>25-26</sup>)

73A yadi **svabhāvataḥ**, trayo bhaviṣyati-saumanasyadaurmanasyopekṣāvicārāḥ (480-3~4、147-1~2)

- ㊦ gal te **ngo bo nyid** las ni gsum du 'gyur te/yid bde ba dang/yid mi bde ba dang/gtang snyoms kyi nye bar rgyu ba dag yin (157b<sup>3-4</sup>)
- ㊧ 若由自性應但有三喜憂捨 (53c<sup>4</sup>)
- ㊨ 若由自性應成三謂喜憂捨別行 (210b<sup>21-22</sup>)
- ㊩ \* saumanasyadaurmanasyopekṣās**svabhāvatraividhyāt** (480-5、310-16)
- ㊪-㊦ \* yid bde ba dang yid mi bde ba dang btang snyoms kyi **ngo bo nyid** rnam pa gsum yin pa'i phyir (347b<sup>8</sup>)

74A kalpaḥ kiṃ **svabhavaḥ**? (543-23、180-25)

- ㊦ bskal pa'i **rang bzhin** ci zhe na (180b<sup>5-6</sup>)
- ㊧ 劫性是何 (63b<sup>8-9</sup>)
- ㊨ 此劫以何法爲自性 (221a<sup>22-23</sup>)

75A pañcaskandhas**svabhāvaḥ** (543-23、180-25)

- ㊦ phung po'i lnga'i **rang bzhin** (180b<sup>6</sup>)
- ㊧ 謂唯五蘊 (63b<sup>9</sup>)
- ㊨ 五陰爲自性 (221a<sup>23</sup>)
- ㊩ pañcaskandhas**svabhāvaḥ** (543-3、335-32)
- ㊪ \* bskal pa phung po lnga'i **rang bzhin** (110b<sup>1</sup>)
- ㊫ \* bskal pa phung po lnga'i **rang bzhin** (399b<sup>5</sup>)
- ㊬ \* 諸劫唯用五蘊爲體 (523c<sup>4</sup>)

Chap. IV

76A katham eṣāṃ karmāṇāṃ vyavasthānam, kim āsrayataḥ? āhosvit **svabhāvataḥ** samutthānato vā? (567-13~568-1、192-12~13)

- ㊦ las de dag ji ltar rnom par bzhag/ci rten las sam/'on te **ngo bo nyid** las sam/'on te kun na slong pa las (190a<sup>8</sup>-190b<sup>1</sup>)
- ㊧ 如何建立此三業耶爲約所依爲據自性爲就等起 (67b<sup>18-19</sup>)
- ㊨ 云何建立此三爲由依止爲自性爲緣起 (225b<sup>1-2</sup>)
- ㊩ \* 如是三業隨其次第由所依自性等起故建立 (351b<sup>23-24</sup>)

77A **svabhāvataś** ced, vākkarmaikam prāpnoti (568-2、192-14)

- ㊦ gal te **ngo bo nyid** las yin na ni de ngag gi las gcig pur 'gyur (190b<sup>1</sup>)
- ㊧ 若據自性應唯語是業 (67b<sup>21</sup>)
- ㊨ 若由自性但一口業 (225b<sup>3</sup>)
- ㊩ **svabhāvataś** ced vākkarmaikam iti (568-1、345-9)
- ㊪-㊦ gal te **ngo bo nyid** las yin na ni ngag gi las gcig pur 'gyur ro zhes bya ba (2a<sup>6</sup>-2b<sup>1</sup>)
- ㊫ \* ngag gi las ni **ngo bo nyid** yin te/de ni ngag gis (sic.) rang bzhin yin pa'i phyir (121b<sup>2</sup>)
- ㊬ \* ngag gi las ni **ngo bo nyid** yin te/de ni ngag gi rang bzhin yin pa'i phyir (4a<sup>1</sup>)

78A vacasaḥ karmas**svabhāvativāt** (568-2、192-15)

- ㊧ 以三種中唯語卽業故 (67b<sup>21-22</sup>)
- ㊨ 於一切中但口是業故 (225b<sup>3</sup>)

79A te tu kāyavākkarmāṇi pratyekaṃ vijñāptyavijñaptis**svabhāve** veditavye (568-11、192-22)

- ㊦ lus dang ngag gi las de dag ni so sor rnam par rig byed dang/rnam par rig byed ma yin pa'i **rang bzhin** dag tu rig par bya (190b<sup>4-5</sup>)
- ㊧ 身語二業俱表無表性 (67c<sup>1-2</sup>)
- ㊨ 是身口業應知一一各有二類謂有教無教爲性 (225b<sup>10-11</sup>)

㊦ 身語二業俱表無表性 (531b<sup>29</sup>-c<sup>1</sup>)

80A siddhasvalakṣaṇānām hi tesāṃ sañcayo yujyate/na ca saṃsthānāvaya-vāṇām varṇādivat **svabhāvaḥ** siddha iti kuta eṣāṃ sañcayaḥ (576-2~4, 195-10~11)

㊦ rang gi mtshan nyid rnam grub na ni de dag bsags pa rung bar 'gyur na dbyibs kyi yan lag rnam ni kha dog la sogs pa bzhin du **rang gi ngo bor** grub pa yang med na de dag bsags pa lta zhig ga la yod (192b<sup>8</sup>-193a<sup>1</sup>)

㊧ 非諸形色有別極微自相極成猶如顯色云何得有聚集安布 (68b<sup>27-28</sup>)

㊨ 若彼別相成就彼聚集可然相貌隣虛如色等隣虛自性既不成就云何得有聚集(226b<sup>4-6</sup>)

㊩ na ca saṃsthānāvayavānām varṇādivat **svabhāvaḥ** siddha iti (576-3~4, 350-15~16)

㊪-㊦ dbyibs kyi yan lag rnam ni kha dog la sogs pa bzhin du **rang gi ngo bor** grab pa yang med ces bya ba (6b<sup>8</sup>)

㊫ \* gang kha dog gi rdul phra rab gnyis ga la rab tu grub pa'i **rang gi ngo bo** (128a<sup>4</sup>)

㊬ \* gang kha dog gi rdul phra rab gnyis la rab tu grub pa's **rang gi ngo bo** (9b<sup>4</sup>)

81A vāks**svabhāvo** yaḥ śabdaḥ sasiva vāgvijñaptiḥ (578-8, 196-4)

㊦ ngag gi **rang bzhin** gyi sgra gang yin pa de ni ngag gi rnam par rig byed yin no// (193b<sup>5</sup>)

㊧ 語表業體謂即言聲 (68c<sup>25</sup>)

㊨ 是聲言語爲性 (226c<sup>3-4</sup>)

㊩ ngag gi **rang bzhin** gyi sgra gang yin pa zhes bya ba (131b<sup>2</sup>)

㊪ ngag gi **rang bzhin** gyi sgra gang yin pa zhes bya ba (12a<sup>8</sup>)

㊫ \* 語表體即言語 (539b<sup>26</sup>)

82A teṣāṃ cāvidyamāṇas**svabhāvadvā** rūpalakṣaṇābhāvāc ca (578-10~579-1, 196-6)

㊦ de dag kyang **rang gi ngo bo med pa'i** phyir dang gzugs kyi mtshan nyid med pa'i phyir (193b<sup>6-7</sup>)

㊧ 過去大種體非有故又諸無表無色相故 (68c<sup>28</sup>)

㊨ 過去四大已無爲性故由執此色爲相故 (226c<sup>7-8</sup>)

㊩ \* teṣāṃ cātītānām mahābhūtānām/na hy atītānām pratyutpannas**svabhāvo** 'sti (579-2~3, 352-8~9)

㊪-㊦ \* de dag kyang **rang gi ngo bo** med pa'i phyir zhes bya ba ni 'dus pa'i 'byung ba chen po de dag kyang da lta bur rang gi ngo bor med (8b<sup>4-5</sup>)

㊫ \* 'das pa'i 'byung ba chen po de rnam ni da lta byung ba **rang bzhin** med pa'i phyir (131b<sup>8</sup>)

㊬ \* 'das pa'i 'byung ba chen po de rnam ni da lta byung ba **rang bzhin** med pa'i phyir (12b<sup>5</sup>)

㊭ 過去大種體非有 (540a<sup>8-9</sup>)

83A kṛte 'pi ca tasyāḥ **svabhāvaviśeṣād** iti (582-2, 196-20)

㊦ zas (sic.) su zin kyang de'i **rang gi ngo bo** la khyad par med pa'i phyir (194a<sup>7</sup>)

㊧ 使作所作已此性無異故 (69a<sup>15-16</sup>)

㊨ 若已作此性無差別故 (226c<sup>21-22</sup>)

㊩ kṛte 'pi ca tasyāḥ **svabhāvaviśeṣād** iti (584-14, 354-35)

㊪-㊦ byas su zin kyang de'i **rang gi ngo bo** la khyad par med pa'i phyir zhes bya ba (11b<sup>1</sup>)

㊫ byas su zin kyang de'i **rang gi ngo bo** la khyad par med pa'i phyir ro zhes (133a<sup>7</sup>)

㊬ byas su zin kyang de'i **rang gi ngo bo** la khyad par med pa'i phyir ro zhes bya ba (14a<sup>4</sup>)

84A paramārthataḥ, **svabhāvataḥ**, samprayogataḥ, samutthānaś ca (597-3, 202-6)

㊦ don dam pa dang/**ngo bo nyid** dang/mtshung par ldan pa dang/kun nas slong bas (199b<sup>7-8</sup>)

- ㊦ 一由勝義二由自性三由相應四由等起 (71a<sup>16-17</sup>)  
㊧ 一眞實二自性三相應四發起 (228c<sup>11-12</sup>)  
㊨ svabhāvata iti/ātmataḥ (597-1, 362-28)  
㊩-㊪ ngo bo nyid (sic.) ces bya ba ni bdag nyid kyis (19b3-4)  
㊫ de rnams ni don dam pa 'am ngo bo nyid dang/mtshung par ldan pa'i sgo nas (144b<sup>8</sup>)  
㊬ don dam pa dang/ngo bo nyid dang/mtshungs par ldan pa dang/kun nas slong bar (24b<sup>8</sup>)  
㊭ 一由勝義二由自性三由相應四由等起 (546a<sup>16-17</sup>)

85㊮ trīṇi kuśamūlāni hrīścāpatrāpyaṃ ca svabhāvena kuśālāni; anyasamprayogasamuttānānapeksatvāt (597-9~10, 202-11~12)

- ㊯ dge ba'i rtsa ba gsum dang ngo tsha shas pa dang khrel yod pa ni gzhan mtshungs par ldan pa dang/kun nas slong ba la mi bltos pa'i phyir ngo bo nyid kyis (sic.) dge ba yin (200a<sup>1-2</sup>)  
㊺ 唯慚與愧及無貪等三種善根不待相應及餘等起體性是善 (71a<sup>24-25</sup>)  
㊻ 三善根慚及羞此法由自性是善不觀別相應發起因故 (228c<sup>15-16</sup>)  
㊼ 唯慚與愧及無貪等三種善根不待相應及餘等起體性是善 (536a<sup>29-b1</sup>)

86㊽ akuśalamūlāhrikyānapatrāpyāni svabhāvataḥ (598-5, 202-24)

- ㊾ mi dge ba'i rtsa ba dang ngo tsha med pa dang khrel med pa rnams ni ngo bo nyid kyis (200a<sup>7</sup>)  
㊿ 唯無慚愧及貪瞋等三不善根不待相應及餘等起體是不善 (61b<sup>6-7</sup>)  
㊰ 三惡根及無慚無羞名自性惡 (228c<sup>25-26</sup>)  
㊱ \* nāpy alobhādivat svabhāvataḥ kuśalam; atatsvabhāvatvāt (598-2, 368-5)  
㊲-㊳ \* ma chags pa la sogs pa bzhin du ngo bo nyid kyis dge ba yang ma yin te/de'i ngo bo nyid ma yin pa'i phyir (20a<sup>2</sup>)  
㊴ \* chags pa la sogs pa dag ni ngo bo nyid kyis mi dge ba yin (145a<sup>8-145b1</sup>)  
㊵ \* chags pa la sogs pa dag ni ngo bo nyid kyis mi dge ba yin (25a<sup>8</sup>)

- ㊶ 唯無慚愧及貪瞋等三不善根不待相應及餘等起體是不善 (546b<sup>17-18</sup>)

87㊷ abhinna eṣāṃ caturṇāṃ saṃvarāṇāṃ tribhyaḥ svabhāvah (609-2, 206-7)

- ㊸ sdom pa bzhi po dag gi gsum po las rang bzhin tha mi dad (203b<sup>1</sup>)  
㊹ 四律儀非異三體 (72c<sup>8-9</sup>)  
㊺ 四種護體性不異於三 (230a<sup>7</sup>)  
㊻ \* abhinne 'nyaś caturṇāṃ bhikṣuniśikṣamāṇāśrāmaneryupāsikaṣaṃvarāṇāṃ tribhyo bhikṣuśrāmaṇeropāsakaṣaṃvarebhyaḥ svabhāvah (607-9~10, 368-15~17)  
㊼-㊽ \* dge slong ma dang/dge slop ma dang/dge tshul ma dang/dge bsnyen ma'i sdom pa bzhi po de dag ni dge slong dang dge tshul dang/dge bsnyen gyi sdom pa gsum po las rang bzhin tha mi dad (25a<sup>3-4</sup>)  
㊾ sdom pa bzhi po de dag ni gsum po las rang bzhin tha mi dad do zhes bya ba (30b<sup>4</sup>)  
㊿ 四律儀非異三體 (598c<sup>7</sup>)

88㊿ kriyāsvabhāvatvāt karmam (609-9)

- ㊰ bya ba'i rang bzhin yin pa'i phyir las (204b<sup>1</sup>)  
㊱ 所作自體故名爲業 (73a<sup>15-16</sup>)  
㊲ 所造爲性故名業 (230b<sup>12</sup>)  
㊳ 所作自體故名爲業 (549b<sup>4</sup>)

89㊴ etan manaindriya saṃvarau kiṃ svabhāvau? (612-11, 208-25~26)

- ㊵ yid dang dbang po'i sdom pa 'di gnyis kyis rang bzhin ci zhe na (205b<sup>5</sup>)  
㊶ 此意根律儀以何爲自性 (73b<sup>28</sup>)  
㊷ 此意護根護自性云何 (230c<sup>21-22</sup>)  
㊸ 此意根律儀以何爲自性 (599c<sup>16-17</sup>)

90㊹ naitav avijñaptiśīlasvabhāvau (612-11, 209-2)

- ㊺ 'di gnyis rnam par rig byed ma yin pa'i rang bzhin ma yin (205b<sup>5</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (43)

- ㊤ 此二自性非無表色 (73b<sup>28</sup>)
- ㊦ 此二非無教戒性 (230c<sup>22</sup>)
- ㊧ \* lus dang ngag gi sdom pa dag rnam par rig byed ma yin pa'i rang bzhin (153a<sup>8</sup>)
- ㊨ \* lus dang ngag gi sdom pa dag rnam par rig byed ma yin pa'i rang bzhin (33b<sup>3</sup>)
- ㊩ 此二自性非無表色 (549c<sup>20-21</sup>)

91㊰ pratyekaṃ dvisvabhāvajñāpanārtham (612-12, 209-2)

- ㊱ so sor gnyis kyi rang bzhin yin par bstan pa'i phyir (205b<sup>6</sup>)
- ㊲ 爲顯如是二種律儀 (73c<sup>1</sup>)
- ㊳ 爲顯二護各具二性故 (230c<sup>22-23</sup>)
- ㊴ dvisvabhāvajñāpanārtham (613-1, 370-34)
- ㊵-㊶ gnyis kyi ngo bo nyid yin par bstan pa'i phyir (27b<sup>6</sup>)

92㊷ manaḥsaṃvaro'pi smṛtisamprajñānasvabhāva iti (612-12~13, 209-3)

- ㊸ yid kyi sdom pa yang dran pa dang shes bzhin gyi rang bzhin yin (205b<sup>6-7</sup>)
- ㊹ 正知正念爲體 (73c<sup>2-3</sup>)
- ㊺ 意護以善慧正念爲性 (230c<sup>4-5</sup>)
- ㊻ manaḥsaṃvaro'pi smṛtisamprajñānasvabhāva (612-16, 370-33)
- ㊼-㊽ yid kyi sdom pa yang dran pa dang shes bzhin gyi ngo bo nyid yin (27b<sup>5</sup>)
- ㊾ \* yid dang dbang po'i sdom pa gnyis dran pa dang shes bzhin gyi rang bzhin (153a<sup>2</sup>)
- ㊿ \* yid dang dbang po'i sdom pa gnyis dran pa dang shes bzhin gyi rang bzhin (33b<sup>5</sup>)

93㊠ kiṃ svabhāvāni śaraṇagamāni? (630-4, 217-6)

- ㊡ skyab su 'gro ba rnam kyi rang bzhin ci zhe na (212b<sup>8</sup>)
- ㊢ 此能歸依何法爲體 (76c<sup>17</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村)

㊣ 歸依體性云何 (233c<sup>10-11</sup>)

94㊤ vāgvijñaptisvabhāvāni (630-4, 217-7)

- ㊦ ngag gi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid dag yin (212b<sup>8</sup>)
- ㊧ 語表爲體 (76c<sup>18</sup>)
- ㊨ 有教言語爲性 (233c<sup>11</sup>)
- ㊩ vāgvijñaptisvabhāvānīti (630-8, 379-2)
- ㊪-㊫ ngag gi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid dag yin no zhes bya ba (36b<sup>6-7</sup>)
- ㊬ ngag gi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid dag yin no zhes bya ba (162a<sup>3</sup>)
- ㊭ ngag gi rnam par rig byed kyi ngo bo nyid dag yin no zhes bya ba (42a<sup>4</sup>)
- ㊮ 語表爲體 (559b<sup>16</sup>)

95㊯ kāmāvacaraṃ kuśalam arūpasvabhāvaṃ (649-10, 225-23)

- ㊰ 'dod pa na spyod pa'i dge la gzugs can ma yin pa'i rang bzhin (220b<sup>8</sup>-221a<sup>1</sup>)
- ㊱ 欲界一切非色善法 (80b<sup>13</sup>)
- ㊲ 欲界中一切非色性善 (236c<sup>5</sup>)

96㊺ kliṣṭaṃ tv arūpasvabhāvaṃ (649-1, 229-3)

- ㊻ myon mongs pa can gzugs can ma yin pa'i rang bzhin (221a<sup>2</sup>)
- ㊼ 非色染法 (80b<sup>13</sup>)
- ㊽ 非色性汚汚 (236c<sup>7</sup>)

97㊻ kathaṃ punar avedanāsvabhāvaṃ karmaṃ sukhāivedanādiyam ity ucyate? (656-1, 229-3)

- ㊼ ji ltar ma tshor ba'i rang bzhin ma yin pa'i las bde ba myong bar 'gyur ba zhes bya zhe na (223b<sup>6-7</sup>)
- ㊽ 此業起樂受體性既殊如何說爲順樂受等 (81b<sup>15-16</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (45)

- ㊦ 此業不以受爲性云何說有樂受等 (237b<sup>7-8</sup>)
- ㊧ katham punar avedanāsvabhāvaṃ iti (656-1, 391-30)
- ㊨-㊩ ji ltar ma tshor ba'i rang bzhin ma yin pa'i las zhes bya ba (49b<sup>7-8</sup>)
- ㊪ ji ltar ma tshor ba'i rang bzhin ma yin pa zhes bya ba (175a<sup>1-2</sup>)
- ㊫ ji ltar ma tshor ba'i rang bzhin ma yin pa zhes bya ba (56a<sup>1-2</sup>)

- 98A svabhāvasamprayogābhyām ālambanavipākataḥ/samukhibhāvataś ceti pañcadhā vedaniyatā// (656-7~8, 229-8~9)
- ㊬ ngo bo nyid dang mtshung par ldan pa dang//dmigs pa dang ni rnam smin dang//mngon sum du ni gyur ba las//myong 'gyur rnam pa lnga yin no// (224a<sup>2</sup>)
  - ㊭ 順受總有五謂自性相應及所緣異熟現前差別故 (81b<sup>22-23</sup>)
  - ㊮ 自性及相應境界與果報或由令現前受義有五種 (237c<sup>14-15</sup>)
  - ㊯ 順受總有五謂自性相應及所緣異熟現前差別故 (568b<sup>9-10</sup>)

- 99A svabhāvavedaniyatā vedanānām; svabhāvenaiva vedaniyatvāt (659-9, 229-10)
- ㊰ ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur ba ni tshor ba rnams (224a<sup>2</sup>)
  - ㊱ 自性順受謂一切受 (81b<sup>22</sup>)
  - ㊲ 自性受謂苦樂等 (237c<sup>14</sup>)
  - ㊳ svabhāvavedaniyateti/svabhāvavedānubhavalakṣaṇena vedaniyasvabhāvaḥ (659-9, 392-5~6)
  - ㊴-㊵ ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur zhes bya ba ni nyams su myong ba'i mtshan nyid kyis ngo bo nyid kyis myong bar gyur ba ni ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur (50a<sup>4-5</sup>)
  - ㊶ ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur ba ni tshor ba rnams so zhes bya ba ni/tshor ba bde ba myong na zhes ji skad du gsungs pas (stc.) lta bu ste/ngo bo nyid kyis te/myong ba'i mtshan nyid kyis myong bar 'gyur ba ni ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur ba (175a<sup>6-7</sup>)
  - ㊷ ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur ba ni tshor ba rnams so zhes bya ba ni/bde ba bde ba myong na zhes ji skad du gsungs pa lta bu ste/ngo bo

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (46)

nyid kyis te/myong ba'i mtshan nyid kyis myong bar 'gyur ba ni ngo bo nyid kyis myong bar 'gyur ba (56a<sup>7-8</sup>)

- 100A śeṣasya tu bhāvanāmārgasyāparipūrṇasvabhāvaphalatvāc ca (664-2, 233-1~2)
- ㊸ lhag ma bsgom pa'i lam ni rang bzhin dang 'bras bu yongs su ma rdzogs pa can nyid kyis phyir (227a<sup>8</sup>)
  - ㊹ 未圓滿自性果觀 (239a<sup>1</sup>)
  - ㊺ \* aparipūrṇasvabhāvaphalatvāt (664-6)
  - ㊻-㊼ \* rang bzhin dang 'bras bu yongs su ma rdzogs pa (56b<sup>8</sup>)
  - ㊽ rang bzhin dang 'bras bu yongs su ma rdzogs pa can nyid kyis phyir zhes bya ba (179a<sup>1-2</sup>)
  - ㊾ rang bzhin dang 'bras bu yongs su ma rdzogs pa can nyid kyis phyir zhes bya ba (60a<sup>8</sup>)

- 101A santānata etad vyavasthāpitam, na svabhāvataḥ (669-11~12, 235-12)
- ㊿ di ni rgyu kyis sgo nas rnam par bzhag gi ngo bo nyid kyis sgo nas ni ma yin (229b<sup>1-2</sup>)
  - ㊻ 此黑白名依相續立非據自性 (83c<sup>3-4</sup>)
  - ㊼ 須約相續不得約性 (239c<sup>6</sup>)
  - ㊽ 此黑白名依相續立非據自性 (573b<sup>11-12</sup>)

- 102A na hi tasya svabhāvaprahāṇam (671-10, 236-11)
- ㊾ de'i rang gi ngo bo ni spong ba ma yin (230a<sup>6</sup>)
  - ㊿ 諸善法非自性斷 (83c<sup>27</sup>)
  - ㊻ 此善非自性滅 (239c<sup>27</sup>)
  - ㊼ na hi tasya svabhāvaprahāṇam iti (671-6, 398-24)
  - ㊽-㊾ de'i rang gi ngo bo ni spong ba ma yin te/zhes bya ba (56a<sup>4</sup>)
  - ㊿ \* rang gi ngo bo ni spong ba ni mi (sic.) yin (181b<sup>7</sup>)
  - ㊻ de'i rang gi ngo bo ni spong ba ma yin te zhes bya ba (63b<sup>5</sup>)
  - ㊼ 諸善法非自性斷 (573c<sup>29</sup>)

103㉔ kāyavākkarmāṇi virahitas**svabhāvam** (673-3, 237-5)

- ㊦ lus dang ngag gi las dag ni spong ba'i **rang bzhin** yin (230b<sup>6</sup>)
- ㊧ 身語業是遠離體 (84a<sup>18-17</sup>)
- ㊨ 此身口二業離惡爲性 (240a<sup>15</sup>)
- ㊩ spong ba'i **rang bzhin** zhes bya ba (182b<sup>3</sup>)
- ㊰ spong ba'i **rang bzhin** zhes bya ba (64a<sup>8</sup>)

104㉔ akarmas**svabhāvam** apy asti trividho manoduścaritam (674-5, 237-17)

- ㊦ las kyi **rang bzhin** ma yin pa yang yid kyi nyes par spyod pa rnam pa gsum yod (231a<sup>4-5</sup>)
- ㊨ 有惡行非業性謂三意惡行別類 (240a<sup>28</sup>)

105㉔ akuśalāḥ ṣaṭ karmapathā avaśyam avijñaptis**svabhāvāḥ** (676-3, 238-15)

- ㊦ mi dge ba'i las kyi lam drug po...gdon mi za bar rnam par rig byed ma yin pa'i **rang bzhin** dag yin (232a<sup>2-3</sup>)
- ㊧ 六定有無表 (84c<sup>5</sup>)
- ㊨ 唯六不善業道定以無教爲性 (240b<sup>21-22</sup>)

106㉔ kāmamithyācāro nityaṃ vijñaptiyavijñaptis**svabhāvāḥ** (676-6, 238-15)

- ㊦ 'dod pas log par g-yem pa...rtag tu rnam par rig byed dang rnam par rig byed ma yin pa'i **rang bzhin** yin (232a<sup>3-4</sup>)
- ㊧ 唯欲邪行必具二種 (84c<sup>10</sup>)
- ㊨ 邪姪恒以有教無教爲性 (240b<sup>24</sup>)

107㉔ karmapathasāmantakās tu vijñaptis**svabhāvā** avaśyam (677-3, 239-5)

- ㊦ las kyi lam nyer sdogs rnam ni gdon mi za bar rnam par rig byed kyi **rang bzhin** ni yin (232a<sup>8</sup>-232b<sup>1</sup>)
- ㊧ 業道加行必定有表 (84c<sup>18</sup>)
- ㊨ 業道前方便必有教爲性 (240c<sup>4-5</sup>)

108㉔ tāni avaśyam avijñaptis**svabhāvāni** (677-8~9, 239-11)

- ㊦ de dag ni gdon mi za bar rnam par rig byed kyi **rang bzhin** ni ma yin (232b<sup>2-3</sup>)
- ㊧ 定有無表 (84c<sup>20</sup>)
- ㊨ 此後分定必無教爲性 (240c<sup>9</sup>)

109㉔ kiṃ **svabhāvāḥ** kuśalamūlasamucchedaḥ? (701-1, 250-8)

- ㊦ dge' ba'i rtsa ba kun du 'chad pa'i **rang bzhin** ji lta bu zhig yin zhe na (242b<sup>8</sup>)
- ㊧ 此善根斷其體是何 (89b<sup>11</sup>)
- ㊨ 此斷善根體相云何 (244a<sup>29</sup>)

110㉔ adhipatiphalam-**svabhāvād** anye sarvasaṃskārāḥ pūrvotpannavarjyāḥ (715-4, 255-21)

- ㊦ bdag po'i 'bras bu ni sngar byung ba rnam ma gtogs pa **rang gi ngo bo** las gzhan pa'i 'du byed thams cad (278a<sup>1</sup>)
- ㊧ 增上果者謂離自性餘有爲法 (91b<sup>1</sup>)
- ㊨ 增上果者離自性所餘有爲法 (246a<sup>9</sup>)
- ㊩ adhipatiphalam/**svabhāvād** anye sarve saṃskrītā pūrvotpannavarjyāḥ (715-11, 421-21~22)
- ㊰-㊦ bdag po'i 'bras bu ni sngar byung ba ma gtogs pa **rang gi ngo bo** las gzhan pa'i 'dus byed thams cad (78b<sup>8</sup>-79a<sup>1</sup>)
- ㊩ bdag po'i 'bras bu sngar byung ba ma gtogs pa **rang gi ngo bo** las gzhan pa'i 'du byed thams cad (205b<sup>4-5</sup>)
- ㊰ bdag po'i 'bras bu sngar byung ba ma gtogs pa **rang gi ngo bo** las gzhan pa'i 'du byed thams cad (85b<sup>6</sup>)
- ㊱ 增上果者謂離自性餘有爲法 (584b<sup>12-13</sup>)

111㉔ teṣāṃ kaḥ **svabhāvāḥ**? (722-7, 259-5)

- ㊦ de dag gi **rang bzhin** ci zhe na (250b<sup>6</sup>)



- ㊦ 其體是何 (92b<sup>24</sup>)
- ㊧ 體性云何 (247a<sup>15</sup>)
- ㊨ 其體是何 (586a<sup>22</sup>)

112㊦ kiṃ svabhāvāṇi? (725-7, 260-13)

- ㊦ rang bzhin ci zhe na (252a<sup>2</sup>)
- ㊦ 其體是何 (93a<sup>1</sup>)
- ㊧ 體性云何 (247b<sup>21-22</sup>)
- ㊨ 其體是何 (586c<sup>27</sup>)

113㊦ saṅghabhedas tv asamagrī svabhāvo viprayuktaḥ (725-11, 260-19)

- ㊦ dge 'dun dbyen ni mi 'phrod pa'i//rang bzhin ldan pa ma yin chos// (252a<sup>4</sup>)
- ㊦ 增破體是不和合性 (93b<sup>3</sup>)
- ㊧ 增破非和合性非相應法 (247b<sup>26</sup>)
- ㊨ “saṅghabhedas tv asamagrī” iti/mukhyavṛtṭyā vaibhāṣikāṇām dravyasattā/tenāha- “svabhāvo 'pi viprayuktaḥ/akliṣṭāvyaṅkrto dharmah” iti (725-18~726-1, 427-10~11)
- ㊩-㊦ 'de 'dun dbyen ni mi 'phrod pa'i zhes bya ba ni bye brag tu smra ba rnams kyis ltar na dngos kyi tshul du rdzas su yod pa yin no//de'i phyir rang bzhin ldan pa ma yin chos// (84b<sup>8</sup>)
- ㊨ 增破體是不和合性 (587b<sup>10</sup>)

114㊦ tac caitad dānamayaṃ puṇyakriyāvastu mahābhogyapham/svabhāve caiṣa mayaḍ veditavyaḥ/tad yathā-tṛṇamayam gṛham, parṇamayam bhājanam iti (741-10~11, 268-19~20)

- ㊦ sbyin pa las byung ba'i bsod nams bya ba'i gzhi gang yin pa de ni 'bras bu longs spyod chen po can yin te/byung ba zhes bya ba 'di ni rang bzhin yin par rig par bya ste/dper na rtswa las byung ba'i khyim dang/lo ma las byung ba'i snod ces bya ba bzhin (259a<sup>1-2</sup>)
- ㊦ 應知如是施類福業事能招當現大財富爲果言施類福者顯施爲體義如葉類器草類

舍等 (95c<sup>28</sup>-96a<sup>1</sup>)

㊧ 是施性福業類能得大富樂果報 (250a<sup>26-27</sup>)

㊨ svabhāve caiṣa mayaḍ iti/na vikārādiṣu/tad yathā tṛṇamayam gṛham iti/na tṛṇānām vikāro 'sti/tais tu nivikarair eva tatkr̥tam ity atas tṛṇamayam tṛṇasvabhāvaṃ tad iti gamyate (741-5~7, 434-4~6)

㊩-㊦ byung ba zhes bya ba 'di ni rang bzhin yin zhes bya ba ni gyur pa la sogs pa ma yin po 'o//dper na rtsa las byung ba'i khyim zhes bya ba ni rtsa las gyur pa med kyi/de dag ma gyur pa kho nas de byas pa yin pas de'i phyir rtsa las byung ba de ni rtsa'i ngo bo nyid yin no zhes bya bar shes (91b<sup>2-3</sup>)

㊨ \* 言施類福者顯施爲體義如泥類器木類柱等 (592b<sup>2-3</sup>)

115㊦ kiṃ idaṃ samāhitaṃ nāma? samādhisvabhāvaṃ sahabhū yat (751-1, 273-24)

㊦ ting nge 'dzin pa'i rang bzhin dang/de dang lhan cig 'byung ba gang yin pa (263a<sup>8</sup>)

㊦ 言等引善其體是何謂三摩地自性俱有 (97c<sup>10</sup>)

㊧ 寂靜者何法業與定地自性法俱起 (251c<sup>24</sup>)

㊨ samādhisvabhāvaṃ sahabhū yad iti/samādisvabhāvaṃ tena ca saha bhavati yad ity arthaḥ (541-3, 437-21~22)

㊩-㊦ ting nge 'dzin kyi rang bzhin dang/de dang lhan cig 'byung ba gang yin pa 'o zhes bya ba ni ting nge 'dzin gyi ngo bo nyid dang/de dang lham cig 'byung ba gang yin pa 'o zhes bya ba'i tha tshig (95a<sup>6-7</sup>)

㊨ ting nge 'dzin gyi rang bzhin dang de dang lhan cig 'byung ba gang yin pa'o zhes bya ba (225b<sup>3-4</sup>)

㊨ 等引善者謂於定中等持自性及彼俱有 (594b<sup>23-24</sup>)

116㊦ ka eṣāṃ svabhāvaḥ (753-11, 275-1)

㊦ 'di dag gi rang bzhin ci zhe na (246a<sup>6</sup>)

㊦ 自體云何 (98a<sup>19</sup>)

㊧ 體相云何 (252b<sup>4</sup>)

㊦ 自體云何 (595c<sup>2</sup>)

117A tāni pañcaskandhasvabhāvāni (754-1, 275-6)

㊦ de dag ni phung po lnga'i rang bzhin yin (264a<sup>8</sup>)

㊧ 五蘊爲體 (98a<sup>26-27</sup>)

㊨ 五陰爲性 (252b<sup>9</sup>)

㊩ pañcaskandhasvabhāvānīti (754-4, 439-19)

㊪-㊫ phung po lnga'i rang bzhin no zhes bya ba (97a<sup>6</sup>)

㊬ 五蘊爲體 (595c<sup>7</sup>)

Chap. V

118A pañca dr̥ṣṭisvabhāvāḥ-satkāyadr̥ṣṭiḥ, antagrāhadr̥ṣṭiḥ, mithyādr̥ṣṭiḥ, dr̥ṣṭiparamārśaḥ, śīlavrataparamārśaś ca (765-10~11, 279-17~18)

㊦ lta ba'i rang bzhin lnga ni 'jig tshogs la lta ba dang/mthar 'dzin par lta ba dang/log par lta ba dang/lta ba mchog tu 'dzin pa dang/tshul khrim dang brtul zhugs mchog tu 'dzin pa (266b<sup>6</sup>)

㊧ 五是見性一有身見二辺執見三邪見四見取五戒禁取 (99b<sup>3-4</sup>)

㊨ 五以見爲自性謂身見辺見邪見見取戒執取 (253b<sup>10-11</sup>)

㊩ 五是見性一有身見二辺執見三邪見四見取五戒禁取 (601a<sup>11-12</sup>)

119A yathā dr̥ṣṭisvabhāvāḥ-rāgaḥ, pratighaḥ, mānaḥ avidyā, viciktsā (765-12, 279-19)

㊦ lta ba'i rang bzhin ma yin pa lnga ni 'dod chags dang/khong khrob dang/nga rgyal dang/ma rig pa dang/the tshom (266b<sup>7</sup>)

㊧ 五非見性一貪二瞋三慢四無明五疑 (99b<sup>5-6</sup>)

㊨ 五以非見性爲謂欲瞋慢無明疑 (253b<sup>11-12</sup>)

㊩ 五非見性一貪二瞋三慢四無明五疑 (601a<sup>13-14</sup>)

120A dr̥ṣṭayaḥ pañca nāmato nirdiṣṭāḥ, na tu svabhāvataḥ, tat kas tāsām svabhāvāḥ? (772-3, 281-17)

㊦ lta ba lnga ming gi sgo nas bstan gyi/rang gi ngo bo'i sgo nas ni ma

bstan pas 'di dag gi rang gi ngo bo ci zhe na (268a<sup>7</sup>)

㊧ 名先已列自體如何 (99c<sup>27</sup>)

㊨ 此五見由名已說不由自性彼自性如何 (253c<sup>23-24</sup>)

㊩ 名先已列自體如何 (605c<sup>11-12</sup>)

121A sarvaiva hi viparītasvabhāvapravṛttā dr̥ṣṭir mithyādr̥ṣṭiḥ (772-15, 282-5)

㊦ log par zhugs pa'i lta thams cad log par lta ba yin (268b<sup>6</sup>)

㊧ 一切妄見皆顛倒轉 (100a<sup>15</sup>)

㊨ 一切見皆翻違理起悉是邪見 (254a<sup>8-9</sup>)

㊩ sarvaiva hi viparītadr̥ṣṭisvabhāvapravṛttā dr̥ṣṭir mithyādr̥ṣṭiḥ (772-10~11, 450-12)

㊪-㊫ log par zhugs pa'i lta thams cad log par lta ba yin (107b<sup>1-2</sup>)

122A etad vipariyāsacatuṣkaṃ kiṃ svabhāvam? (777-3, 283-7)

㊦ phyin ci log bzhi chan (sic.) 'di'i rang bzhin ci zhe na (270a<sup>1-2</sup>)

㊧ 如是四倒其體云何 (109b<sup>24-25</sup>)

㊨ 此四種顛到體相云何 (254b<sup>15-16</sup>)

㊩ 如是四倒其體云何 (607b<sup>22-23</sup>)

123A tenaiva svabhāvena sato dharmasya katham idaṃ siddhyaty ajāta iti yo vinaṣṭa iti veti (810-11, 298-15)

㊦ chos de'i rang gi ngo bo kho nar yod na ji lta na ma skyes pa zhes bya ba 'am/zhig pa zhes bya ba 'di 'grub par 'grur (282a<sup>3-4</sup>)

㊧ 謂有爲法體實恒有如何可得成未已生已滅 (105a<sup>23-24</sup>)

㊨ 若法由自體實有此言云何成謂此法未生此法已滅 (258b<sup>28-c<sup>1</sup></sup>)

㊩ \* tenaivātmaneti/yaḥ pratyutpannasya svabhāvas tenety arthaḥ (810-3, 472-13)

㊪-㊫ \* de'i bdag nyid kho nar zhes bya ba ni da lta byung ba'i ngo bo nyid gang yin pa de kho na bzhin du zhes bya ba'i tha tshig (131b<sup>3-4</sup>)

124㉔ **svabhāvaḥ** sarvadā cāsti bhāvo nityaśca neṣyate/na ca **svabhāvād** bhāvo 'nyo vyaktam īśvaraceṣṭitam// (811-1~2, 298-21~22)

㊦ **rang bzhin** yang ni rtag tu yod//dngos po yang ni rtag mi 'dod//**rang bzhin** las kyang dngos mi gzhan//dbang phyug tha snyad yin par gsal// (282a<sup>7</sup>)

㊧ 許法體恒有而說性非常性體復無別此真自在作 (105b<sup>2-3</sup>)

㊨ 法體性恒有而不許法常有法不異性是真自在事 (258c<sup>8-9</sup>)

㊩ **svabhāvaḥ** sarvadā cāstīti/yad rūpādeḥ svalakṣaṇaṃ, tat sarvasmin kāle vidyata itīṣyate/yadi rūpādeḥ svabhāvaḥ sarvadāsti, tena rūpādibhāvo nityataḥ prāpnoti? ata āha-bhāvo nityaś ca neṣyate/evaṃ sati tasmāt svabhāvād bhāvo nūnam anya iti? ata āha-na ca **svabhāvād** bhāvo 'nya iti/tad idam icchāmātratvāt vyaktam īśvaraceṣṭam/nātra yuktir asti/ (811-3~8, 472-25~33)

㊪-㊦ **rang bzhin** yang ni rtag tu yod ces bya ba ni gzugs la sogs pa'i rang gi mtshan nyid de dus thams cad na yod do zhes bya bor 'dod do//gal te gzugs la sogs pa'i ngo bo nyid dus thams cad du yod na des na gzugs la sogs pa'i dngos po rtag par thar bar 'gyur ro zhe na/de'i phyir smras pa/dngos po yang ni rtag mi 'dod/de lta yin ma gdon mi za bar rang bzhin las dngos po gzhan yin no zhe na/de'i phyir **rang bzhin** las kyang dngos gzhan zhes smras so//de lta bas na 'di ni 'dod rgyal tsam du zad pa'i phyir/dbang phyug tha snyad yin par gsal te rig pa ni med (132a<sup>2-4</sup>)

㊫ gzugs la sogs pa'i rang gi mtshan nyid gang yin pa de ni dus thams cad na yod par 'dod do//de lta na 'o na gzugs la sogs pa'i dngos po thams cad kyi tshe yod pa'i phyir rtag par thar bar 'gyur ro zhe na/de'i phyir smras pa/dngos po yang ni rtag mi 'dod/de lta na yang rang bzhin las dngos po gzhan du thal lo zhe na/de'i phyir **rang bzhin** las kyang dngos mi gzhan zhes bya ba smras so//dbang phyug tha snyad yin par gsal zhes bya ba ni/'jig rten na rigs pa la bltos par 'dod rgyal tsam du zad pa'i phyir (277 a<sup>2-5</sup>)

㊬ **rang bzhin** yang ni rtag tu yod/ces bya ba ste/gzugs la sogs (sic.) rang

gi mtshan nyid gang yin pa de ni dus thams cad na yod par 'dod do//de lta na 'o na gzugs la sogs pa'i dngos po thams cad kyi tshe yod pa'i phyir rtag par thal bar 'gyur ro zhe na/de'i phyir smras ba/dngos po yang ni rtag mi 'dod/de lta na yang rang bzhin las dngos po gzhan du thal lo zhe na/de'i phyir **rang bzhin** las kyang dngos min gzhan zhes bya ba smras so//dbang phyug tha snyad yin par gsal/zhes bya ba ni 'jig rten na rigs pa la mi ltos par 'dod rgyal tsam du zad pa'i phyir (145a<sup>6-8</sup>)

㊭ 許法體恒有而說性非常性體復無別此真自在作 (633c<sup>17-18</sup>)

125㉔ anyathā **svena bhāvena** vidyamānam atītaṃ na sidhyet (812-6, 299-13)

㊦ de lta ma yin te/**rang gi ngo bo** kho nar yod na 'das/par 'grub par mi 'gyur (282b<sup>7-8</sup>)

㊧ 若不爾者彼過去業現實有性過去豈成 (105b<sup>18-19</sup>)

㊨ 若不爾此業由自體性有則不成過去 (258c<sup>26</sup>)

㊩ anyathā hi **svena bhāvena** vidyamānam atītaṃ na sidhyet iti/svalakṣaṇena vidyamānam tat karma pratyutpannalakṣaṇena vidyamānam atītaṃ iti na sidhyet (812-19~20, 473-28~29)

㊪-㊦ de lta ma yin te **rang gi ngo bo** kho nar yod na 'das pa 'grub par mi 'gyur ro zhes bya ba smos te/las de rang gi mtshan nyid du yod cing da ltar byung ba'i mtshan nyid du yod na/'das pa zhes bya ba 'grub par mi 'gyur (133a<sup>3</sup>)

㊫ **rang gi ngo bo** kho nar yod na zhes bya ba la sogs pa la/las de rang gi mtshan nyid kyis yod na ni da ltar byung ba ji lta ba bzhin yin pas 'das pa 'grub par mi 'gyur (279a<sup>4-5</sup>)

㊬ **rang gi ngo bo** kho nar yod na zhes bya ba la sogs pa la/las de rang gi mtshan nyid kyis yod na ni da ltar 'byung ba ji lta ba bzhin yin pas 'das pa 'grub par mi 'gyur (146b<sup>3-4</sup>)

126㉔ **svabhāvaviśeṣaṇaṃ** cet siddham abhūtvābhavanam (817-10, 301-5)

㊦ gal te **rang gi ngo bo**'i khyad par zhig yin no zhe na ni ma byung ba las 'byung ba grub pa yin (284b<sup>4-5</sup>)

- ㊦ 若謂但令體有差別本無今有其理自成 (106a<sup>21-22</sup>)  
㊧ 若汝執自性差別是因功能未有有此義亦自然成 (259b<sup>28-29</sup>)  
㊨ **svabhāvaviśeṣaṇam** cet/yadi manyase-hetunā svabhāvo 'sya phalasya viśeṣyate, tena phalaviśeṣaṇam bhavati? atra brūmaḥ-siddham abhūtvābhavanam iti/siddham abhūtvā viśeṣaṇasya bhavanam=prādurbhāva iti (817-16~818-2, 476-30~477-1)  
㊩-㊪ gal te **rang gi ngo bo**'i khyad par zhig yin no zhe na zhes bya la ni gal te rgyus 'bras bu 'di'i rang gi ngo bo khyad par du byed de des na 'bras bu'i khyad par yin no snyam du sems na 'dir ma byung ba las 'byung ba 'grub pa yin no zhes smras te khyad par ma byung ba las 'byung zhing skye 'o zhes bya bar grub pa yin (136a<sup>7-8</sup>)  
㊫ gal te **rang gi ngo bo**'i khyad par zhig ces bya ba la/da ltar byed pa'i rang bzhin sngar da ltar byung la ma yin pa da ltar byung bar byed pa yin pa de lta na las kyis nus pa grub pas/ma byung ba las byung ba zhes bya ba grub (286b<sup>4</sup>)  
㊬ gal te **rang gi ngo bo**'i khyad par zhig ces bya ba la/da ltar ba byed pas de la las kyis nus pa yod pa yin no zhe na/khyad par de sngar med pas ma byung ba las byung la grub pa yin (150a<sup>3</sup>)

127㊭ ete ca dve paramārśas**svabhāve** (838-5, 309-16)

- ㊮ 'di gnyis ni mchog tu 'dzin pa'i **rang bzhin** yin (290a<sup>6</sup>)  
㊯ 二等能取 (108c<sup>13</sup>)  
㊺ 以能取爲性 (262a<sup>12</sup>)

128㊻ yā eva darśanaheyaprahāṇas**svabhāvāḥ** (863-5, 323-8)

- ㊼ mthong pas spang bar bya ba spangs pa'i **rang bzhin** gang dag yin pa (299b<sup>5</sup>)  
㊽ 見斷法 (112b<sup>22</sup>)  
㊾ 見諦所滅惑滅爲性 (265a<sup>21</sup>)

129㊿ **mauladhyānaphalaṃ pañca parijñā yā rūpārūpyāvacarakleśaprahāṇa-svabhāvāḥ** (836-11~12, 323-16)

- ㊽ bsam gtan dngos gzhi'i 'bras bu yongs su shes pa lnga ste gzugs dang gzugs med pa na spyod pa'i nyon mongs pa spangs pa'i **rang bzhin** gang dag yin pa (299b<sup>8</sup>-300a<sup>1</sup>)  
㊾ 根本唯永斷色無色攝煩惱等 (112b<sup>29</sup>-c<sup>1</sup>)  
㊿ 根本定果有五謂色無色界相應惑滅離爲性 (265a<sup>29</sup>-b<sup>1</sup>)  
㊽ \* tāś ca rūpārūpyāvacaradarśanaheyaprahāṇas**svabhāvā** yathoktāsītā-sraḥ parijñāḥ (865-2~3, 508-7~8)  
㊽-㊾ \* de dag kyang gzugs dang gzugs pa med pa na spyod pa'i mthong bas spangs bar bya ba spangs pa'i **ngo bo nyid** kyis yongs su shes pa ji skad bshad pa gsum (167b<sup>2-3</sup>)  
㊽ gzugs dang gzugs med pa na spyod pa'i nyong mongs pa spang (sic.) ba'i **rang bzhin** gang dag yin pa 'o/zhes bya ba (327b<sup>1</sup>)  
㊾ gzugs dang gzugs med pa spyod pa'i nyong mongs pa spangs pa'i **rang bzhin** gang yin pa 'o//zhes bya ba (176b<sup>4-5</sup>)

Chap. VI

130㊿ **svabhāvas** tu yathā pūrvam uktas tathaiyeti pradarśanārthas tathāśabdaḥ (872-9, 327-17)

- ㊽ de bzhin no zhes bya ba'i sgra ni **rang gi ngo bo** ni sngar ji skad bshad pa de kho na bzhin no//zhes rab tu bstan par bya ba'i phyir (2b<sup>3-4</sup>)  
㊾ 如先所辯爲顯體同彼故說亦然聲 (113c<sup>25</sup>)  
㊿ 如前所說四諦體性今亦爾爲顯此義故 (266b<sup>2-3</sup>)  
㊽ **rang gi ngo bo** sngar ji skad bshad pa de kho na bzhin no zhes bya ba (335b<sup>8</sup>)  
㊾ **rang gi ngo bo** sngar ji skad bshad pa de kho na bzhin no zhes bya ba (181b<sup>8</sup>-182a<sup>1</sup>)

131㊿ yadā vedanaikadeśo duḥkhas**svabhāvāḥ** (875-4, 378-24)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (57)

- ㊦ gang gi tshe tshor ba'i phyogs gcig sdug bsngal gyi **rang bzhin** (3b<sup>3-4</sup>)  
㊧ 一分是苦自體 (114b<sup>2</sup>)  
㊨ 一分是苦自性 (266c<sup>9</sup>)  
㊩ yadā vedaikadeśo duḥkhasvabhāva iti/vedanāskandhaikadeśo duḥk-hadaurmanasyasvabhāvaḥ (875-4~5, 515-22~23)  
㊪-㊫ gang gi tshe tshor ba'i phyogs gcig sdug bsngal gyi **rang bzhin** yin pa zhes bya ba ni tshor ba'i phung po'i phyogs gcig po sdug bsngal dang/yid mi bde ba'i ngo bo nyid (174a<sup>8</sup>)  
㊬ gal te tshor ba'i phyogs gcig sdug bsngal gyi **rang bzhin** yin pa zhes bya ba ni/tshor ba'i phung po'i phyogs gcig sdug bsngal dang yid mi bde ba'i mtshan nyid (184a<sup>3</sup>)  
㊭ 一分是苦自體 (661c<sup>12</sup>)

132㊮ duḥkhāyāḥ duḥkhasvabhāvenaiva duḥkhatā (876-3, 379-7)

- ㊯ sdug bsngal ni sdug bsngal gyi **rang gi ngo bo** kha nas sdug bsngal ba nyid (4a<sup>2</sup>)  
㊰ 諸苦受由體成苦性 (114b<sup>16</sup>)  
㊱ 苦受由性故苦 (266c<sup>19</sup>)  
㊲ duḥkhasvabhāvenaiveti/upaghātasvabhāvenety arthaḥ (876-7, 516-4)  
㊳-㊴ sdug bsngal gyi **ngo bo** kho nas zhes bya ba ni gnod pa'i ngo bo nyid kho nas zhes bya ba'i tha tshig (174b<sup>8</sup>)  
㊵ sdug bsngal kho na sdug bsngal nyid yin pa ni sdug bsngal gyi sdug bsngal nyid de/**rang gi ngo bo** kho nas sdug bsngal zhes bya ba'i tha tshig (338a<sup>1-2</sup>)  
㊶ sdug bsngal kho na sdug bsngal nyid yin pa ni sdug bsngal gyi sdug bsngal nyid de'i **rang gi ngo bo** kha nas sdug bsngal zhes bya ba'i tha tshig (184a<sup>4-5</sup>)

133㊷ katham idānīm sukhasvabhāvam vedanām duḥkhataḥ paśyanti? (878-9~879-1, 330-2)

- ㊸ da ni ji ltar bde ba'i **rang bzhin** gyi tshor ba rnam la sdug bsngal du lta

(58) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

- zhe na (4b<sup>6</sup>)  
㊹ 如何亦觀樂受爲苦 (114c<sup>14</sup>)  
㊺ 云何苦相觀喜樂自性受爲苦 (267a<sup>17-18</sup>)  
㊻ katham idānīm sukhasvabhāvām iti/katham aduḥkhasvabhāvām vedanām duḥkhataḥ paśyanti (878-20~879-1, 517-30~31)  
㊼-㊽ da ni ji ltar bde ba'i **rang bzhin** gyi zhes bya ba ni ji ltar sdug bsngal gyi rang bzhin ma yin pa'i tshor ba rnam la sdug bsngal zhes bya ba yin (177a<sup>3</sup>)

134㊾ yadi ca svabhāvata eva sarvaṃ veditavyaṃ duḥkham abhaviṣyat (881-12, 331-31)

- ㊿ gal te tshor ba thams cad **rang bzhin** gyis sdug bsngal ba zhig yin par gyur na (6a<sup>3</sup>)  
㊰ 若由自相說受皆苦 (115a<sup>27</sup>)  
㊱ 若由自性一切受皆是苦 (267c<sup>3</sup>)  
㊲ gal te thams cad **rang bzhin** gyis sdug bsngal ba zhig yin par gyur na ni zhes bya ba (342b<sup>8</sup>)  
㊳ gal te thams cad **rang bzhin** gyis sdug bsngal ba zhig yin par gyur na ni zhes bya ba (188a<sup>5</sup>)  
㊴ \* 若受自性實皆苦 (663b<sup>28</sup>)

135㊿ tasmāt santy eva svabhāvatas tisro vedanāḥ (882-3, 331-31)

- ㊰ de lta bas na tshor ba gsum ni **rang gi ngo bos** yod (6a6-7)  
㊱ 由自相實有三受 (115b<sup>4</sup>)  
㊲ 是故由體性實有三受 (267c<sup>10-11</sup>)  
㊳ tasmāt santy eva svabhāvatas tisro vedanāḥ (881-8, 519-21)  
㊴-㊵ de lta bas na tshor ba gsum ni **rang gi ngo bos** yod (179a<sup>4-5</sup>)

136㊿ suktatvaṃ ca svabhāvato manāpatvād (882-6, 331-16)

- ㊰ **rang gi ngo bos** yid du 'ong ba'i phyr ni bde ba nyid (6a<sup>8</sup>)  
㊱ 此樂受依自相門是可愛故 (115b<sup>8-9</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (59)

㊦ 有樂性由自性是所愛故 (267c<sup>15-16</sup>)

㊧ \* de'i rang gi ngo bo yid du mi 'ong ba yin (187b<sup>5</sup>)

137㊦ katham idaṃ manyate-**svabhāvataḥ** sā sukheti? (882-10, 331-19)

㊦ de rang gi ngo bos bde zhes bya ba 'di ji ltar khong du chu ce na (6b<sup>2-3</sup>)

㊧ 如何知此自相是樂 (115b<sup>13</sup>)

㊦ 云何得知此受自性故樂 (267c<sup>21</sup>)

㊧ \* 'di ci ltar rtogs par bya zhe na/rang gi ngo bo'i sgo nas de bde la zhes bya (343a<sup>7</sup>)

㊦ de rang gi ngo bos bde zhes bya ba 'di ji ltar khong du chud ce na zhes bya ba (188b<sup>2-3</sup>)

138㊦ yadi tu **svabhāvata** eva sarvaṃ veditaṃ duḥkham abhaviṣyat (883-3, 331-25)

㊦ gal te tshor ba thams cad rang gi ngo bo kho nas sdug bsngal ba yin par gyur na (6b<sup>6</sup>)

㊧ 若受自相實皆苦 (115b<sup>22</sup>)

㊦ 若由自性一切受皆苦 (267c<sup>28-29</sup>)

139㊦ rūpasya **svabhāve** buddhir bhavaty eva (890-8, 334-10)

㊦ gzugs kyi rang bzhin gyi blo 'jug pa nyid (9b<sup>4</sup>)

㊧ 彼覺恒有 (116b<sup>24</sup>)

㊦ 由智 (268c<sup>26</sup>)

㊧ \* vedanā**svabhāve** buddhir bhavatīti/dravyasatī vedanā (890-10, 524-19~20)

㊧-㊦ \* tshor ba'i ngo bo nyid kyi (sic.) blo byung bas tshor ba ni rdzas su yod pa yin (185a<sup>4</sup>)

㊧ \* tshor ba la sogs pa'i rang bzhin gyi blo 'jug pas na (347b<sup>4</sup>)

㊦ \* tshor ba'i rang bzhin gyi blo 'gyur bas tshor ba ni rdzas su yod pa yin (192b<sup>6</sup>)

(60) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

140㊦ kaḥ punar anayor alyecchatāsantuṣṭayoh **svabhāvah?** (893-10, 336-4)

㊦ 'dod chen chung ba dang/chog shes pa 'di gnyis kyi rang bzhin ci zhe na (10a<sup>6</sup>)

㊦ 知足少欲自性云何 (264b<sup>14</sup>)

141㊦ alobhas**svabhāve** hy ete (893-13, 236-6)

㊦ 'di dag ni ma chags pa'i rang bzhin dag yin (10b<sup>6-7</sup>)

㊧ 喜足少欲體是無貪 (117a<sup>17-18</sup>)

㊦ 無貪善根爲性 (269b<sup>12-13</sup>)

㊧ \* lobhākuśas**svabhāvāt** (893-4, 525-23~24)

㊧-㊦ \* chags pa ni mi dge ba'i rang bzhin yin pa'i phyir (185b<sup>4-5</sup>)

㊧ ma chags pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (349b8-350a<sup>1</sup>)

㊦ \* ma chags pa'i dge ba'i rtsa ba'i rang bzhin yin pa'i phyir (194a<sup>3</sup>)

142㊦ te'pi alobhas**svabhāvāḥ** (893-15~16, 336-9)

㊦ de dag kyang ma chags pa'i rang bzhin yin (10a<sup>7</sup>)

㊧ 四聖種體亦是無貪 (117a<sup>16</sup>)

㊦ 是聖種已無貪爲性 (269b<sup>15</sup>)

㊧ \* ma chags pa'i rang bzhin te 'di dag 'phags pa'i rigs yin pa'i phyir (350a<sup>4-5</sup>)

143㊦ teṣāṃ tuṣṭyātmakās trayāḥ//santuṣṭas**svabhāvāḥ** (893-17~18, 236-10~11)

㊦ de dag las gsum ni chag shes bdag nyid do//...chag shes pa'i rang bzhin dag yin (10a<sup>8</sup>)

㊧ 四中前三體唯喜足 (117a<sup>16</sup>)

㊦ 前三知足體...此三知足 (269b<sup>16-17</sup>)

㊧ \* sā na santuṣṭis**svabhāveti** (893-4, 525-25)

㊧-㊦ \* de ni chag shes pa'i ngo bo nyid ma yin pas (185b<sup>4</sup>)

㊧ \* rang po gsum chag shes pa la sogs pa'i rang bzhin (350a<sup>8</sup>)

- 144㉔ caturtham āryavaṃśaḥ katham ālobhasvabhāvaḥ? (893-19, 338-21)  
㊦ 'phags pa'i rigs bzhi···ji ltar na ma chags pa'i rang bzhin yin zhe na (10a<sup>8</sup>-10b<sup>1</sup>)  
㊧ 如何亦用無貪爲體 (117b<sup>18</sup>)  
㊨ 云何此第四以無貪爲性 (269b<sup>18</sup>)  
㊩ \* katham caturtha'py ayam āryavaṃśo bhavaty ālobhasvabhāvaḥ? (893-5~6, 525-26)  
㊪-㊫ \* ji ltar na 'phags pa 'di rigs bzhi pa 'di yang ma chags pa'i rang bzhin yin zhe na (185b<sup>5-6</sup>)
- 145㉔ kiṃ svabhāveyam aśubhā? kiṃ bhūmikā? kim ālamlanā? ka cotpadyate? (897-6, 338-21)  
㊬ mi sdug pa 'di'i rang bzhin ci zhid yin/sa ni du zhid yin/dmigs pa ni ci zhid yin/gang du ni skyed par byed ce na (12a<sup>1</sup>)  
㊭ 此不淨觀何性幾地緣何境何處生 (117c<sup>20-21</sup>)  
㊮ 此不淨觀何法爲性幾地何法爲境何處得生 (270a<sup>23-24</sup>)  
㊯ 此不淨觀何性幾地緣何境何生 (672b<sup>4</sup>)
- 146㉔ alobhasvabhāva (897-9, 338-24)  
㊰ rang bzhin ni ma chags pa (12a<sup>2</sup>)  
㊱ 無貪爲性 (117c<sup>25-26</sup>)  
㊲ 無貪爲性 (270a<sup>25-26</sup>)  
㊳ rang bzhin ni ma chags pa 'o zhes bya ba (352a<sup>7</sup>)  
㊴ 以無貪爲性 (672b<sup>9-10</sup>)
- 147㉔ saiva prajñāsvabhāva (898-7, 339-8)  
㊵ de ni shes rab kyi rang bzhin yin (12a<sup>7</sup>)  
㊶ 以慧爲性 (118a<sup>12</sup>)  
㊷ 以智慧爲性 (270b<sup>7-8</sup>)  
㊸ \* kāyasmṛtyupasthānādini prajñāsvabhāvāni (898-4, 527-17)

- ㊹-㊺ \* shes rab kyi rang bzhin yin pa (188a<sup>2</sup>)  
㊻ \* shes rab kyi rang bzhin yin pas dran pa zhes bshad (353a<sup>7</sup>)  
㊼ \* dran pa shes rab kyi rang bzhin yin bzhin du (196b<sup>3</sup>)
- 148㉔ kāyaṃ svasāmānyalakṣaṇābhyāṃ parīkṣate, vedānāṃ cittāṃ dharmaṃś ca/svabhāva evaiśāṃ svalakṣaṇam/sāmānyalakṣaṇam tu anityatā saṃskṛtānām, duḥkhatā sāsraṇānām śūnyatā 'nātmate sarvad-harmānām (902-8~10, 341-11~13)  
㊽ lus dang tshor ba dang/sems dang chos rnam la rang dang spyi'i mtshan nyid dag tu yongs su brtags pa ste/de dag gi rang gi mtshan nyid ni rang gi ngo bo 'o//spyi'i mtshan nyid ni 'dus byas rnam ni mi rtag pa nyid dang/zag pa dang bcas pa rnam sdug bsngal ba nyid dang/chos thams cad stong pa dang bdag med pa nyid dag (14a<sup>1-2</sup>)  
㊾ 以自共相觀身受心法身受心法各別自性名爲自相一切有爲皆非常性一切有漏皆是苦性及一切法空非我性名爲共相 (118c<sup>18-20</sup>)  
㊿ 先由別通相簡擇身次簡擇心受法別相者是各各自性通相者譬如一切有爲以無常爲相一切有流以苦爲相一切法以無我空爲相 (271a<sup>7-10</sup>)  
㊽ svabhāva evaiśāṃ svalakṣaṇam iti (902-11, 522-9)  
㊿-㊽ de dag gi rang gi mtshan nyid rang gi ngo bo 'o zhes bya ba (190a<sup>4</sup>)  
㊿ de dag gi rang gi mtshan nyid ni rang gi ngo bo 'o zhes bya ba (198b<sup>4</sup>)
- 149㉔ kāyasya punaḥ kaḥ svabhāvaḥ? bhūtabhāitikatvam (902-11, 341-16)  
㊿ lus kyi rang gi ngo bo ci zhe na/'byung ba dang 'byung ba las grub pa nyid (14a<sup>2</sup>)  
㊿ 身自性者大種造色 (118c<sup>21-22</sup>)  
㊿ 身有何別相四大四大所造爲相 (271a<sup>10-11</sup>)  
㊿ \* kaḥ svabhāvaḥ kāyasya bhūtabhāitikatvam (902-10~11, 529-9~10)  
㊿-㊽ \* lus rang gi ngo bo ni 'byung ba dang 'byun ba las gyur ba nyid (190a<sup>4</sup>)  
㊿ \* chos gzhan las ldog pa'i rang bzhin du rtogs pa ni rang gi mtshan nyid yongs su brtag go//rnam par phye ba de dag kho na'i thum mong pa'i

rang bzhin du rtog pa spyi'i mtshan nyid du brtag go//lus kyi sgra ni dbang po rnams la yang 'jug pas de'i phyr lus kyi **rang gi ngo bo** ci zhe na zhes bya ba smras so//yang na lus ni rdzas du ma'i bdag nyid yin pa'i phyr rdzas gcig gi rang bzhin mi srid pas 'dri ba ni rang bzhin spyi'i zhe na zhes bya ba 'o//'byung ba dang 'byung ba las gyur la rnams zhes bya ba la/'byung ba dang 'byung ba las gyur ba rnams tshogs pa ni lus zhes bya ste/tshogs pa can las tha dad pa'i tshogs pa yod pa ma yin pas de'i phyr 'byung ba dang 'byung ba las gyur ba dag kho na 'di'i rang bzhin du bshad do//der yang lus kyi 'byung ba las ni 'byung ba las gyur ba 'o//'byung ba las gyur ba las kyang 'byung ba rnams te rang bzhin tha dad pa rnams nye bar brtags te/de ltar rnam par phye lus yongs su shes pa'i nges pa de ni rang gi mtshan nyid yongs su brtags pa (356a<sup>4</sup>-356b<sup>1</sup>)

150Ⓐ smṛtyupasthānānam kaḥ **svabhāvah?** (903-1, 341-16)

- Ⓐ dran pa nye bar bzhag pa rnams kyi **rang bzhin** ci zhe na (14a<sup>3-4</sup>)
- Ⓜ 何等名爲四念住體 (118c<sup>24-25</sup>)
- Ⓝ 念處復有何性 (274a<sup>13</sup>)

151Ⓐ trividhas smṛtyupasthānam **svabhāvasamsargālambanasmṛtyupasthānam** (903-1, 341-16)

- Ⓐ dran pa nye bar gzhag pa ni rnam pa gsum ste/**rang bzhin** dang/'brel ba dang/dmigs pa'i dran pa nye bar gzhag pa (14a<sup>4</sup>)
- Ⓜ 此四念住體各有三自性相雜所緣 (118c<sup>25-26</sup>)
- Ⓝ 念有三謂自性念處相應念處境界念處 (271a<sup>13-14</sup>)

152Ⓐ **svabhāvasmṛtyupasthānam** prajñā (903-3~4, 341-16~17)

- Ⓐ **rang bzhin** gyi dran pa nye bar gzhag pa shes rab (14a<sup>4</sup>)
- Ⓜ 自性念住以慧爲體 (118c<sup>26</sup>)
- Ⓝ 自性念處者偈日性慧 (271a<sup>14-15</sup>)
- Ⓞ **svabhāvasmṛtyupasthānam** prajñeti (903-4, 529-16~17)
- Ⓞ-Ⓐ **rang bzhin** gyi dran pa nye bar gzhag pa ni shes rab bo zhes bya ba

(190a<sup>7-8</sup>)

- Ⓐ **rang bzhin** gyi dran pa nye bar gzhag pa ni shes rab ces bya ba (356b<sup>7</sup>)
- Ⓐ **rang bzhin** gyi dran pa nye bar gzhag pa yin par brjod (198b<sup>6-7</sup>)
- Ⓝ 自性念住以慧爲體 (675c<sup>7</sup>)

153Ⓐ ta eta uṣṇagatādaya smṛtyupasthānas**svabhāvavāt** prajñātmakā ucyante (912-3~4, 345-6~7)

- Ⓐ dro bar gyur pa la sogs pa de dag ni dran pa nye bar gzhag pa'i **rang bzhin** yin pa'i phyr shes rab kyi bdag nyid ces bya (16a<sup>4-5</sup>)
- Ⓜ 如是煖等四種善根念住性故皆慧爲體 (119c<sup>17-18</sup>)
- Ⓝ 是故煖等念處爲性故同是慧性 (271c<sup>25-26</sup>)

154Ⓐ ete punar vihāni-parihāṇi kiṃ **svabhāve?** (918-8, 347-18)

- Ⓐ rnam par nyams pa dang yongs su nyams pa 'di dag gi **rang bzhin** ci zhe na (17b<sup>4</sup>)
- Ⓝ 如此違捨二退何法爲性 (272c<sup>5</sup>)

155Ⓐ ubhe apy ete asamanvāgamas**svabhāve** (918-10, 347-20)

- Ⓐ nyams pa de gnyi ga yang mi ldan pa'i **rang bzhin** yin (17b4-5)
- Ⓜ 失退二捨非得爲性 (120b<sup>21</sup>)
- Ⓝ 此二退以非得爲性 (272c<sup>6</sup>)
- Ⓞ 失退二捨非得爲性 (682a<sup>10-11</sup>)

156Ⓐ ya ete darśanamārgas**svabhāvah** pañcadaśakṣaṇā uktāḥ (932-7, 353-13)

- Ⓐ mthong pa'i lam gyi **rang bzhin** gyi skad cig ma bco lngar bshad pa gang dag yin pa (21a<sup>8</sup>)
- Ⓜ 依見道十五心位建立 (122b<sup>10-11</sup>)
- Ⓝ 是前所說見道爲性十五剎那 (274b<sup>9-10</sup>)
- Ⓞ \* darśanamārgas**svabhāveṣu** pañcadaśasu kṣaṇeṣu (935-1~2, 548-29)
- Ⓞ-Ⓐ \* mthong pa'i lam **ngo bo nyid** kyi skad cig ma bco lnga la (211a<sup>8</sup>)





te/ngo bo nyid kyi (sic.) kun rdzob kyi shes pa yin no//yang na kun rdzob la shes pa ste/ci 'i phyir zhe na/don dam pa mi shes pa'i phyir (287a<sup>4-5</sup>)

㊦ **rang bzhin** las ni rang bzhin gyis so//kun rdzob shes pa ni kun rdzob shes po 'o//ji ltar zhe na/de'i phyir don dam pa mi shes pa'i phyir ro zhes bya ba smos so//don dam pa 'am don dam par mi shes pa ste/tha snyad kyi bdag nyid yin pa'i phyir ro//de'i phyir rang bzhin las kun rdzob shes pa de rnam par bzhag (448a<sup>4-6</sup>)

㊧ **rang bzhin** las ni rang bzhin gyis so//kun rdzob kyi shes pa ni kun rdzob shes pa 'o//ji ltar zhe na de'i phyir don dam pa mi shes pa'i phyir ro zhes bya ba smos so//don dam pa 'am don dam par mi shes pa ni kun rdzob shes pa ste/tha snyod kui bdag nyid yin pa'i phyir ro//de'i phyir rang bzhin las kun rdzob shes pa de rnam par bzhag (274a<sup>5-6</sup>)

㊨ \* 自性故立世俗智以世俗智爲自性 (738c<sup>11-12</sup>)

163㊩ avimuktam kliṣṭam **svabhāvasantanavimutibhyām** avimuktatvāt (1049-7~8, 397-11)

㊪ rnam par ma grol ba ni **rang bzhin** dang rgyud rnam par grol ba dag gis rnam par ma grol ba'i phyir nyon mongs pa can yin (53a<sup>6</sup>)

㊫ 不解脫心者謂染心自性相續不解脫故 (136a<sup>18-19</sup>)

㊬ 非解脫心者是染汚心由自性解脫相續解脫所解脫故 (287b<sup>10-12</sup>)

㊭ **svabhāvasantānavimuktibhyām** avimuktatvād iti/ kleṣaiḥ samprayogān na svabhāvavimuktyā vimuktaḥ (1049-14~15, 621-4~6)

㊮-㊯ **rang bzhin** dang rgyud rnam par grol ba dag gis rnam par ma grol ba'i phyir zhes bya ba ni nyon mongs pa dag dang mtshungs par ldan pa'i phyir dang rang bzhin rnam par grol bas kyang rnam par grol ba ma yin (292a<sup>6-7</sup>)

㊰ **rang bzhin** dang rgyud rnam par grol ba dag gi (sic.) rnam par ma grol ba'i phyir ro//sa zhes bya ba la (sic.)/nyon mongs pa can ni nyon mongs pa dang mtshungs par ldan pa'i rang bzhin rnam par grol bas kyang rnam par grol ba ma yin (453b<sup>7-8</sup>)

㊱ **rang bzhin** dang rgyud rnam par grol ba dag gyis rnam par ma grol ba'i phyir zhes bya ba la/nyon mongs pa can ni nyon mongs pa'i (sic.) mtshungs par ldan pa'i phyir rang bzhin rnam par grol bas kyang/rnam par grol ba ma yin (279b<sup>6-7</sup>)

164㊲ kim paracittajñānaṃ paracittasyākāram ālambanaṃ vā grhṇāti? na grhṇāti/ākārālambananirapekṣaṃ hi tad ruktam idaṃ cittam iti jānāti/ na tv amuṣmin rūpe raktam iti jānāti/anyathā hi tadrūpābamlanam api syat, tadālambanaṃ ca paracittaṃ grhṇataḥ **svabhāvagrahaṇam** prāpnuyāt/sarvaṃ ca paracittajñānaṃ dravyasvalakṣaṇacittacaittapratyutpannaparasantatikāmarūpapratīsaṃyuktāpratisaṃyuktaviśayam (1054-6~10, 398-17~21)

㊳ ci pha rol gyi sems shes pa pha rol gyi sems kyi rnam pa am dmigs pa 'dzin ce na/mi 'dzin to//de'i rnam pa dang dmigs pa la mi bltos pa yin te/sems 'di chags pa yin no//zhes bya bar shes gyi gzugs che ge mo zhig la chags so zhes bya ba mi shes so//de lta ma yin na/de gzugs la dmigs par yang 'gyur la/de la dmigs pa'i pha rol gyi sems 'dzin pa na **rang gi ngo bo** 'dzin par yang 'gyur ro//gzhan gyi sems shes pa thams cad ni sems dang sems las byung ba dang/rdzas kyi rang gi mtshan nyid dang/da ltar byung ba dang/pha rol gyi rgyu dang 'dod pa dang gzugs dang ldan pa dang ldan pa ma yin pa'i yul can (54b<sup>6</sup>-55a<sup>1</sup>)

㊴ 此所明他心智爲亦能取他心所緣及亦取他心能緣行相不俱不能取知彼心時不觀彼所緣能緣行相故謂但知彼有染等心不知所染色等亦不知能緣行相不爾他心智應亦緣色等又亦應有能自緣失諸他心智有決定相謂唯能取欲色界擊及非所擊他相續中現在同類心心所法一實自相爲所緣境 (136b<sup>26</sup>-c<sup>5</sup>)

㊵ 爲取他心行相爲取他心所緣境不取此二爲境不觀行相境界起故但知此心有欲不能知色等境是心生欲處若不爾此心則緣色等爲境界若取他心緣色等爲境他心智應成取自性一切他心智知物別相謂心乃心法現世他相續欲色相應不相應爲境界 (287c<sup>26</sup>-288a<sup>3</sup>)

㊶ anyathā hīti vistaraḥ/yad yasmin vastuni rūpādike raktam iti vijāniyāt, tad rūpālambanam api syāt/tathā ca sati na tat paracittajñānaṃ syāt:

rūpāmbanāt/vāt/tadāmbanāṃ ca paracittāṃ gr̥hṇataḥ **svabhāva-**grahaṇāṃ prāpnuyād iti/sāmbanaparacittagrahaṇe hīṣyamāṇe svāt-mā paracittajñānena gr̥hyeta (1054-13~17, 624-13~16)

㉞-㊸ de lta ma yin na zhes bya ba rgyas par 'byung ba ni gal te gzugs la sogs pa'i dngos po che ge mo zhig la chags so zhes bya bar shes par gyur na ni/de la gzugs la dmigs par yang 'gyur te/de lta yin na ni gzugs la dmigs pa'i phyir de gzhan gyi sems shes pa yin par yang mi 'gyur ro// de la dmigs pa'i pha rol gyi sems 'dzin pa na **rang gi ngo bo** 'dzin par 'gyur ro zhes bya ba ni pha rol gyi sems dmigs pa dang bcas pa 'dzin par 'dod na gzhan gyi sems shes pas rang gi bdag nyid 'dzin par 'gyur (296 b<sup>1-3</sup>)

㉟ **rang gi ngo bor** (sic.) 'dzin par 'gyur ro zhes bya ba ni/rang gi sems 'dzin par 'gyur ro zhes bya ba'i tha tshig go/rang gi ngo bo 'dzin pa ni mi rigs te/rang gi bdag nyid la byed pa 'gal ba'i phyir (458b<sup>2-3</sup>)

㊱ **rang gi ngo bo** 'dzin par 'gyur ro zhes bya ba ni/rang gi sems 'dzin par 'gyur ro zhes bya ba'i tha tshig go//rang gi ngo bo 'dzin pa ni mi rigs te/rang gi bdag nyid la byed pa 'gal ba'i phyir (283b<sup>2</sup>)

165㉠ samvṛtijñānaṃ svasmāt kalāpād anyān sarvadharmān anātmato jānīyāt-sarvadharmā anātmāna iti/**svabhāvas** tatsahabhuvaś ca dhar-mās tasya svakalāpaḥ (1066-12~1067-1, 405-2~3)

㊲ kun rdzob shes pas ni rang gi tshogs las gzhan pa'i chos thams cad ni bdag med pa 'o//zhes bdag med pa nyid du shes par 'gyur ro//de'i rang gi tshogs ni **rang gi ngo bo** dang de dang lhan cig tu 'byung ba'i chos rnams yin (59a<sup>6-7</sup>)

㊳ 以世俗智觀一切法爲非我時猶除自品自品謂自體相應俱有法 (138a<sup>24-25</sup>)

㊴ 世俗智除自類初刹那一切餘法由無我相能解謂一切法無我是自體及自體共生諸法名自類 (289a<sup>10-12</sup>)

㊵ \* svātmāni vṛttivirodhāt/na hi saivāsīdhārā tayaiva chidyate/tasmāt tena saṃvṛtijñānena **svabhāvo** na gr̥hyate (1067-5~7, 631-6~8)

㊶-㊸ \* bdag nyid las (sic.) byed pa 'gal bas...ral gri'i so de nyid kyis mi gcod pa de'i phyir kun rdzob shes pa des **rang gi ngo bo** mi 'dzin (304 a<sup>2-3</sup>)

㊹ \* ci 'i phyir **rang gi ngo bo** mi 'dzin zhe na/...rang gi bdag nyid la bya ba 'gal ba'i phyir sor mo'i rtse mo dang ral gri'i so ni de nyid kyis mi rig cing mi gcod pa bzhin (469a<sup>4-5</sup>)

㊱ \* ci 'i phyir **rang gi ngo bo** mi 'dzin zhe na/...rang gi bdag nyid la bya ba 'gal ba'i phyir sor mo'i rtse mo dang ral gri'i so ni de nyid kyis mi rig cing mi gcod pa bzhin (294a<sup>1-2</sup>)

㊲ 以世俗智觀一切法爲非我時猶除自品自品謂自體相應俱有法 (742a<sup>29</sup>-b<sup>1</sup>)

166㉠ saparivāragrahaṇāt kāmārūpācarāṇi catuṣpañcaskandhas**svabhāvāni** (1072-12~13, 407-17)

㊲'khor dang bcas pa la sogs pa smos pa'i phyir/'dod pa dang gzugs na spyod pa ni phung po bzhi dang lnga'i **rang bzhin** yin (61a<sup>1-2</sup>)

㊳ 若并眷屬以欲四蘊色界五蘊爲其自性 (138c<sup>14-15</sup>)

㊴ 由執此智共同類起於欲界色界四陰五陰爲自性 (290a<sup>14-15</sup>)

㊵ catuḥpañcaskandhas**svabhāvāni**/kāṃāvacaram anuparivartakarūpābhāvāc catuḥskandhāsvabhavam/vedaṇā-saṃjñā-saṃskara- vijñānas-kandhasvabhāvam ity arthaḥ ūrdhvaḥbūmikāni tu pañcasvabhāvānidhyānasamvara-lakṣaṇarūpaskandhasvabhāvatvāt (1072-16~1073-3, 634-19~23)

㊶-㊸ phung po bzhi dang lnga'i **rang bzhin** yin no zhes bya ba ni 'dod pa na spyod pa la rjes su 'brang ba'i gzugs med pa'i phyir phung po bzhi'i rang bzhin yin te/tshor ba dang/'du shes dang/'du byed dang/rnam par shes pa'i phung po'i ngo bo nyid yin no zhes bya ba'i tha tshig go//sa gong ma pa ni phung po lnga'i rang bzhin te/bsam gtan gyi sdom pa'i mtshan nyid kyī gzugs kyī phung po yod pa'i phyir (307b<sup>6-8</sup>)

㊱ phung po bzhi dang lnga'i **rang bzhin** yin no zhes bya ba ni 'dod pa na spyod pa rjes su 'brang ba'i gzugs med pa'i phyir phung po bzhi'i rang bzhin no//gzugs na spyod pa ni bsam gtan gyi sdom pa'i gzugs yod pa'i

phyir phung po lnga pa yin (297b<sup>8</sup>-298a<sup>1</sup>)

㊦ 若并隨行以欲四蘊色界五蘊爲其自性 (743c<sup>28</sup>)

167㊦ uktaḥ **svabhāvaḥ** (1087-8、412-10)

㊦ **rang bzhin** bshad zin (64a<sup>6</sup>)

㊦ 已弁自性 (140c<sup>13</sup>)

㊦ 說十智力性已 (291b<sup>12-13</sup>)

168㊦ tac caitat kāyikaṃ balaṃ sarvasyaiva spraṣṭavyāyatanas**svabhāvaṃ**  
mahābhūtavīṣeṣa eva (1090-4~5、413-18)

㊦ lus kui stobs de ni thams cad kyang reg bya'i skye mched kyi **rang  
bzhin** 'byung ba chen po'i khyad par kho na yin (65a<sup>2-3</sup>)

㊦ 如是身力觸處爲性 (140c<sup>13</sup>)

㊦ 此身力應知觸入爲自性 (291c<sup>15</sup>)

㊦ 如是身力觸處爲性 (748b<sup>17-18</sup>)

169㊦ smṛtiprajñātmakam trayam//smṛtisamprajany**svabhāvāny** etāni trīṇi  
smṛtyupasthāni (1093-1~2、413-17~18)

㊦ dran pas shes rab bdag nyid gsum//dran pa nye bar gzhag pa gsum po  
'di dag ni dran pa dang/shes bzhin gyi **rang bzhin** dag yin (65b<sup>1</sup>)

㊦ 此三皆用念慧爲體 (141a<sup>4-5</sup>)

㊦ 三念念慧性釋曰此三念處念慧爲性 (292a<sup>4-5</sup>)

㊦ \* smṛtisamprajanyam iti/ubhayas**svabhāvam** iti darśayati (1093-6、647  
-20~21)

㊦-㊦ \* dran pa shes rab ces bya ba ni gnyi ga'i **ngo bo nyid** yin par ston  
(322b<sup>1</sup>)

㊦ 此三種體通念慧 (749a<sup>28</sup>)

170㊦ **svabhāvataḥ**; adveṣāmohas**svabhāvavāt** (1095-3、415-7)

㊦ **ngo bo nyid** las ni zhe sdang med pa dang/gti mug med pa'i **ngo bo nyid**  
yin pa'i phyir (65b<sup>8</sup>-66a<sup>1</sup>)

㊦ 由自性無癡無瞋自性異故 (141a<sup>22-23</sup>)

㊦ 性差別由無瞋無癡爲性 (292a<sup>23-24</sup>)

㊦ adveṣāmohas**svabhāvavād** iti/yathākramaṃ karuṇāyā adveṣasvab-  
hāvavāt, mahākaruṇāyāś cāmohasvabhāvavād ity arthaḥ (1095-  
14~15、648-32~33)

㊦-㊦ zhe sdang med pa dang gti mug med pa'i **ngo bo nyid** yin pa'i phyir  
ro zhes bya ba ni go rim bzhin du snying rje ni zhe sdang med pa'i ngo  
bo nyid yin pa'i phyir la/thugs rje chen po ni gti mug med pa'i ngo bo nyid  
yin pa'i phyir (324a<sup>2-3</sup>)

㊦ 由自性無瞋無癡自性異故 (749b<sup>20-21</sup>)

171㊦ saṃvṛtijiñānam amaraṇā, ayam asyāḥ **svabhāvaḥ** (1100-8~9、417-6~7)

㊦ nyon mongs pa med pa de ni kun rdzob shes//de'i **rang bzhin** 'di yin (67  
b<sup>5</sup>)

㊦ 此行但以俗智爲性 (141c<sup>28</sup>-142a<sup>1</sup>)

㊦ 世俗智無諍釋曰此是三摩提自性謂世俗智 (293a<sup>2-3</sup>)

172㊦ ālamlanabhūmis**svabhāvaviṣeṣas** tv āsāṃ pṛthag ucyate (1102-8、418-  
11)

㊦ 'di dag gi dmigs pa dang/sa dang **rang gi ngo bo**'i bye brag ni tha dad  
par brjod (68a<sup>7</sup>)

㊦ 此二同彼境界地自性差別說異彼 (293a<sup>26-27</sup>)

㊦ dmigs pa dang sa dang **rang gi ngo bo**'i bye brag ces bya ba (497a<sup>1-2</sup>)

173㊦ navajñānas**svabhāvā** pratibhānapratisaṃvid (1106-6、419-1)

㊦ spobs pa so so yang dag par rig pa ni shes pa dgu'i **rang bzhin** yin (68  
b<sup>2-3</sup>)

㊦ 辯無礙解九智所囑 (142b<sup>7</sup>)

㊦ 此解以九智爲性 (293b<sup>5</sup>)

㊦ kathaṃ navajñānas**svabhāvā** pratibhānapratisaṃvit/yā vāgāmbanā sā

duḥkhasamudayadharmānvayaḥ saṃvṛtījñānasvabhāvā, yā mārgālabhānā sā mārgadharmānvayaḥ saṃvṛtījñānaparacittasaṃvṛtījñānasvabhāvā- ity abhisamasya navajñānasvabhāvāḥ (1103-6~9, 652-26~30)

㊦-㊧ ji ltar spobs pa so so yang dag par rig pa ni shes pa dgu'i **rang bzhin** yin zhe na/ngag la dmigs pa gang yin pa de ni sdug bsngal dang/kun 'byung ba dang/chos dang rjes dang zad pa dang/mi skye ba dang/kun rdzob shes pa'i rang bzhin yin la/lam la dmigs pa gang yin pa de ni lam dang chus dang rjes dang zad pa dang/mi skye ba dang/kun rdzob pa dang gzhan gyi sems shes pa'i rang bzhin yin pas mdor bsdu na zhes bya ba dgu'i rang bzhin (328b<sup>4-6</sup>)

㊨ \* lam la dmigs pa gang yin pa de ni zad pa dang mi skye ba shes pa dang chos dang rjes dang lam dang gzhan gyi sems dang/kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** yin (498a<sup>5</sup>)

㊩ \* lam la dmigs pa gang yin pa de ni zad pa dang mi skye ba dang chos dang rjes dang lam dang gzhan gyi sems dang kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** yin (316b<sup>5</sup>)

㊪ 辯無礙解九智爲性 (751c<sup>24</sup>)

174㊫ anye tu dve dharmaniruktipratīsamvidō saṃvṛtījñānasvabhāve (1104-4, 419-10)

㊬ yang dag par rig pa gnyis ni kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** dag yin (68b<sup>6</sup>)

㊭ 法詞二無礙解唯俗智囉 (142a<sup>29</sup>-b<sup>1</sup>)

㊮ 所餘法方言二無礙解以世俗智爲性 (293b<sup>12-13</sup>)

㊯ saṃvṛtījñānasvabhāve iti (1104-3, 653-3~4)

㊺-㊻ kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** dag yin (329a<sup>1</sup>)

㊼ chos dang nges pa'i tshig so so yang dag par rig pa dag ni mig gi tshogs pa dang/ngag la dmigs pa nyid kyi rang gi mtshan nyid yul can yin pa'i phyir kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** yin (498b<sup>1-2</sup>)

㊾ chos dang nges pa'i tshig so so yang dag par rig pa dag ni mig gi tshogs la sogs pa dang/ngag la dmigs pa nyid kyi rang gi mtshan nyid kyi yul can yin pa'i phyir kun rdzob shes pa'i **rang bzhin** (316b<sup>8</sup>)

㊿ 法詞俗智爲性 (751c<sup>9</sup>)

175㊽ nāmakāyādivāgālabhānasvabhāvatvāt (1104-3~4, 419-11)

㊿ ming gi tshogs la sogs pa dang/ngag la dmigs pa'i phyir (68b<sup>6</sup>)

㊾ 緣名身等及世言詞事境界故 (142b<sup>1</sup>)

㊿ 緣名句等言語爲境故 (293b<sup>12-13</sup>)

176㊽ vimuktimārgaprajñāsvabhāḥ-śrāmaṇyaphalavat (1108-4, 421-12)

㊿ dge sbyong gi tshul gyi 'bras bu bzhin du/rnam par grol ba'i lam gyi shes rab kyi **rang bzhin** yin (70a<sup>2</sup>)

㊾ 是六通解脫道攝慧爲自性如沙門果 (142c<sup>28-29</sup>)

㊿ 以解脫道智爲性譬如沙門果 (293c<sup>27</sup>)

㊽ sramanyaphalavad iti/yathā saṃskṛtaṃ śrāmaṇyaphalaṃ vimuktimārgasvabhāvam, tadvat (1108-7~8, 655-3~4)

㊾-㊿ dge sbyong gi tshul gyis 'bras bu bzhin du zhes bya ba ni dper na dge sbyong gi tshul gyi 'bras bu 'dus byed rnam par grol ba'i lam gyis (sic.) **rang bzhin** yin pa dang 'dra (331a<sup>7-8</sup>)

㊿ 是六通解脫道攝慧爲自性如沙門果 (752c<sup>29</sup>)

177㊽ anirdhāraṇāc cheṣe catuḥsmṛtyupasthānasvabhāve iti (1112-2~3, 423-9)

㊿ lhag ma ni dmigs kyi ma phye ba'i phyir dran pa nye bar gzhag pa bzhi char gyi **rang bzhin** yin (71a<sup>6</sup>)

㊾ 四念住囉 (143b<sup>11</sup>)

㊿ 所餘通慧以四念處爲性 (294b<sup>18-19</sup>)

㊽ śeṣe iti/pūrvenivāsānusmṛti-āsraṇakṣayābhijñe/te catuḥsmṛtyupasthānasvabhāve/katham? āsraṇakṣayābhijñā catuḥsmṛtyupasthānasvab-

hāvah; daśajñānasvabhāvatvāt (1112-6~7, 657-7~9)

㊦-㊧ lhag ma zhes bya ba ni sngon gyi gnas dang zag pa zad pa'i mngon par shes pa dag ni dran pa nye bar gzhag pa bzhi car (sic.) gyi **rang bzhin** dag yin no//ji ltar zag pa zad pa'i mngon par shes pa dran pa nye bar gzhag pa bzhi'i rang bzhin yin zhe na/shes pa bcu'i ngo bo nyid yin pa'i phyir (333b<sup>5-7</sup>)

178㊦ kamavacaram̐ nirmānam̐ rūparasagandhaspraṣṭavyāyatanasvabhāvam (1116-4, 425-20)

㊧ 'dod pa na sprul ba ni gzugs dang dri dang ro dang reg bya'i skye mched kyī **rang bzhin** yin (72b<sup>2-3</sup>)

㊨ 欲界中化生以色香味觸入爲體 (295a<sup>8</sup>)

178a ㊦ tatkr̥tam̐ ca svaparasaṃbaddham̐ nirmānam̐ navāyatanikaṃ bhavati; **asvabhāvārūpyāyatanatvāt**, indriyāvinirbhūtatvāt (1120-15~16, 421-12)

㊧ de dag gi byas pa'i sprul ba rang dang gzhan gyi lus dang 'brel ba ni sgra med pa'i gzugs can gyi skye mched yin pa'i phyir/skye mched dgu pa yin te/dbang pa dang tha mi dad pa'i phyir (74a<sup>1-2</sup>)

㊨ 如天龍等能變化心彼亦能爲自他身化於十色處化九除聲 (144c<sup>2-4</sup>)

㊩ 天龍鬼神等生得變化心所作或於自身化生或於他身化生此九入爲性有色入除聲故不各離根生故 (295c<sup>9-12</sup>)

㊪ svaparasaṃbaddham̐ nirmānam̐ navāyatanikaṃ/kutah? **asvabhāvārūpyāyatanatvāt** (1120-3~4, 660-5~6)

㊦-㊧ bdag dang gzhan dang 'brel pa ni skye mched dgu pa yin no//ci'i phyir zhe na/sgra med pa'i gzugs can gyi skye mched yin pa'i phyir (337a<sup>2</sup>)

#### Chap. VIII

179㊦ anyasvabhāvānam̐ tv kartavyam̐ ity ādita evedhyānānyārabhyate; sarvaguṇāśrayatvāt/ (1125-1~2, 432-2~3)

㊦ **rang bzhin** gzhan rnams brjod par bya ste/de lta bas na yon tan thams cad kyī rten yin pa'i phyir dang po kho nar bsam gtan rnams brtsams (75a<sup>6-7</sup>)

㊨ 餘性功德今次當辯於中先辯所依止定 (145a<sup>16-17</sup>)

㊩ 別性類功德今當分別說是故最初依定應作分別由一切功德依止彼故 (296b<sup>6-7</sup>)

㊪ anyasvabhāvānam̐ tv samādhinām̐ kartavyaḥ (1125-4, 663-4)

㊦-㊧ **rang bzhin** gzhan ting nge 'dzin la sogs pa brjod par bya (338b8-339a<sup>1</sup>)

㊨ \* **rang bzhin** gzhan bsam gtan dang gzugs med pa dang tshad med pa rnams brjod bar bya (510b<sup>4</sup>)

㊩ \* shes pa'i **rang bzhin** dang/**rang bzhin** gzhan yin (326a<sup>6</sup>)

180㊦ abhedena kuśalacittaikagrataḥ dhyānam; samādhisvabhāvāt (1126-3, 432-15)

㊧ bye brag med par dge ba'i sems rtse gcig pa ni bsam gtan yin te/ting nge 'dzin gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir (75b<sup>2</sup>)

㊨ 是善性攝心一境性以善等持爲自性 (145a<sup>25-26</sup>)

㊩ 若不分別唯心善一類名定是三摩提性故 (296b<sup>13-14</sup>)

㊪ abhedeneti/sarvesām̐ api lakṣaṇānām̐ etallakṣaṇam/ata āha-samādhisvabhāvāt ity (1126-1~2, 663-10~11)

㊦-㊧ bye brag med par zhes bya ba ni bsam gtan thams cad mtshan nyid kyang 'di yin no//de'i phyir ting nge 'dzin gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir ro zhes bya ba (339a<sup>3-4</sup>)

㊨ ting nge 'dzin gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir ro zhes bya ba ni bsam gtan rnams la dmigs pa gcig pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (511a<sup>4</sup>)

㊩ ting nge 'dzin gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir ro zhes bya ba ni bsam gtan dmigs pa gcig pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (326b<sup>7-8</sup>)

㊪ 皆善性攝心一境性以善等持爲自性故 (756b<sup>20-21</sup>)

181㊦ saporivāram̐ tu pañcaskandhasvabhāvam̐ veditavyaḥ (1126-5, 432-17)

㊧ 'khor dang bcas na (sic.) ni phung po lnga'i **rang bzhin** yin par rig par

bya (75b<sup>2-3</sup>)

㊦ 若并助伴五蘊爲性 (145a<sup>26</sup>-b<sup>1</sup>)

㊧ 共隨行相應應知五陰爲性 (296b<sup>15-16</sup>)

㊨ 'khor dang bcas pa brjod par 'dod na ni/de'i phyir phung po lnga'i rang bzhin yin (511a<sup>6</sup>)

㊩ 'khor dang bcas pa brjod par 'dod na ni/de'i phyir phung po lnga'i rang bzhin yin (327a<sup>1</sup>)

㊪ 若并助伴五蘊爲性 (756b<sup>21</sup>)

182㊫ samāpattyārūpyās tv abhedena kuśalaikāgratāsvabhāvā iti (1130-4, 434-2)

㊬ snyoms par 'jug pa'i gzugs med pa rnam ni bye brag med par dge ba'i sems rtse gcig pa'i rang bzhin yin (76b<sup>2</sup>)

㊭ 定無色體總而言之亦善性攝心一境性 (145c<sup>6-7</sup>)

㊮ 修得無色定若不分別但以善一類爲性 (296c<sup>25-29</sup>)

183㊯ adveṣasvabhāvā maitrī (1170-13, 452-13)

㊰ byams pa ni zhe sdang med pa'i rang bzhin (89a<sup>6</sup>)

㊱ 非是不害 (150b<sup>27</sup>)

㊲ 慈以無瞋善根爲性 (302a<sup>10</sup>)

㊳ byams pa ni zhe sdang med pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (547b<sup>1</sup>)

㊴ byams pa ni zhe sdang med pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (354a<sup>5</sup>)

184㊵ saumanasyasvabhāvā mudita (1170-17, 452-17)

㊶ dga' ba ni yid bde ba'i rang bzhin yin (89a<sup>6</sup>)

㊷ 喜即喜受 (150b<sup>27</sup>)

㊸ 他歡適事心隨彼歡適說名爲喜 (302a<sup>11-12</sup>)

185㊹ alobhātmikopeṣā/kathaṃ vyāpādapratipakṣaḥ? tasya lobhākṛṣṭat-vāt/ubhaya**svabhāvā** tv asau yujyate/ (1171-2~4, 452-18~19)

㊺ gtang snyons ni ma chags pa'i bdag nyid yin no//ji ltar na gnod sems kyi

gnyen po yin zhe na/de ni chags pas drangs pa yin pa'i phyir ro//di ni gnyi ga'i rang bzhin yin na rung (89a<sup>7</sup>)

㊻ 若捨無貪性如何能治瞋此所治瞋食所引故理實應用二法爲體 (150b<sup>28</sup>-c<sup>2</sup>)

㊼ 捨以無貪善根爲性若爾云何對治瞋由瞋是貪愛所引故若爾此定應二善根爲性 (302a<sup>13-15</sup>)

㊽ ubhaya**svabhāvā** tv asau yujyate iti/alobhasvabhāvā ca, adveṣasvabhāvā ca yujyate ity arthaḥ/kiṃ kāraṇam? rāgaḍveṣayoḥ pratipakṣatvāt/atas tu naiko dharmāḥ ubhaya**svabhāvā** iti grhitavyam/kiṃ tarhi? ālobhāḍveṣayor upekṣaṇāśabdo vartate (sic.) iti (1171-2~5, 686-12~15)

㊾-㊿ di ni gnyi ga'i rang bzhin yin na rung ngo zhes bya ba ni ma chags pa'i rang bzhin dang zhe sdang med pa'i rang bzhin yin na rung ngo zhes bya ba'i tha tshig ste/ci'i phyir zhe na/'dod chags dang zhe sdang dag gi gnyen po yin pa'i phyir ro//dir chos gcig la gnyi ga'i rang bzhin yin no zhes bya bar mi gzung ngo//o na ci zhe na/ma chags pa dang/zhe sdang med pa dag la gtang snyoms kyi sgra 'jig pa yin (368b<sup>2-4</sup>)

㊽ di ni gnyi ga'i rang bzhin yin na rung ngo zhes bya ba la/ci'i phyir zhe na/'dod chags dang zhe sdang gi gnyen po yin pa'i phyir ro//dir bar mar gnas pa ma chags pa dang zhe sdang med pa'i rang bzhin la btang snyons kyi sgrar brjod kyi/chos gcig chos du ma'i rang bzhin yin pa ni med (547 b<sup>7-8</sup>)

㊾ di ni gnyi ga'i rang bzhin yin rung ngo zhes bya ba la/ci'i phyir zhe na/'dod chags dang zhe sdang gi gnyen po yin pa'i phyir ro//dir bar mar gnas pa ma chags pa dang zhe sdang med pa'i rang bzhin la gtang snyoms kyi sgrar brjod kyi/chos gcig chos du ma'i rang bzhin yin pa ni med (354a<sup>6-7</sup>)

186㊿ prathamau dvau vimokṣav aśubhasvabhāvā; vinīlādyālambanatvāt (1176-1, 455-5)

㊽ dang po gnyis ni rnam par sngos pa la sogs pa'i rnam pa can yin pa'i phyir mi sdug pa'i rang bzhin yin (90b<sup>8</sup>)

『俱舍論』における svabhāva について (木村) (79)

㊦ 初二不淨相轉作青瘀等諸行相轉故 (151b<sup>5-6</sup>)

㊧ 前二解脫不淨觀爲體性以黑爛等想爲行相故 (302c<sup>24-25</sup>)

187㊦ so 'py alobhas**svabhāvo** na tv aśubhas**svabhāvaḥ**; śubhākāratvāt (1176-9, 455-13)

㊦ de yang ma chags pa'i **rang bzhin** yin gyi sdug pa'i rnam pa can yin pa'i phyir mi sdug pa'i rang bzhin ni ma yin (91a<sup>2-3</sup>)

㊧ 此亦以無貪善根爲體性非不淨觀爲體性由淨想爲行相 (302c<sup>25-26</sup>)

㊨ \* śubhasya ca vimokṣasyālubhaḥ **svabhāvaḥ** (1181-19, 691-32~33)

㊨-㊦ \* sdug pa'i rnam par thar ba'i **ngo bo nyid** ma chags pa yin pa (375a<sup>6</sup>)

188㊦ saparivārās tv ete pañcaskandhas**svabhāvāḥ** (1176-9~10 455-14)

㊦ de dag 'khor dang bcas na (sic.) ni phung po lnga'i **rang bzhin** yin (91a<sup>3</sup>)

㊦ 三并助伴皆五蘊性

㊧ 若攝彼共伴類五陰爲體性 (302c<sup>26-27</sup>)

㊨ ayam śubho vimokṣaḥ saparivāragrahaṇāt pañcaskandhas**svabhāvāḥ** (1181-19~20, 691-33~34)

㊨-㊦ rnam par thar ba'i 'khor dang bcas par bzung bas phung po lnga'i **rang bzhin** yin pa (375a<sup>7</sup>)

㊧ 三并助伴皆五蘊性 (771b<sup>18-19</sup>)

189㊦ prathamāny aṣṭav alobhas**svabhāvāni** (1182-7, 457-17)

㊦ dang po brgyad ni ma chags pa'i **rang bzhin** dag yin (92b<sup>2</sup>)

㊦ 八自性皆是無貪 (151c<sup>27</sup>)

㊧ 前八以無貪爲性 (303b<sup>15-16</sup>)

Chap. IX

190㊦ yadi tāvat dravyataḥ? bhinnas**svabhāvatvāt** skandhyebho 'nyo

(80) 『俱舍論』における svabhāva について (木村)

vaktavyaḥ (1192-3~4, 461-16)

㊦ re zhig gal te rdzas su yod na ni de **rang bzhin** tha dad pa'i phyir phung po rnam las gzhan no zhes brjod par bya (94a<sup>7-8</sup>)

㊦ 體若是實應與蘊異有別性故 (152c<sup>13-14</sup>)

㊧ 若由實有有與陰別性故應說與陰有異 (304b<sup>12-13</sup>)

㊨ yadi tāvat dravyata iti pakṣa āśrīyate, sa pudgalo bhinnas**svabhāvatvāt** bhinnasvalakṣaṇatvāt skandhebhya 'nyo vaktavyaḥ (1192-10~11, 699-18~19)

㊨-㊦ re zhig rdzas su yod na zhes bya ba ni phyogs nga ma la brten na'o// gang zag de **rang bzhin** tha dad pa'i phyir te mtshan nyid (sic.) tha dad pa'i phung po rnam las gzhan no zhes brjod par bya (381a<sup>8</sup>-381b<sup>1</sup>)

191㊦ yadi tāvad auṣṇyam, auṣṇam evendhanaḥ; anyabhūtas**svabhāvatvāt** (1195-2~3, 462-11)

㊦ re zhig gal te dro ba nyid yin no zhe na ni bud cing (sic.) dro ba ma yin pa kho nar 'gyur te/'byung ba gzhan gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir (95a<sup>7</sup>)

㊦ 若彼釋言熱謂煖觸則薪非熱體相異故 (153a<sup>22-23</sup>)

㊧ 若汝說熱性名熱薪應不熱別火性故 (304c<sup>20</sup>)

㊨ anyabhūtas**svabhāvatvād** iti/pṛthivīdhātvdīsvabhāvatvāt (1195-1, 700-31~32)

㊨-㊦ 'byung ba gzhan gyi **rang bzhin** yin pa'i phyir ro zhes bya ba ni sa'i khams la sogs pa'i rang bzhin yin pa'i phyir (383a<sup>2-3</sup>)

192㊦ atha yadauṣṇyavat, anyad api taduṣṇas**svabhāvād** agner uṣṇam siddhyati; auṣṇayogād iti (1195-3~4, 462-22)

㊦'on te dra ba nyid dang ldan pa yin no zhe na ni dra ba nyid kyi **rang bzhin** gyi me las gzhan pa de yang dro ba yin par 'grub ste/dra ba nyid dang ldan pa'i phyir (95a<sup>7-8</sup>)

㊦ 若復釋言熱謂煖合則應異體亦得熱名 (153a<sup>23-24</sup>)



㊦ 復次若汝說若有熱性名熱此物雖與熱性火異此復成熱與熱性相應故 (302c<sup>20-22</sup>)

193㊦ yadi tayaiva, rūpād abhinnas**svabhāvāḥ** pudgalaḥ prāpnoti (1197-4, 463-26)

㊦ gal te de kho nas so zhe na ni gang zag gzugs las **rang bzhin** tha mi dad pa (96b<sup>1</sup>)

㊦ 若色能了即能了此則應許此體即是色 (153c<sup>3-4</sup>)

㊦ 若即由色證智證知人人與色不應成異性 (305a<sup>24-25</sup>)

㊦ rūpād abhinnas**svabhāvāḥ** pudgalaḥ prāpnoti; tayaivaikayopalabdhyo-palabhyamanatvāt, rūpāntaravat/ (1197-5~6, 701-31~32)

㊦-㊦ gang zag gzugs pas (sic.) **rang bzhin** tha mi dad par gyur te/dmigs pa de kho na dmigs par bya ba yin pa'i phyir gzugs bzhin (384a<sup>6</sup>)

194㊦ sthityanyatvasya saṃskṛtalakṣaṇatvāt/eṣa hi saṃskṛtasya **svabhāvo** yad avaśyaṃ prabandhasyānyatvavaṃ bhavati (1220-5~7, 474-11)

㊦ gnas gzhan du 'gyur ba ni 'bus byas kyi mtshan nyid yin pa'i phyir te/rgyun gdon mi za bar gzhan du 'gyur ba gang yin pa 'di ni 'dus byas so thams cad (sic.) kyi **rang bzhin** yin (105b<sup>2</sup>)

㊦ 有爲皆有住異相故謂諸有爲自性法爾微細相續後必異前 (157c<sup>5-7</sup>)

㊦ 由住異諸行相故一切有爲法性皆如此必定相續不同 (309a<sup>3-5</sup>)

略号表 II

R → rang bzhin

GN → ngo bo nyid

RG → rang gi ngo bo

疑 → 疑問文

偈 → 偈文

複前 → 複合語前分

複後 → 複合語後分

\* → ㊦からの直接の引用文ではないことを示す。空白は引用のないことを示す。27・28・29・98・99の〔副詞〕は、複合語の中で副詞として使用されていることを示す。

## 資料II

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
1	複後	R	性	性	GN	R	R	性	虚空
2	複後	GN	性	相	GN	R	GN	性	色形
3	複後	R						體	觸
4	複後	R	性	性	R	R	R		無表
5	名詞・疑	R	自性	自性					四大
6	名詞	R	性	自性					四大
7	複後	R	自性	性					風界
8	名詞	R	體	自性	R	R	R		風界
9	複後	GN	性	性	*GN			*性	色蘊
10	副詞・偈	GN	自性	自性類		GN	GN	自性	法の包摂
11	複後	GN	性	性	GN			性	法の包摂
12	複後	R	自性	性類		*R	*R	性	類
13	名詞	R	自性	自性					界
14	複後	R	體	自性		*R	*R	體	法処
15	複後	R	體	性	R	*R	R	自體	仏語
16	複後	R	體	性	R	*R	R	自體	仏語
17	複後	R	性	自性	R	R	R	性	法の分類
18	複後	R	性	性	R	*R	*R	性	法の分類
19	複後	R	性	性	R	*R	*R	性	法の分類
20	複後	R	性	性				性	法の分類
21	複後	R	體	體	*GN				空界
22	複後	R	體	位	R		R		空界
23	複後	GN	性	性	*GN	R		性	法界の善
24	複後	GN	性	性	GN	GN	GN	性	法界の不善
25	複後	R	性	類	*R	R	R		觸
26	複後	R		性	R		R		無色界
27	副詞(複前)	GN	自性	自性				自性	分別
28	副詞(複前)	GN	自性	自性	GN		GN	自性	分別
29	副詞(複前)	GN	自性	自性	GN	GN	GN	自性	分別
30	名詞・疑	R	體	相		R	R	體	分別
31	複後	R		體					所縁
31a	複後・疑	GN	性	性					十八界

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
32	複前	RG	自體	自性	RG	*RG	RG		刹那心
33	複前	RG	體	體性		RG	RG	體	二十二根
34	複後	R	性		R	R	R		思惟・勤
35	複後	R	體		*R				無癡
36	複後	GN	體		GN	GN	GN		尋伺
37	複後	R	性	性	R	R	R		心不相応
38	名詞	RG	體	自性		*RG	*RG	體	得
39	複後	R	自性	自性	*GN	R			定
40	名詞	RG	自性	自性	RG		*RG		有為相
41	名詞	R	自性	自性	R	R	R		有為相
42	複後	R	性	體		R	R	性	名句文
43	複後	R	自性	自性		R	R	自性	名句文
44	複後	R	自性	性	R	R	R		名句文
45	複後	R	性	自性				性	語
46	複後	R	性	自性				性	語
47	複前	RG	自體	自體		*RG		自體	能作因
48	複前	RG	自體	自體	RG				能作因
49	複後	RG	自性	自性					無為
50	複後	RG	自性	體性					無為
51	複後	RG	自性	體性			RG		無為
52	名詞	RG	體	自性		*RG	*RG		無為
53	名詞	RG	體性	自性		RG	RG		無為
54	複前	R	自性	自性		R	R	自性	事
55	複前	RG	自性	自性	*RG	*RG	RG		増上縁
56	名詞	RG	自性	自性		RG	RG		増上縁
57	複前	RG	自性	自性	RG	*RG	*RG		増上縁
58	複後	R	性	性				*性	五趣
59	複後	R	體	性	R	*R	*R		五趣
60	複後	R		性	R	R	R	體	五趣
61	複後	R		自性	R	R	R		五識
62	名詞・疑	R	體	體相				體	住趣
63	複後	R	體	性	R	R	R		住趣
64	複後	R	性	自性		*R	*R	性	十二縁起

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
65	複後	R	性	性	R			*性	十二縁起
66	複後	R	性	性	R			*性	十二縁起
67	複後		性	性					十二縁起
68	複後	R	自性	性	R			自性	十二縁起
69	複後	R	性	性	*GN				十二縁起
70	複後	R		性	R	R			無明
71	複後	R		性類	R	*R	*R		無明
72	名詞・疑	R	相	性				性	無明
73	副詞	GN	自性	自性	*GN				心受
74	名詞・疑	R	性	自性					劫
75	複後	R		自性		*R	*R	*體	劫
76	副詞	GN	自性	自性				*自性	業
77	副詞	GN	自性	自性	GN	*GN	*GN		業
78	複後								業
79	複後	R	性	性				性	業
80	名詞	RG		自性	RG	*RG	*RG		形色
81	複後・偈	R	體	性		R	R	*體	語表
82	複後	RG	體	性	*RG	*R	*R	體	無表
83	複前	RG	性	性	RG	RG	RG		無表
84	副詞	GN	自性	自性	GN	GN	GN	自性	善不善
85	副詞	GN	體性	自性				體性	善不善
86	副詞	GN	體	自性	*GN	*GN	*GN	體	不善
87	名詞	R	體	體性	*R		R	體	律儀
88	複後	R	自體	性				自體	律儀
89	名詞・疑	R	自性	自性				自性	律儀
90	複後	R	自性	性		*R	*R	自性	律儀
91	複後	R		性	GN				律儀
92	複後	R	體	性	GN	*R	*R		律儀
93	名詞・疑	R	體	體性					歸依
94	複後	GN	體	性	GN	GN	GN	體	歸依
95	複後	R		性					非色善
96	複後	R		性					非色染汚
97	複後	R	體性	性	R	R	R		順樂受

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
98	副詞・偈〔複前〕	GN	自性	自性				自性	順受
99	副詞〔複前〕	GN	自性	自性	GN	GN	GN		順受
100	複後	R		自性	*R	R	R		福田
101	副詞	GN	自性	性				自性	黑白業
102	複前	RG	自性	自性	RG	*RG	RG	自性	善業
103	複後	R	體	性		R	R		身語業
104	複後	R		性					意惡行
105	複後	R		性					業道
106	複後	R		性					邪姪
107	複後	R		性					業道
108	複後	R		性					業道
109	名詞・疑	R	體	體相					善根斷
110	名詞	RG	自性	自性	RG	RG	RG	自性	増上果
111	名詞・疑	R	體	體性				體	三障
112	名詞・疑	R	體	體性				體	無間業
113	名詞・偈	R	體	性	R			體	僧破
114	名詞	R	體	性	R			*體	福業事
115	複後	R	自性	自性	R	R		自性	等引
116	名詞・疑	R	自體	體相				自體	書印算文
117	複後	R	體	性	R			體	算文
118	複後	R	性	自性				性	五見
119	複後	R	性	性				性	見
120	名詞・疑	RG	自體	自性				自體	五見
121	複後								邪見
122	名詞・疑	R	體	體相				體	四倒
123	副詞	RG	體	自體	*GN				三世実有
124	名詞・偈	R	體	體性	R	R	R	體	三世実有
125	副詞	RG	性	自體性	RG	RG	RG		三世実有
126	複前	RG	體	自性	RG	RG	RG		三世実有
127	複後	R		性					二取
128	複後	R		性					遍智
129	複後	R		性	*GN	R	R		遍智・有部
130	名詞	RG	體	體性		RG	RG		四諦

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
131	複後	R	自體	自性	R		R	自體	三受
132	副詞〔複後〕	RG	體	性		RG	RG		三受
133	複後	R		自性	R				三受
134	副詞	R	自相	自性		R	R	自性	三受
135	副詞	RG	自相	體性	RG				三受
136	副詞	RG	自相	自性			*RG		三受
137	副詞	RG	自相	自性		*RG	RG		三受
138	副詞	RG	自相	自性					三受
139	名詞	R			*GN	*R	*R		二諦
140	名詞・疑	R		自性					知足・少欲
141	複後	R	體	性	*R	R	*R		知足・少欲
142	複後	R	體	性		*R			四聖種
143	複後	R	體	體	*GN	*R			知足
144	複後	R	體	性	*R				四聖種
145	名詞・疑	R	性	性				性	淨觀
146	複後	R	性	性		R		性	不淨觀
147	複後	R	性	性	*R	*R	*R		入出息念
148	名詞	RG	自性	自性	RG		RG		四念処
149	名詞・疑	RG	自性	別相	*RG	*RG			四念処
150	名詞・疑	R	體	性					四念処
151	複前	R	自性	自性					自性念処
152	複前	R	自性	自性	R	R	R	自性	自性念処
153	複後	R	性	性					四善根
154	名詞・疑	R		性					捨
155	複後	R	性	性				性	捨
156	複後	R		性	*GN	R			見道
157	複後	R	自體	性	R		R		三学
158	複後	R	*體	自性				*體	菩提分
159	複後	R	體	自性	*R				菩提分
160	複後	R	體	自性		R		體	三宝
161	複前・偈	R	自性	自性				自性	十智
162	副詞	R	自性	自性	R	R	R	*自性	世俗知
163	複前	R	自性	自性	R	R	R		不解脱心

	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪-㊫	㊬	㊭	㊮	テーマ
164	複前	RG		自性	RG	RG	RG		他心知
165	名詞	RG	自體	自體	*RG	*RG	*RG	自體	世俗知
166	複後	R	自性	自性	R		R	自性	世俗知
167	名詞	R	自性	性					十智
168	複後	R	性	自性				性	身力
169	複後	R	體	性	*GN			體	念住
170	副詞・〔複後〕	GN	自性	性	GN			自性	大悲
171	名詞	R	性	自性					無諍定
172	複後	RG		自性		RG			弁才
173	複後	R	攝	性	R	*R	*R	性	弁才
174	複後	R	攝	性	R	R	R	性	弁才
175	複後								弁才
176	複後	R	自性	性	R			自性	六神通
177	複後	R	攝	性	R				六神通
178	複後	R		體					六神通
178a	複後								六神通
179	複後	R	性	性類	R	*R	*R		定
180	複後	R	自性	性	R	R	R	自性	心一境性
181	複後	R	性	性		R	R	性	心一境性
182	複後	R	體	性					無色定
183	複後	R		性		R	R		慈
184	複後	R							喜
185	複後	R	體	性	R	R	R		捨
186	複後	R		體性					八解脱
187	複後	R		體性	*GN				八解脱
188	複後	R	性	體性	R			性	八解脱
189	複後	R	自性	性					八解脱
190	複後	R	性	性	R				ブドカラ
191	複後	R	體相	性	R				熱性
192	複後	R	體	性					熱性
193	複後	R	體	性	R				ブドカラ
194	名詞	R	自性	性					有為